KCSP
165

釣りキチ三平

第9集
イシダイ釣り編



矢口高雄

釣りキチ三平
第9集
イシダイ釣り編
矢口高雄

講談社

9784061011656
1929979006211
雑誌45423-65
ISBN4-06-101165-0
C9979 ¥621E (3)
定価652円 本体621円
講談社



三浦半島にて，旅行のついでに船をだし，のんびりと釣りをする矢口先生。

たしかに海は広い。はてしなく広いから、もっとむこうにいいポイントがありそうな気になってしまう。だから、おそらく、完全に攻めきったという満足感にひたる人間は、遠洋漁業の漁師さんにもいないだろう。ぎゃくにいえば、そうした茫洋たる不満足感が、海釣りのかぎりない魅力かもしれない。

（「あとがき」より）

（カバーデザイン／日本ヘリエールアートセンター）

KCSP 165

釣りキチ三平

第9集 イシダイ釣り編



矢口高雄

講談社

釣りキチ三平



第9集　イシダイ釣り編

矢口高雄



釣りキチ三平〈第9集〉イシダイ釣り編

もくじ

磯の王者の巻……6
あとがき……328


釣りキチ三平
第9集
イシダイ釣り編
矢口高雄



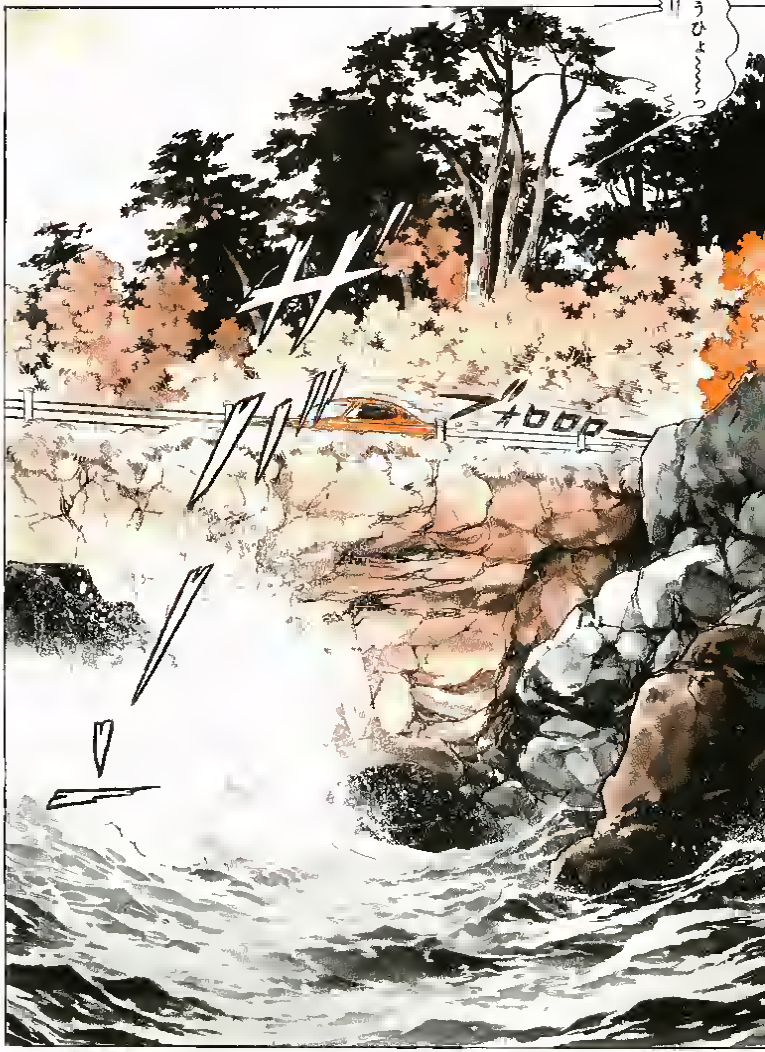
荘厳なる海の夜明けを
ラインが切り裂いた
イシダイだっ!!
剛竿を
岩場にたたきつけ
ハリをかみ切るまで
断じて弱音をはかない
それが磯の王者
イシダイだ!!

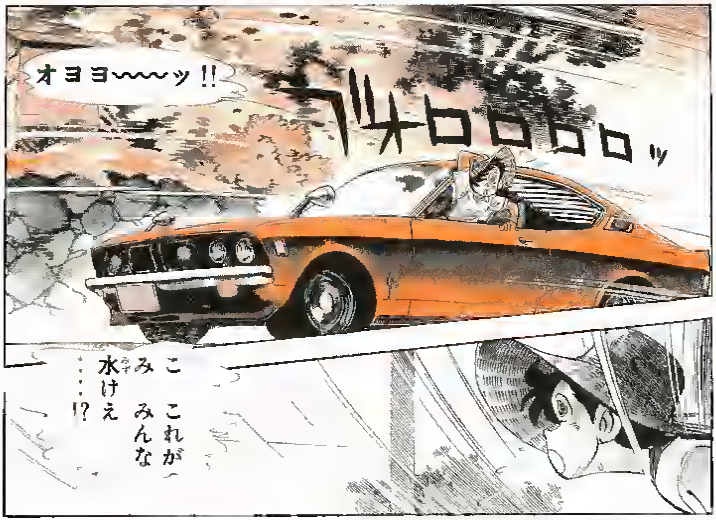




磯の王者の巻




うひょ～～～っ
ゴォォォ

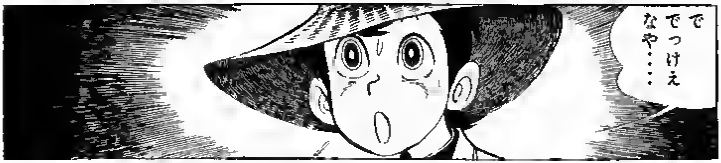

オヨヨ〜〜〜ッ!!
ブロロロロロッ
これが…
みんな
水けえ
……!?


フフフ…
三平くん
あんまり
のりだすと
危険だぜ
60
クッ


ヒョッ!!
カーッ
海だ
海だっ!!

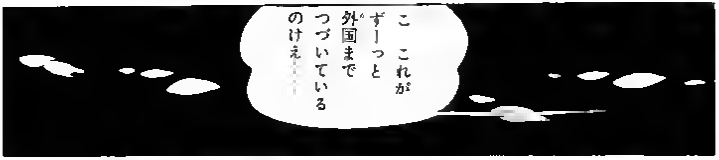

海だっ!!
ほんものの海だっ!!
船だっ!!
ウンセイッ!!


ハァハァ


でっけえなや……



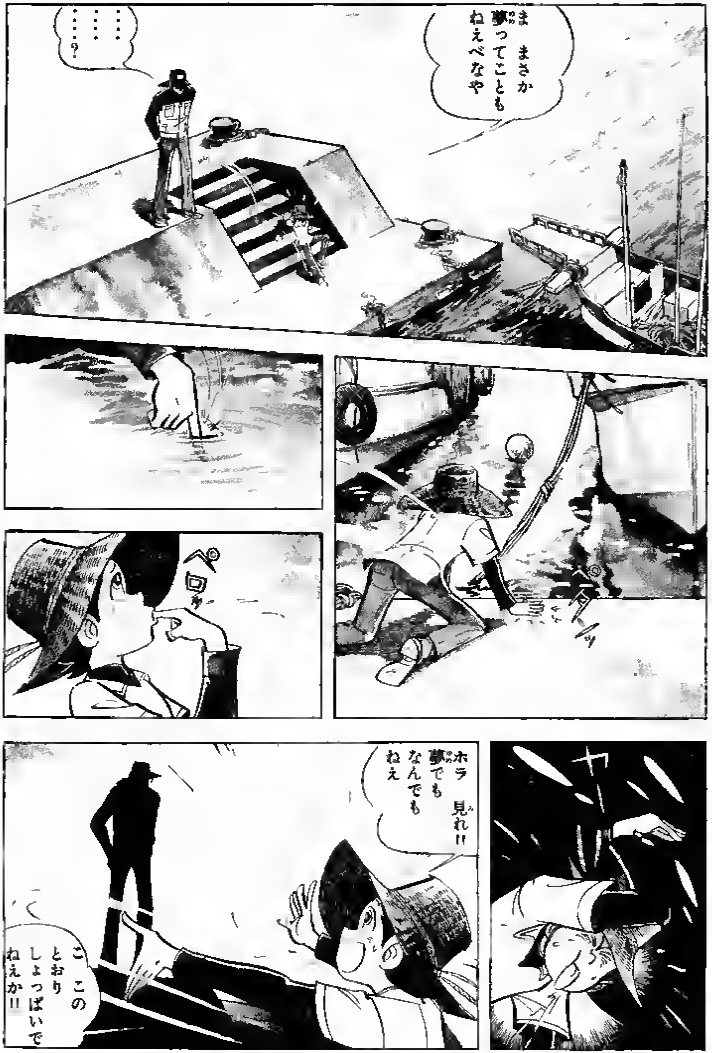



これが
ずーっと
外国まで
つづいている
のけえ……


魚紳
さ――ん


ハハハハ
三平くん
どうした
ハトが
豆鉄砲を
くらったような
ツラをして


えらい
はりきりよう
じゃねぇか
どうしたんだ
トツ
おいおい
あんまり
ムチャ
すんなよ
カーッ
魚神さん
どうしたも
こうしたも
ねえべ
これが
はりきらずに
いられようか
てんだ!!
おらに
とっちゃあ
はじめての
海だべ
おらあ
まちげえなく
ほんものの海さ
きてるんだ


ま まさか 夢ってこともねえべなや
……？
ホラ 見れ!! 夢でもなんでもねえ
このとおりしょっぱいでねえか!!


フフフ
あいかわらず
だな
三平くん
魚紳さん
魚紳さん
てえへんだ
!!
ホラ
ホラソ!!
魚が
あんなに
いっぱい
およいでる
いっちょう
小手しらべに
釣って
みるべえ!!
矢口丸


フフフ
ハッハハハ
ハハハハ
……
まいったなあ
もう釣りキチの
虫がうずきだして
きたのか
ハハハ…
なにから
なにまで
おれのガキの
ころと
そっくりとは
まいった
だがな
三平くん!!
きみの海への
初挑戦は
そんなザコ
じゃねえ!!
しょっぱな
から
磯の王者に
アタック
させて
やるぜっ!!
い
磯の王者
……!?
フフフ
そうさ
磯の王者さ
せっかく
三平くんを
海へつれて
きたんだから
ザコの相手なんて
させちゃあ
失礼だろう


カーッ
魚神さんに
そんただこと
いわれると
なんだか
ケツの穴が
むずむずして
きやがるだ
なに いって
るんだい
そんなタマ
じゃあ あるまい
とにかく
ここまで きた
いじょうは
ガタガタ
したって
はじまらねえ
じっくりと
腰を
おちつけて
かかるこった
な

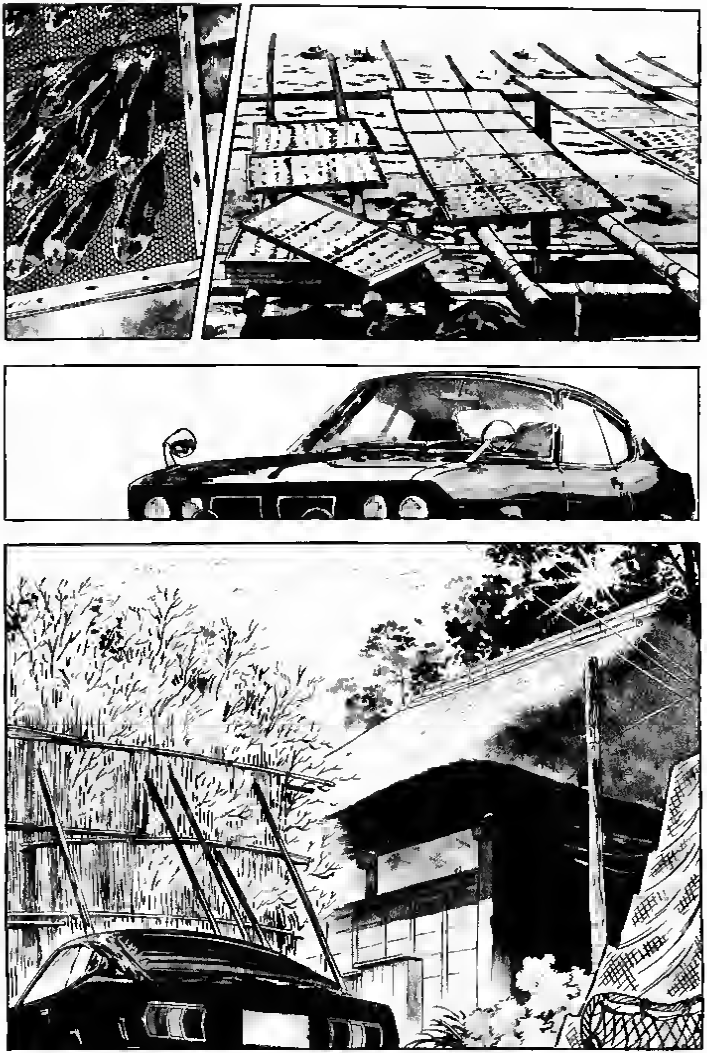

海は
見てのとおり
はてしなく
ひろい
なにしろ
日本のまわりは
みんな海に
かこまれている
んだからな


ひろいのは
いいけんど
これじゃあ
あんまし
ひろすぎて
どっから
手をつけていいか
さっぱり わから
ねえなや……


フフフ
釣りキチ
三平くんとも
思えねえ
ことばだが
きみなら
そのうち
釣り堀の
でっけえもんと
思うように
なるさ


まーた また
魚紳さん
って
いうことが
オーバー
なんだ
なあ…
フフフ
そうかな
……


さあ!!
とにかく
網元のおやっさん
とこに 顔を
出すのが
先決だ




おやっさん!!
いるか……
ガラガラ
ガラ


あ――ん
だれヌラ
いまごろ
新
日本


ぜーっかく
いい気もちで
昼寝してた
ちゅうに
……


ハリさ
お
おめえはっ
!!


ひさしぶりだな
よくわすれねえでいてくれたぜおやっさん


ぎょ紳士でねえか!!
祈願
日本一周釣行脚


バカモンだ――れがわすれるもんけえこの道楽もんを!!


おめえ生きてたのけえ
いってえどこをほっつきあるいてたんじゃ
日本一周釣行脚


ハア…そのまあ…いろいろと
千綿
釣行脚


ガハハハハあいかわらずの風来坊けえ
そのほうがおめえにゃにあってるズラ


まあまあ
そんなとこで
海坊主みてえに
ノヘ――ッと
つったってる
こともねえズラ
へえった
へえった
いや
おやっさん
このたびは
ちょっとばかり
ながいこと
やっかいになる
かもしれねえ
魚紳!!
おめえ
なんちゅう
水くせえこと
いうズラ
ヒシ!
そげなこと
わかってるて
てめえみてえな
ウドの大木の
一ぴきや二ひき
どうってこと
ねえズラ
いやあ……
じつは……
そのう
二ひきめも
いるんです
日本一周の行脚
ナニ……!?
魚紳
おめえ
まさか
コレじゃあ
あんめえな
ヒヒヒ
フフフ……
恋人か……
まあ
そういった
ところだ
ええっ
!?
おい
三平くん


こんちは
おやっさん
!!
おらあ
三平三平
ちゅうだ
おせわに
なりまー――す
ハリャッ
ぎょ
魚紳
・・・・
おめえ
恋人
ちゅうのは
この子けえ
フフフ
そうさ
!?
だから
そそうのねえ
ように
たのむぜ


ガハハハハ
な――んだ
そうだったのけえ!!
恋人をつれてきたなんちゅうもんだからわしゃあもっぱら・・・
朴念仁のくせに
(ことばのすくないぶあいそうな人)
おめえにしちゃあ上できだと思ったが
日本一周釣行
ドン!
恋人ちゅうのはこの子だったとはケッサクズラ
フフフあいかわらず口がわるいなおやっさん

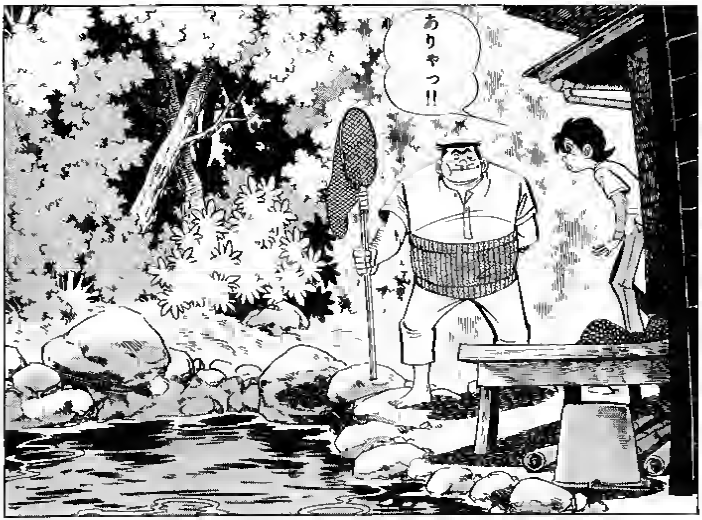

三平くんといったな……
おめえ海ははじめてだって？
日本
ハア……
おらあ山そだちだから見るものきくものみんなめずらしいもんばっかし……

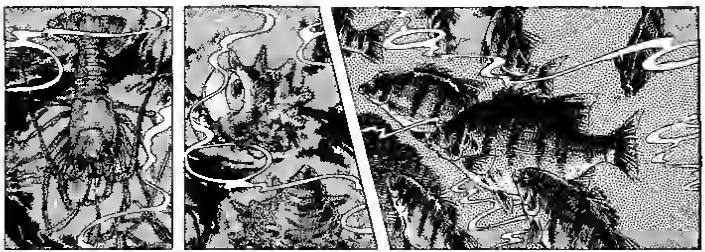

三平くんこの家はおれがガキのころから自分の家のようにしてきた家だ
そんなにかたくならねえでもっとリラックスしろよ
そうズラ
遠慮はいかんなんでもいってくれ


ハ ハア……ほんじゃあ
ハラへった……


三平くん
いま
なんと
いった
ズラ…
ケッヘヘ…
カ――ッ
ハラが
ペッコペコ
だあ～～～
ガハハハハ
そうけえ
そうけえ
ハラが
へってたの
けえ!!
気にいった
ぞっ
三平くん!!
正直で
まことに
けっこうズラ
ようし
三平くんに
とっちゃあ
はじめての
海だちゅう
こったし
ひとつ
腕に
よりをかけて
とびっきり
うめえとこを
ごちそうするべ

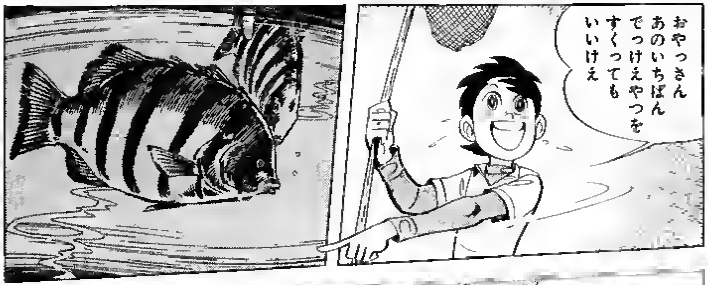

山では
食えねえ
新鮮な
海の幸を
食わせるズラ
ちょくら
こっちゃに
こい!!


ありゃっ!!



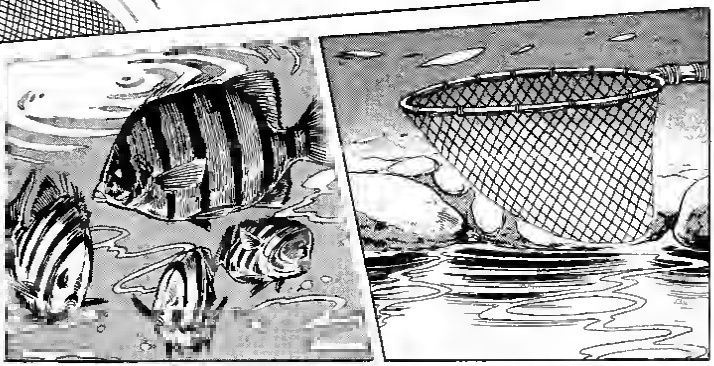

おおやっさん
ここりゃあ
どうしたんだ
フフフ
海からとってきて
この生簀で
飼っとるんじゃよ
さあ
三平くん
どれでも
自分の
すきなもんを
いってみろ
たちどころに
すくいあげて
料理して
食わせるズラ
まーかしとけって
おらあ
こういうことは
だいとくいなんだ
うわ〜〜〜っ
おんもしれえなや
おらに
すくわせて
くれ
やってみるか
といっても
生きが
いいから
かんたんにゃあ
すくえんぞ
ギヒヒ
金神…
なかなか
おもしれえ
子を
つれてきた
ズラ
どーれに
しようか
な…
新日本


じゃが
はたして
うめえことが
すくえるかな
フフフ
まあ…
だまって
見ていよう

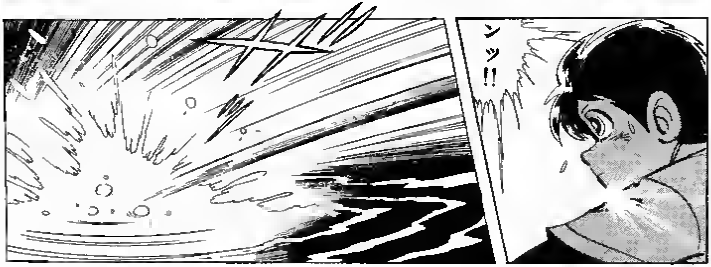

おやっさん
あのいちばん
でっけえやつを
すくってもいいけえ


ハハハハ
そいつあ
すばしっこい
やつだから
おめえにゃ
むりズラ
もし
すくったら
全部おめえに
食わせるズラ
…
ようし!!





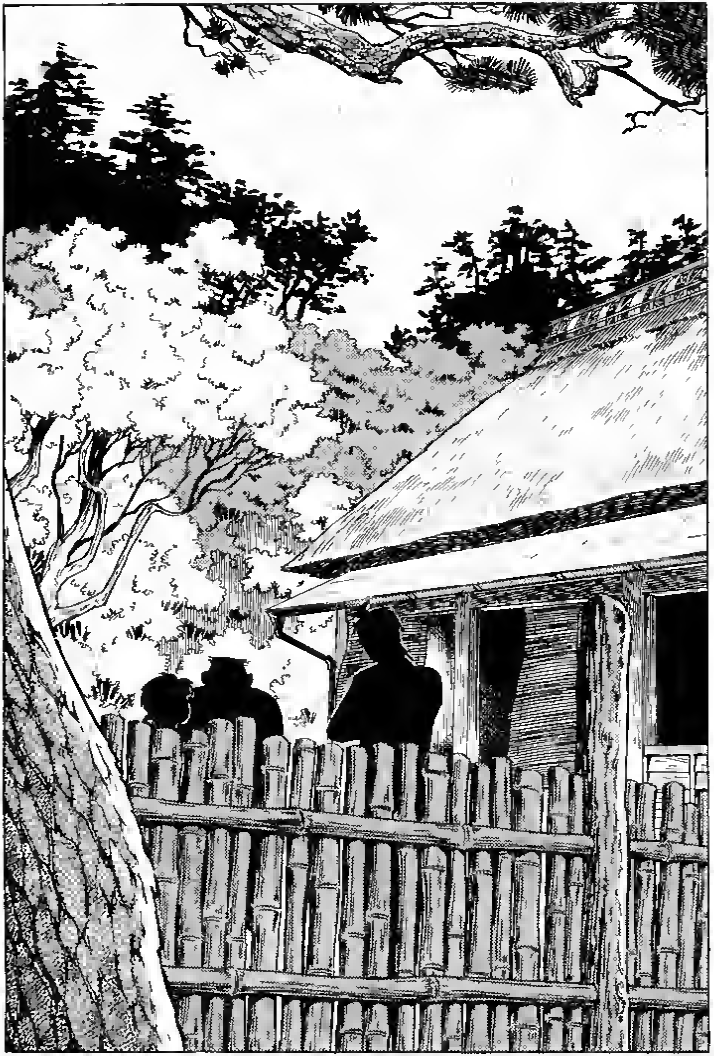

おおい
魚紳!!
おめえ
てえした子を
つれてきた
な……


ンッ!!


うひょ〜〜〜っ
ありゃっ!?
おおい 魚紳(ぎょしん)・こりゃあなんだかようすがちがうズラ
あいつぁ漁師のわしでさえすくいあげるのに手(て)こずってるやつだぜ!!


それを
一ばつで
すくいおった
……
フフフ
やっとわかったか
おやっさん
あの子が
こと魚に関して
なみの釣りキチ
少年じゃあ
ねえってことを
ウヒャ――ッ
やっぱし
海の魚は
ちがうなや
バカに
ひらべったくて
横っぴろくって
こりゃあ
なんという魚だべ
魚紳さん!!
イテッ
イテッ
イテテッ
ボヒュン!!
ボシャン


フフフ……
ケッヘヘヘ
かみつかれちゃったあ……
けがはなかったけえ
そいつあサザエやフジツボなんかのかたいカラをバチバチわって食うすんげえ歯の魚ズラ
えぇっホホントけえ
そうだよ三平くんその魚こそあしたからおれたちがアタックする磯の王者イシダイだよ……
えぇっ
磯の王者イシダイ




海をやるもんだったらどんな釣り人も一度はやってみたい釣り
それが磯の王者イシダイ釣りだ!!

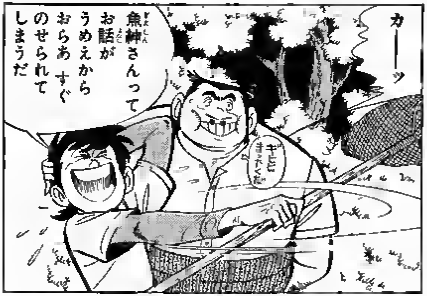

絶海よりおしよせる荒波をぶちくだく磯をよすがとし
その堅固な歯はサザエをカラごとかみくだく

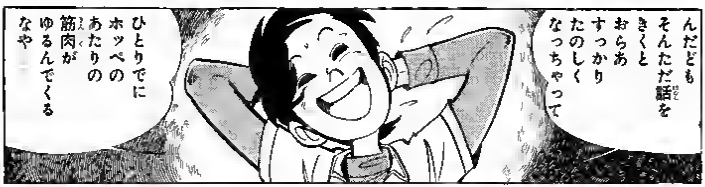

ひとたび釣り人の竿にかかろうものなら…
ハリをかみおり剛竿を岩場にたたきつけんばかりに抵抗して
最後まで弱音をはかない


その強引なヒキは まさに磯の王者として海釣りマニアの心をとらえてはなさない


うわ～～～っ
イシダイって
そんなに
すげえの
かあ!!


そうだ
イシダイは
男の釣りだ
そして 磯は
男の舞台とも
いうべきだろう


カ――ッ
キビビ
魚紳さんって
お話が
うめえから
おらあ すぐ
のせられて
しまうだ


んだども
そんただ話を
きくと
おらあ
すっかり
たのしく
なっちゃって
ひとりでに
ホッペの
あたりの
筋肉が
ゆるんでくる
なや


ン――ッ!!
しこたま
もえて
きたぞオ


このシマシマの魚が 磯の王者イシダイかあ
なーるほどすげえ歯をしてるなあ
おい 依紳おめえも 冗談がきついズラ
本気で三平くんにイシダイをやらせようっていうのけえ
磯釣行物
もちろんだがそれが どうかしたのか
パカもやすみやすみいうもんズラ
ひとくちにイシダイ釣りちょっとたってちょっとやそっとの釣り人にゃあ釣れねえ魚だことぐれえは おめえがいちばんよく知ってるでねえか
なんぼベテランでもことイシダイとなったら三年間丸坊主ちゅう人もすくなくねえズラ・・・
このあたりに釣りにくるれんじゅうでも十回磯に出て一枚釣れたらラッキーなほうズラ
ワ?


このごろじゃあなっかなか釣れねえもんだから
釣りのれんじゅうたちのあいだじゃあ幻の魚だなっていわれてるズラ


フフフ三平くんそんなことはねえ
げんにこのとおり生簀で飼うほど海にゃあいるんだ


おやっさんイシダイってそんなに数がすくないのけえ


そのへんの防波堤とかテトラポットあたりでかんたんに釣れる魚からおしえてやったほうが順序ってもんじゃあねえのけえ……

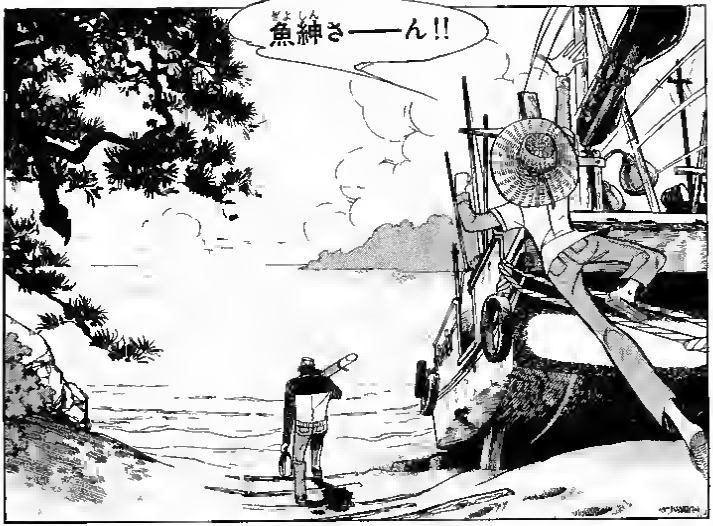

しかし三平くんは海がはじめてというでねえか
それをいきなり磯の王者に挑戦させる手はねえズラ


おやっさん
ご説は
ごもっとも
だが…
三平くんには
その必要は
ねえ
しかし わたしは
三平くんのこと
心配してるん
だぜ
だいいち
こんな
ちっこい
からだで
あのゴッツイ
磯竿を振れる
わけがねぇズラ


おやっさん
心配してくれるのは
ありがてえども
おらあ…
釣りちゅう
もんは
釣れねぇ魚を
釣るところに
釣りのほんとの
おもしろさが
あるんでねえか
と思ってるだ
んだから
目標は
なるたけ
てっけえほうが
ファイトが
わいてきて
いいなあ…

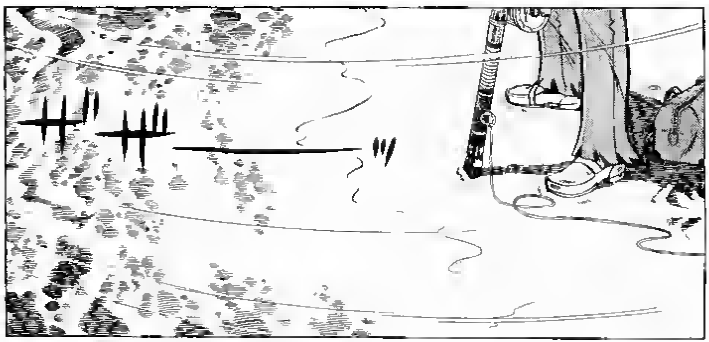

あ～～～ン
!?
フフフ…
おやっさん
三平くんって
こういう子
なんです


ファイトは
なかなかだが
しかし
いや
おっさんは
三平くんのことを
知らねえから
心配してるんだ
ようし!!
三平くん
その浜辺へ
出てくれ
おやっさんも
いっしょに
だぞ フフフ
おおい
魚紳
いってえ
なんの用ズラ
おい
魚紳!!


魚紳さ――ん!!








こいつがイシダイ釣りの竿だ
フフフ三平くん


うひゃ〜〜〜っこ こんなだぶっとい竿で釣るのけえ


そうさかんがえてもみろかりに四・五キロクラスのイシダイがかかったばあい
イシダイのにげる力や波による抵抗力などをかんがえるとときには二十キロも三十キロもの力がくわわることになるんだ
そんな力にたえる竿でないともたないだろう

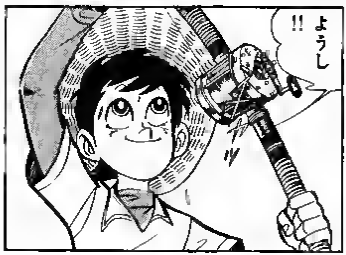

これなら
クジラだって
釣れそうだ
なや……
カ――ッ
す
すげえや!!
ええっ
!?
ここれを
おらに
くれるの
けえ!!
釣行服
そいつは
おれの愛竿の
ひとつだが
……
きみに
プレゼント
しよう
ク
クジラ
……!?
フフフ
……


ウヒャ～～～ッ
あんが
とオ――ッ
!?
その竿は
全長四・五
メートル
あつかいやすく
調子も上々な
やつだ…
リールは
スタードラッグ型
両軸受けリールで
十六号のライン
(糸)を三百メー
トル巻いてある

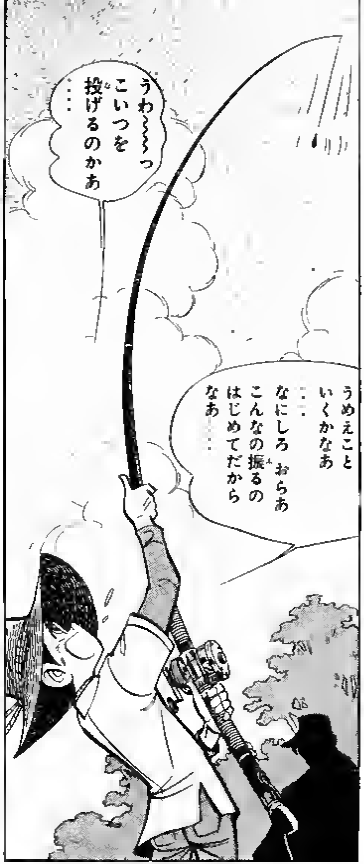

どんな釣りでも
釣果をあげるには
エサを正確に
ポイントに
うちこむことだ
その点
海も川も
かわりは
ない


だが海と川の最大の根違点はこのひろさだ
それだけにポイントは無限にあるといっていいだろう
足もとのすぐ下がポイントのばあいもある……
五十メートルも六十メートルもむこうがポイントということもある
だから海釣りの第一歩もやはり正確にポイントをうつキャスティングにあろう
さあ三平くん!!
沖へむかって思いっきり竿を振ってみろ!!
ええっ!!

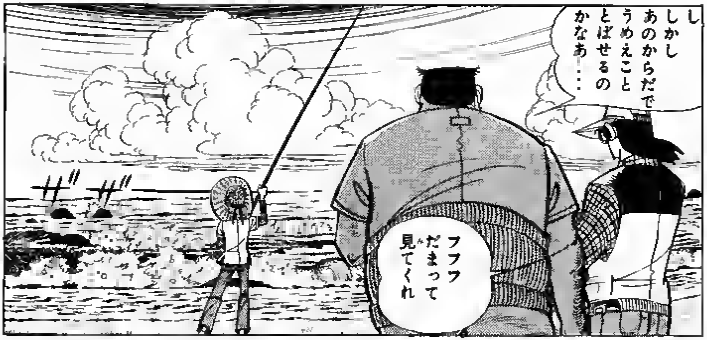

ラインは
三百メートルも
巻いてあるし
オモリも
二十五号だから
かなり とおくへ
とばせる
はずだ
思いきって
やってみろ

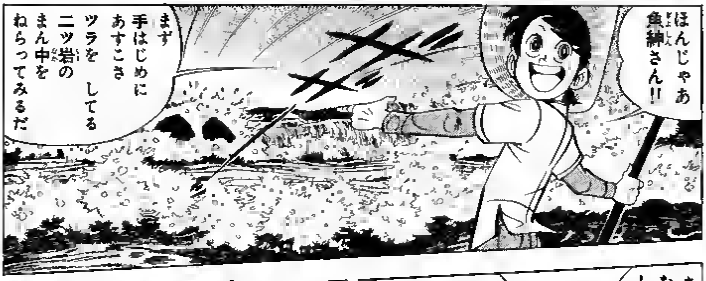

ようし
!!


おめえ
わしに
三平くんの
腕まえを
見せようって
いうのけえ
おおい
魚紳!!

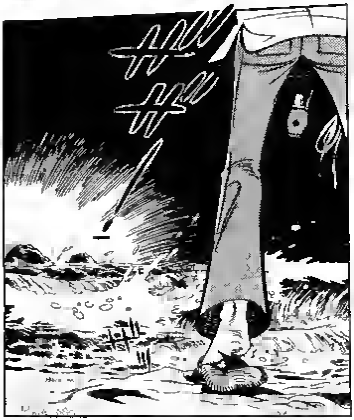

うわ~~っ
こいつを
投げるのかあ
……
うめえこと
いくかなあ
……
なにしろ おらあ
こんなの振るの
はじめてだから
なあ……


むろんだ
苦労性な
おやじさんの
ことだから
自分の目で
たしかめねえと
心配は 消えない
だろうと
思ってな


しかし
しかし
あのからだで
うめえことを
とばせるのは
かなあ…
フフフ
だまって
見てくれ


ほんじゃあ
魚紳さん!!
まず
手はじめに
あすこさ
ツラを
してる
二ツ岩の
まん中を
ねらってみるだ

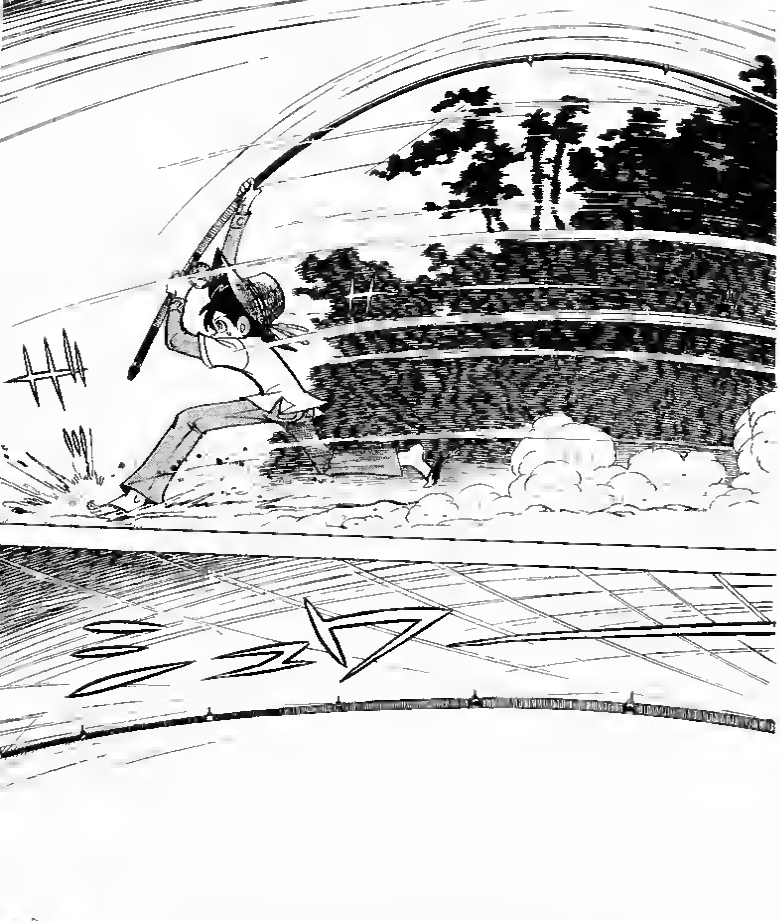

あーん
な なんだ
とオ
あの岩は
足もとから
五十メートルは
はなれてる
ズラ…

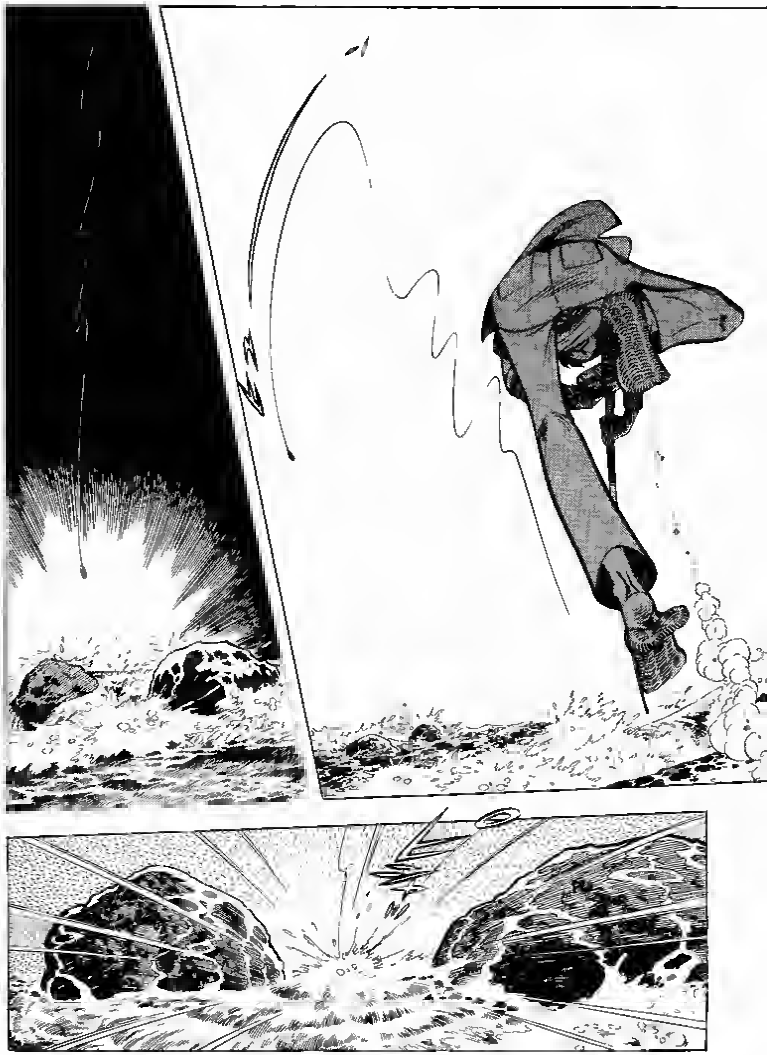



フフフ
…









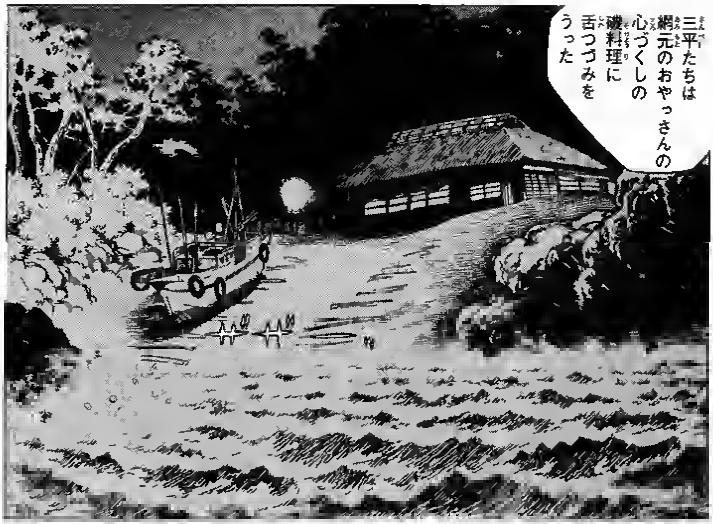

ハリャッ!?
魚紳さん
どうでえ
こんただ
あんべえで
いいだろう
!!
シャキ
シャキ


ぎょ
魚紳!!
ああれが生まれてはじめて
親竿を振った
子どもけえ…!?

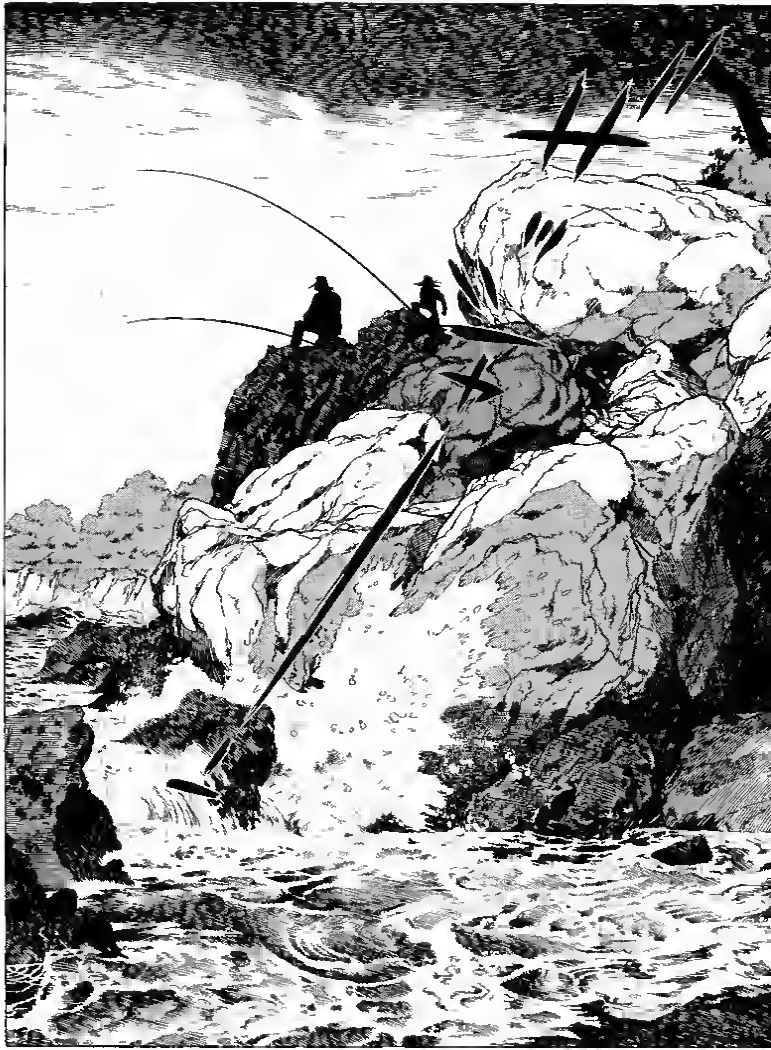

フフフ
おやっさん
わかって
くれたかな
三平くんの
力を…


クソオ!!
おもしろく
なって
きやがった
ズラ


ムフフフ…
おいおいおやっさんどこへいくんだ
フフフフおめえたちあしたの早朝から磯へ出るんだろ
ハア…
わしゃあこれからひとっぱしり穴場へいって
三平くんのためにサザエのコマセ(寄せ餌)を十キログラムもぶちこんできてやるぺえと思ってな…
おやっさんそれもいいけどうめえものを食わしてくれるってのはどうなんだ
おれもすっかりペコペコだあ
カーッ魚紳さんもおらも釣りのこととなると
メシのこともわすれてしまうんだなあ
ガハハハいっけねえすっかりわすれてただ


三平たちは
網元のおやっさんの
心づくしの
磯料理に
舌つづみを
うった


おじいちゃん
ボクはいま
はじめての海で
てんぐになって
なぜひっくりかえったのでしょう
くと アメリカに
感謝さんも
してくれます
磯の王者
手紙
おい
手紙を
かいてると
思ったら
ねてやがる
やっぱし
まだ 子ども
ズラ




オッ
一段!!

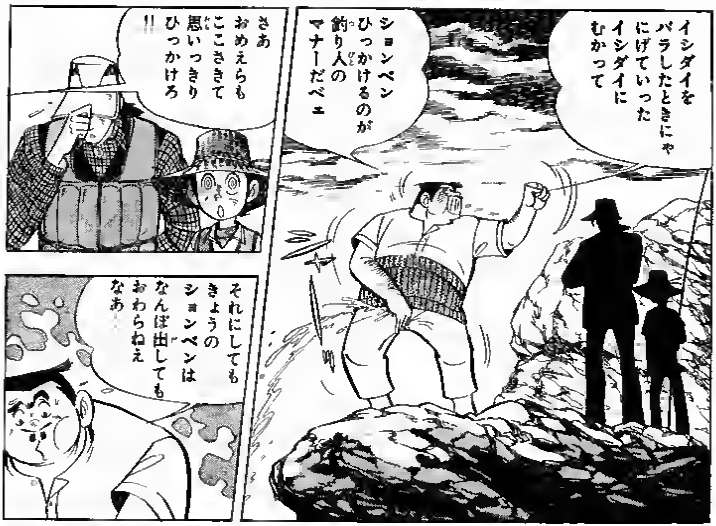

二段!!
三段引き!!
イシダイ独特の引きだっ!!

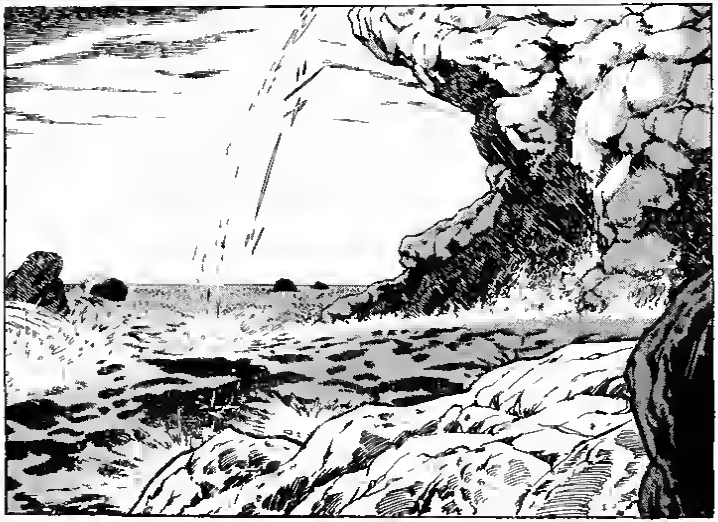

そりゃ――――っ


やった――っ
やった!!
やったぞ――っ
三平く――ん
うひょ～～っ
それ――っ
それ――っ
そこだ――
負けるで
ねえぞ――っ
思いっきり
竿をあおれ――っ
根さ もぐられる
でねえぞ――っ
ジャルル
ジャルル


ン――ッ
だいじょうぶか 三平くん
アハッ!!
アウッ

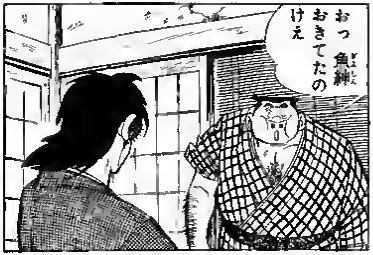

ああっ
フッヘヘヘ
おしかったな三平くん
ハリがかりがあさかったようだ
ま――ったく
おしかったズラ
ンーーッ
残念無念!!
ショワー
おやっさん!?
ん!?
なーに見とれてるんじゃおめえら


イシダイをバラしたときにゃにげていったイシダイにむかって
ションベンひっかけるのが釣り人のマナーだベェ
さあおめえらもここさきて思いっきりひっかけろ!!
それにしてもきょうのションベンはなんぼ出してもおわらねえなあ




夢!!
ファ〜〜〜ッ
まーだ二時半けえ
フェーッへへへへおかしげな夢をみるはずじゃって
ボウコウが破裂するほどたまってやがる
ンーーッもうすこしでもらすとこじゃったわい
そういやあゆんべは魚紳とひさしぶりにあったもんでビールをたらふくのんだのが原因しとるな…
ホホウ星空が…
きょうはいい釣りになりそうだな……
そろそろおきて出発の準備にとりかからねば

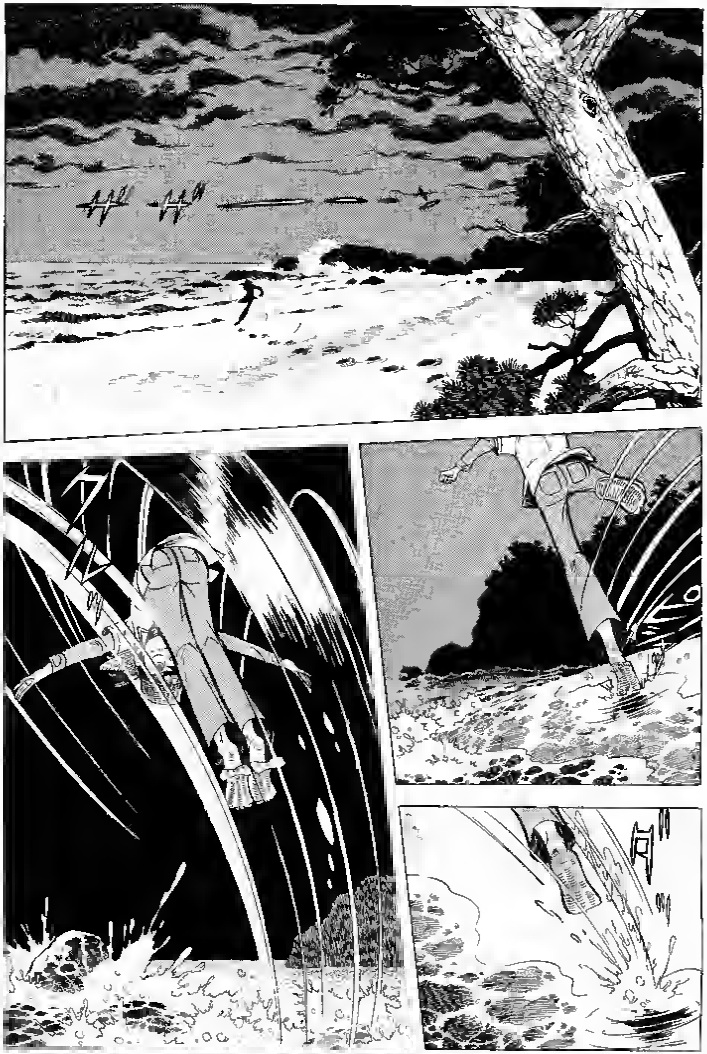

いや
おやっさんの
物音で
目がさめた
が……

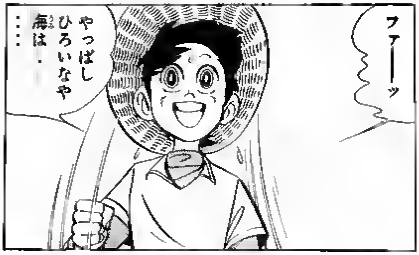

おっ魚紳
おきてたの
けえ

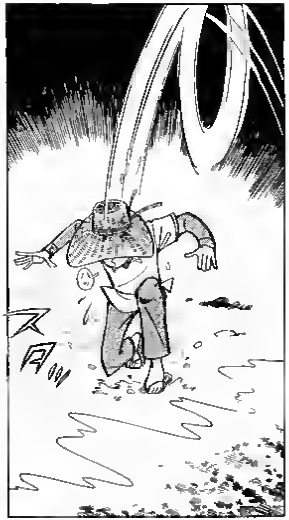


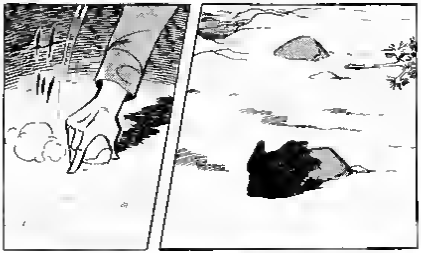

気が
ついたら
三平くんが
いないんだよ


ええっ
!?
どこへ
いった
ズラ!?




ファ――ッ
やっぱし
ひろいなや
海は……


ズボ




トワ――ッ




シーーッ
気もち
イーイッ
これが
磯のかおり
っていう
やつけえ!!


なっ!!
だろう
?
やっぱし
…!!


おやっさん
魚紳さん
!!
どうしただ
…?


そりゃあ
こっちのいう
せりふズラ
いってえ
どうしただ
こんなに
はやく
おきたり
して…


ケッへへ
おらあ
釣りとなると
ねてられねえ
性分だもんで
…
ちょっくら
トレーニング
してただ


なっ
だろう


おやっさん
すこし はやいが
三平くんの腕が
ムズムズしてる
ようだから
そろそろ
出かけると
するか
それも
そうだな
クッ


青根
赤根
黒根のうち
きょうは
どの根を
せめる気ズラ
ウム…
三平くんには
はじめての
海だから
比較的
ポイントの
はっきりしてる
青根のほうが
よかろう


魚紳さん
なんスか
その…
青根だの
赤根だのって
…
そうだな
根というのは
ひと口にいえば
海底の岩礁の
ことで…
根には
サザエやエビ
などのエサが
豊富なだけに
イシダイに
とっては絶好の
すみかなんだ
根…
!?
イシダイの
絶好の
すみか…
!?

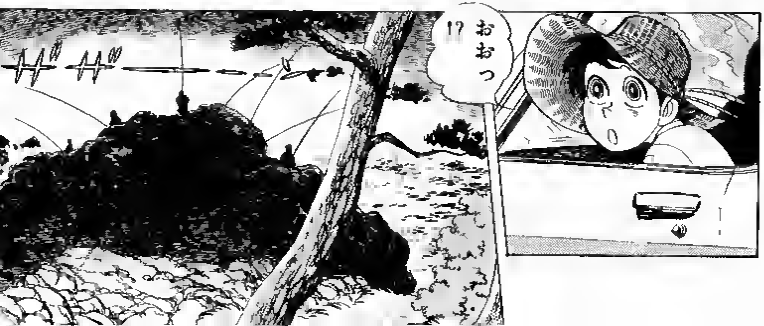

魚紳
エサのサザエは
このぐれえで
いいだろう
ありがとう
おやっさんには
いつも
世話をかける
なあ…
わすれものは
ねえな
三平くん
出発
だぞっ
!!
OK!!
青根へGO——!!

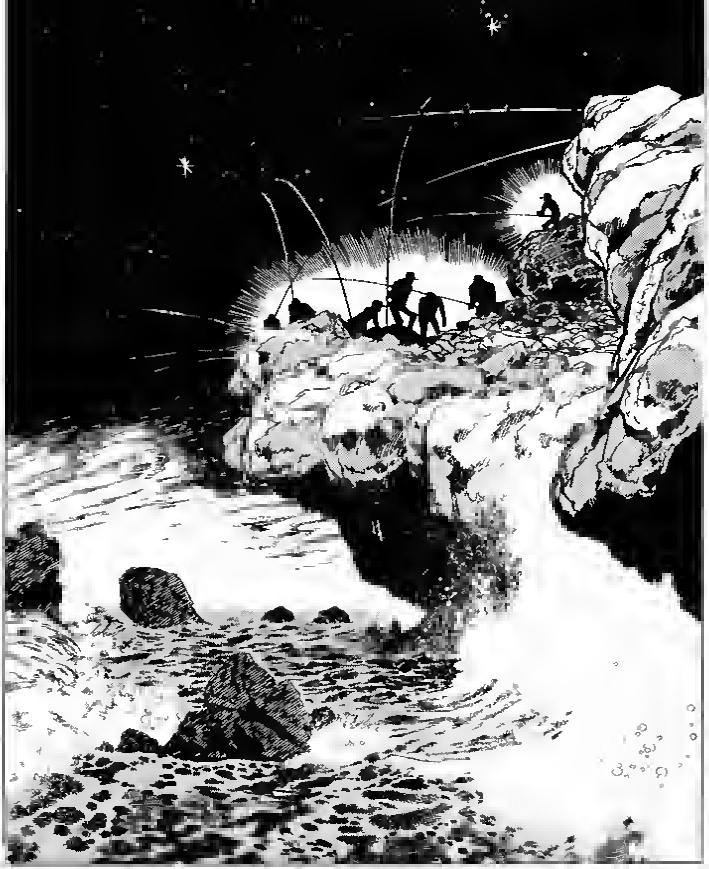


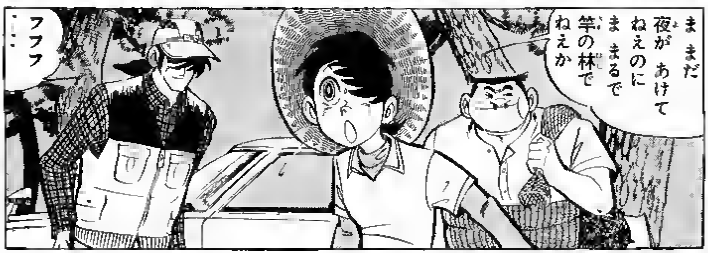



40

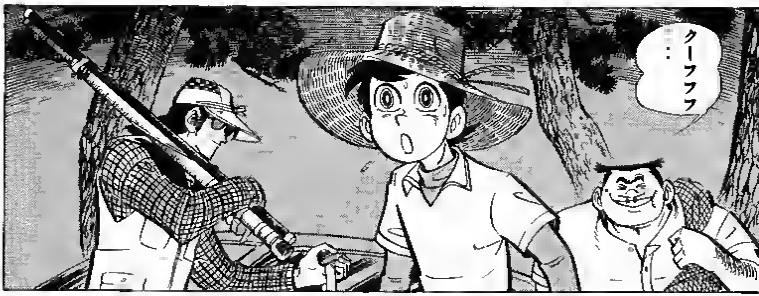

三平くん
青根の
入り口へ
ついたぜ
うひゃ
――っ
ドキドキ
してきただ


おおっ
!?



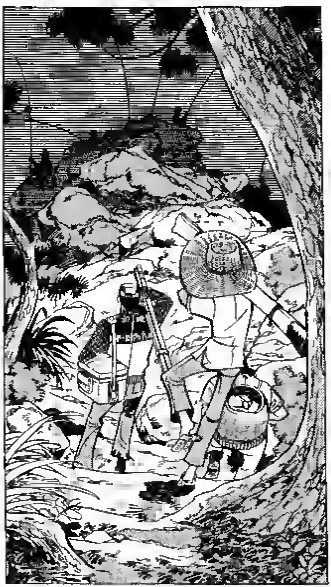

まだまだ
夜があけてねえのにまるで竿の林でねえか
フフフ……

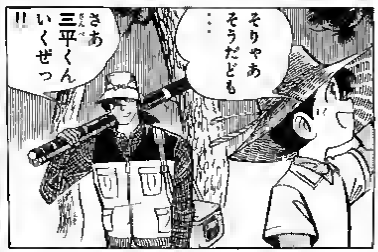



クーフフ…


たまげたなや…
こんただいるなんて…


ガハハハ
三平くん
おどろく
こたあ
ねえズラ
なんぼ
人数が
おおい
からちゅうて
海のひろさから
すりゃあ
アブクみてえな
もんズラ…




そりゃあ
そうだども
…
さあ
三平くん
いくぜっ
!!


カチ
カチ
ハ……
おはようございます……
シロ
カチ
ケッヘヘ
意外と無愛想な人だなや……


ギッヒヒヒ
目のまえに
イシダイが
ちらついて
なにも見えん
のじゃよ
イシダイに
こりはじめの
釣り人に
よくあるタイプ
ズラ・・・
なーんだ
そうけえ
ヒラヒラ
シャーシャー
なんや
おめえ
そげなとこで
なにして
まんねえ


フフフ
ああいう子なんですよ三平くんって……


な なんでもねえだ


一見チョコマカと道草をくってるように見えるが
どうしてどうしておどろくほど知識をえているんだ……


カ――ッみんな準備におおわらわってとこだなや
てーんで目つきがちがってるだ……
復興


どの人を見てもみーんな超ベテランってかんじ……
んだどもよオ


ハハハハそう見えるだけズラ
げんにきょうだってこんなでイシダイをおがめる人はいいとこ四 五人ズラ


そ そんな……

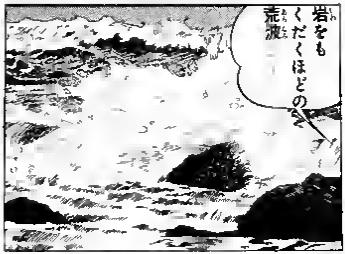

三平くん
きょうの
おれたちの
釣り屋は
ここに
きめよう
ここからだと
青根の
いちばん いい
ポイントも
目のまえだ
!!
フフフ 魚紳
そういえば
いつだったか
だいぶまえに
あの
コブ岩の
ポイントで
十枚ほど
たてつづけに
釣ったことが
あったな
フフフ
……
コブ岩
……!?
ホレ
あの岩の頭に
コブみてえな
岩が ポコンと
ついてるやつが
あるじゃろ
あれを
釣り人たちは
青根のコブ岩
とよんでる
ズラ……

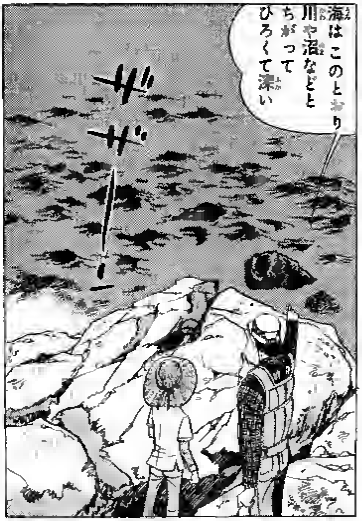

コブ岩かぁ……
なーるほど
やっぱし釣りのれんじゅうは海でも川でもポイントや目印になるような場所さいろいろとおもしれえ名まえをつけるのはおなじなんだなや
そうだよそういう名称は釣りなかまにだけつうじるもので
そこから釣りなかまの一種の連帯感が生まれてくるんだよ……


三平くん!!いつまで見とれているんだ
もうすぐ夜があけるから至急準備にとりかかるぞっ!!




さあ
きみも
救命具を
つけたまえ
こんな
ものを
つけるのけえ!!
なーんぼ
なんでも
こーんな
ブカブカのを
つけたんじゃ
釣りも
なんにも
できたもんじゃ
ねえべ
魚紳さん
おらあ
こんなもん
つけねえでも
だいじょうぶ
さ…
三平くん!!
海を
あなどっちゃあ
いけねえぜ


岩をもくだくほどの荒波


海はこのとおり川や沼などとちがってひろくて深い


日に数度もかわる潮の流れと……


つねに危険がともなうのが磯釣りだ
だから救命具は磯に立つ釣り人のマナーだ


ゴメン
ゴメン
わかっただ


わかったらすぐつけたまえ
ハイ


どうしただ 魚紳さん!!
おこったのけえ!!


べつに……
ただ…ずっと以前 おれの親友が 海におちて 死んだときのことを 思いだしたんだ


ええっ


あんとき 救命具を つけてたら 死ななかったんじゃねえだろうかなって 思ったのさ


魚紳さん
キュルッ


ン!?


おうけっこうサマになってるじゃねえか


どうでえにあうけえ!!


よーし救命具をつけおえたらこいつをしめるズラ

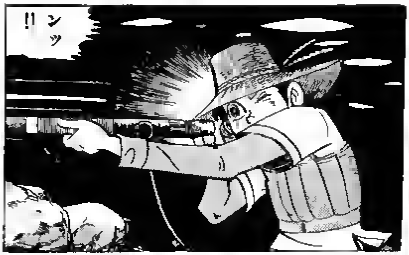

ええっこ こんどは毛皮のフンドシをしめるのけえ


よくにてるけんどフンドシではねえズラこんなとがった岩場で直接腰をかけたらケツがいてえズラ


うわ〜〜〜っこいつあいいや

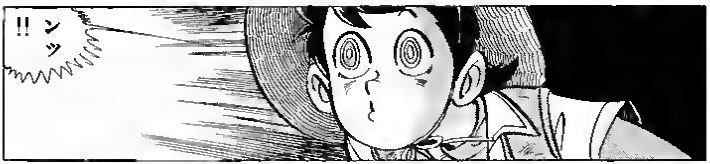



アギッ!!
ジーッ
クーッ
さあロッドを継いで
ライン(糸)をガイドにとおすぞ
おやっさんエサのサザエを五六個ばかしわってくれ
よしゃっ!!


!! ンッ

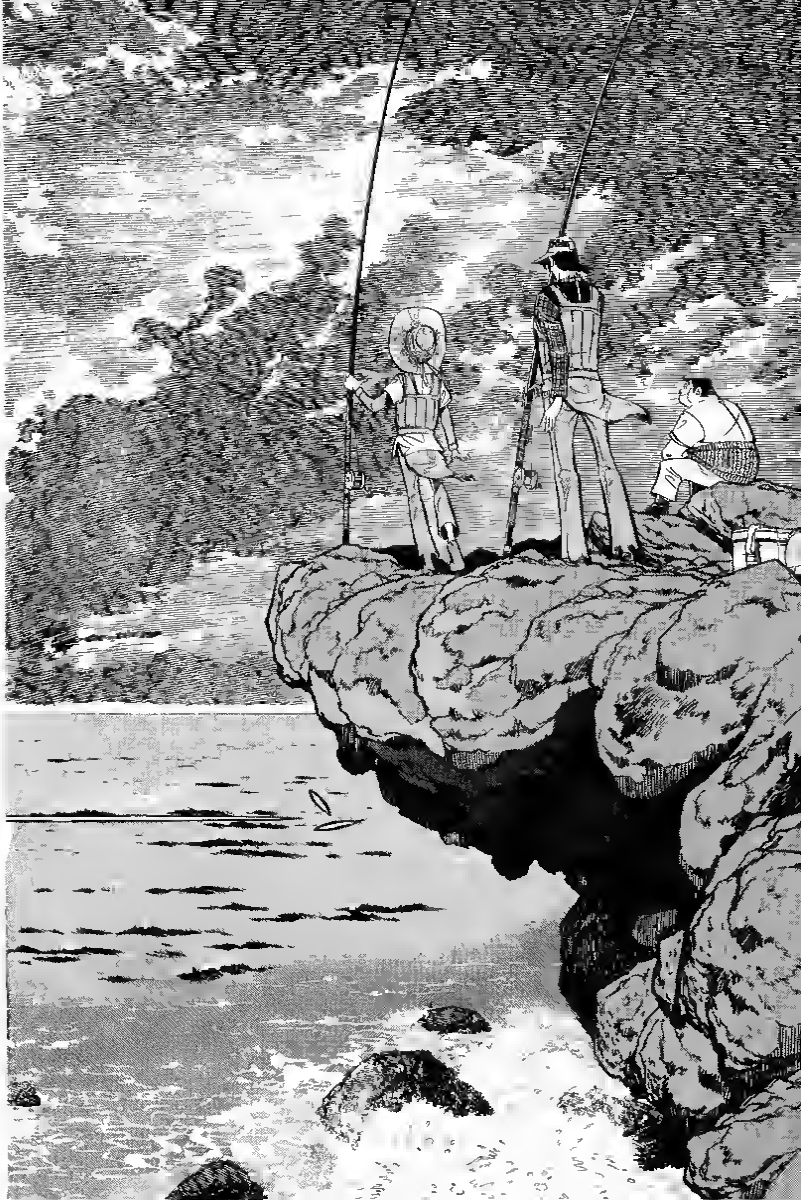

カ――ッ釣るぞオ!!

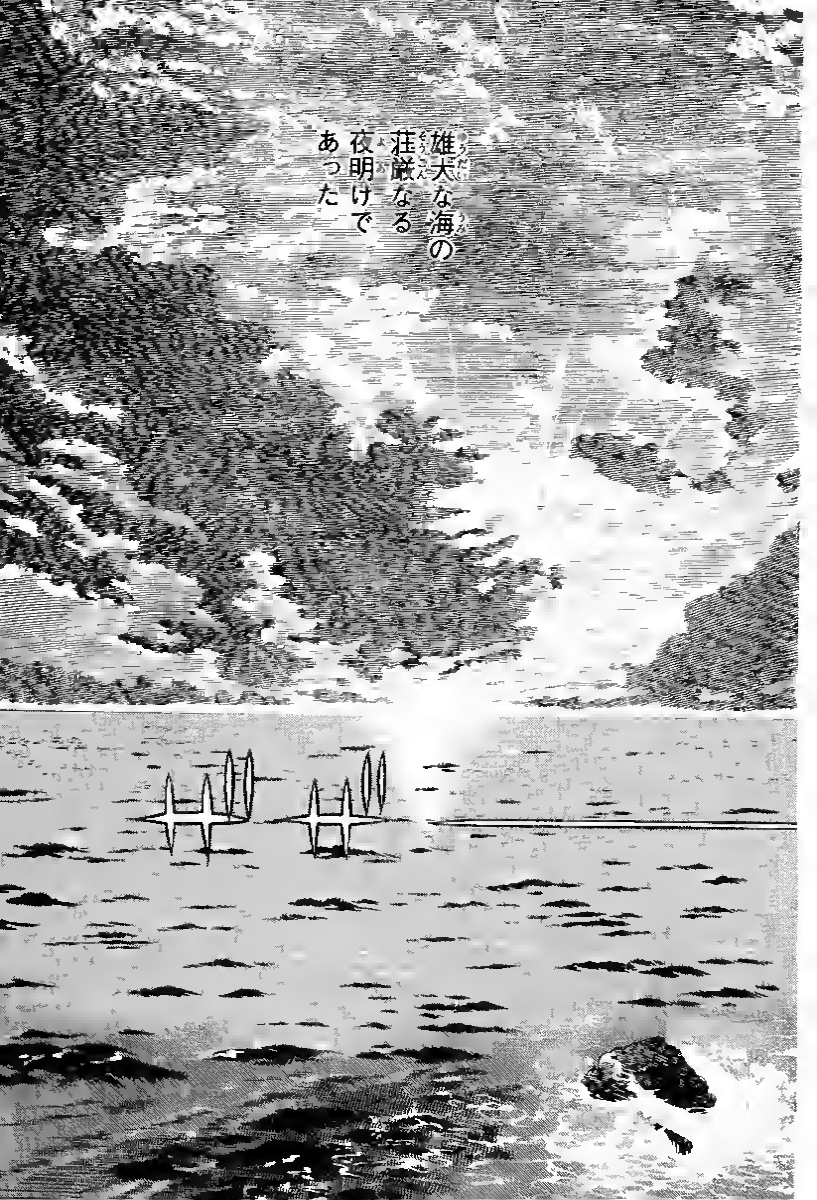



!! ンッ


ウムッ!!

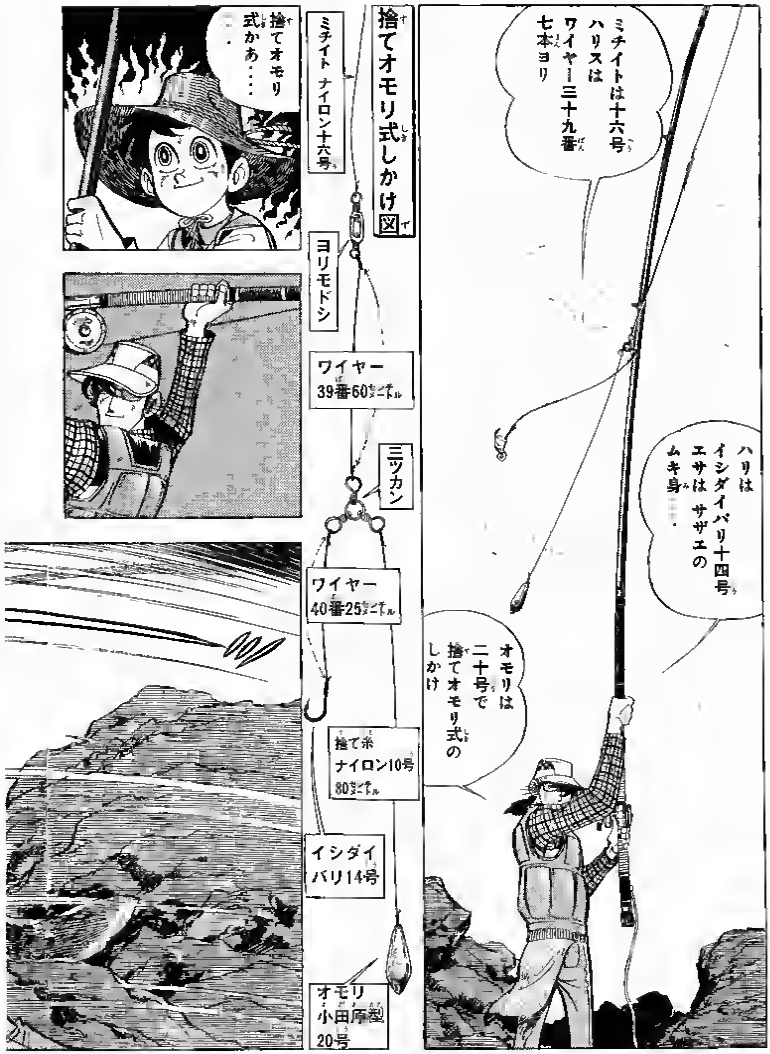

ああっ



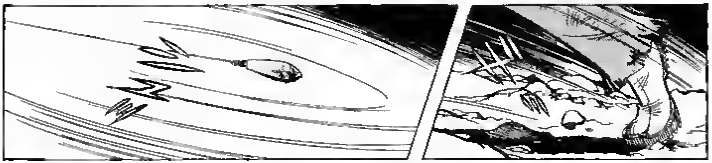

雄大な海の
荘厳なる
夜明けで
あった

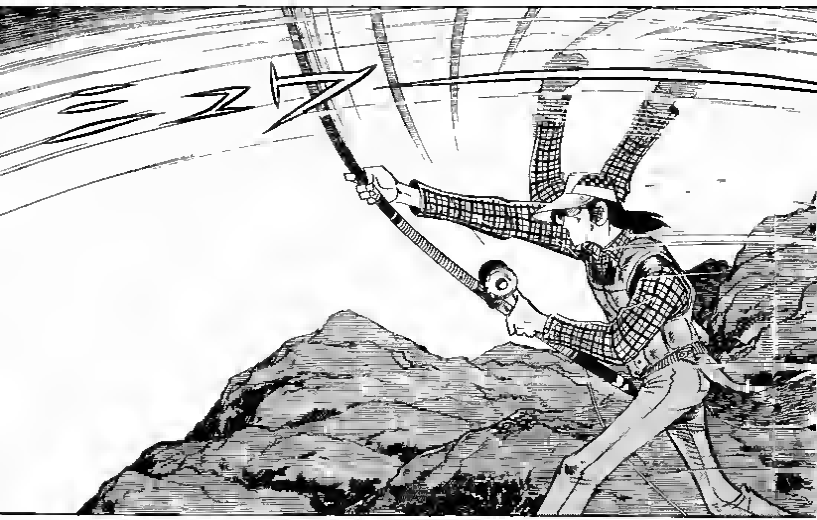

すげえなや…
ウ――ム
まった～
海の夜明けってやつは
いつ見ても
心があらわれる
気がする…
三平にとっては
生まれて はじめて
見る 大海原の
夜明けで
あった…
そして
この夜明けは
また…
まんを
じしていた
釣り人たちの
竿が
いっせいに
うなりを
生じるときでも
あった

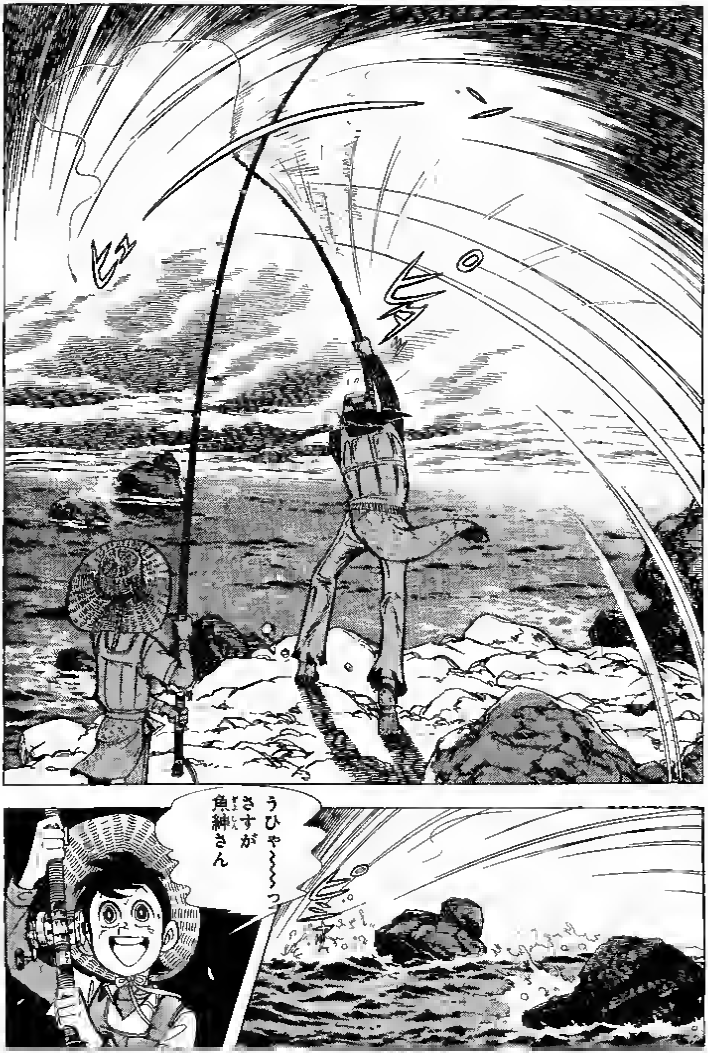

ありゃっ!!
すすげえ!!
オーース
フフフ三平くん
いくぜっ!!

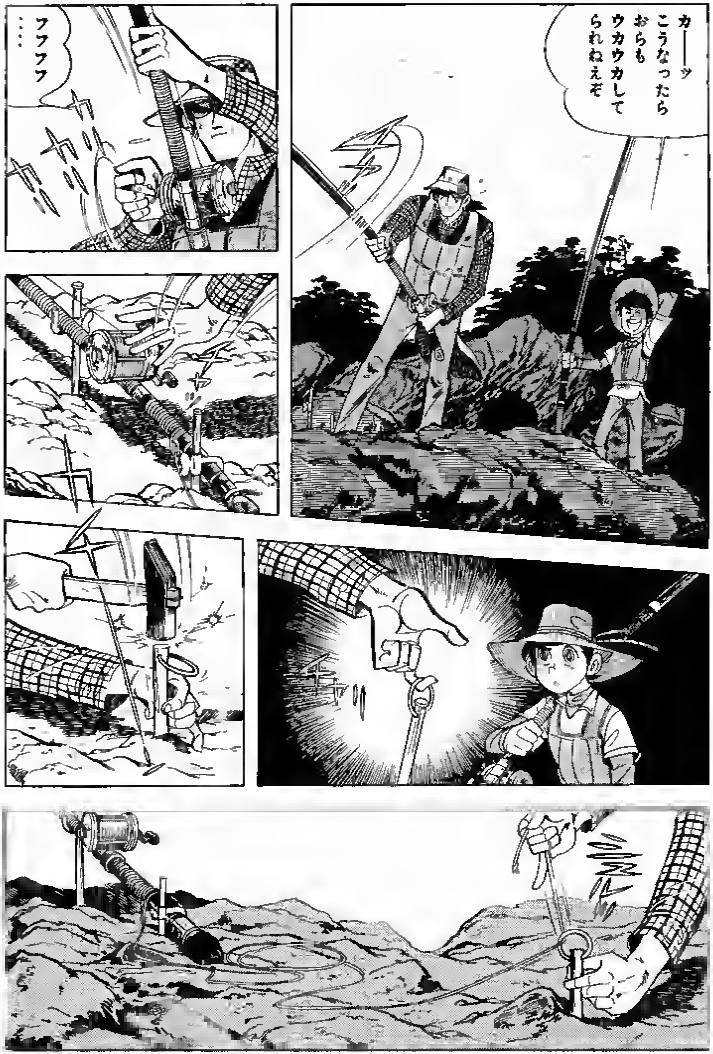

捨てオモリ式しかけ図
ミチイト ナイロン十六号
ヨリモドシ
ワイヤー 39番60センチ
三ツカン
ワイヤー 40番25センチ
捨て糸 ナイロン10号 80センチ
イシダイバリ14号
オモリ 小田原型 20号
ミチイトは十六号 ハリスは ワイヤー三十九番 七本ヨリ
ハリは イシダイバリ十四号 エサは サザエの ムキ身
オモリは 二十号で 捨てオモリ式の しかけ
捨てオモリ式かあ……


ロッド(竿)をポイントにむかってまっすぐにかまえる!!
かまえたら目はポイントからぜったいにはなさない!!





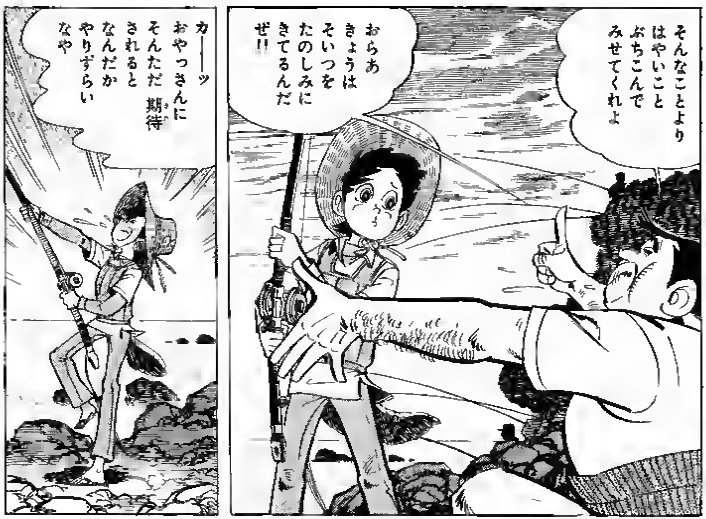

ヒュ
ヒュ
うひゃ〜〜〜っ
さすが
魚紳さん


カ――ッ
こうなったら
おらも
ウカウカして
られねえぞ
フフフ
……

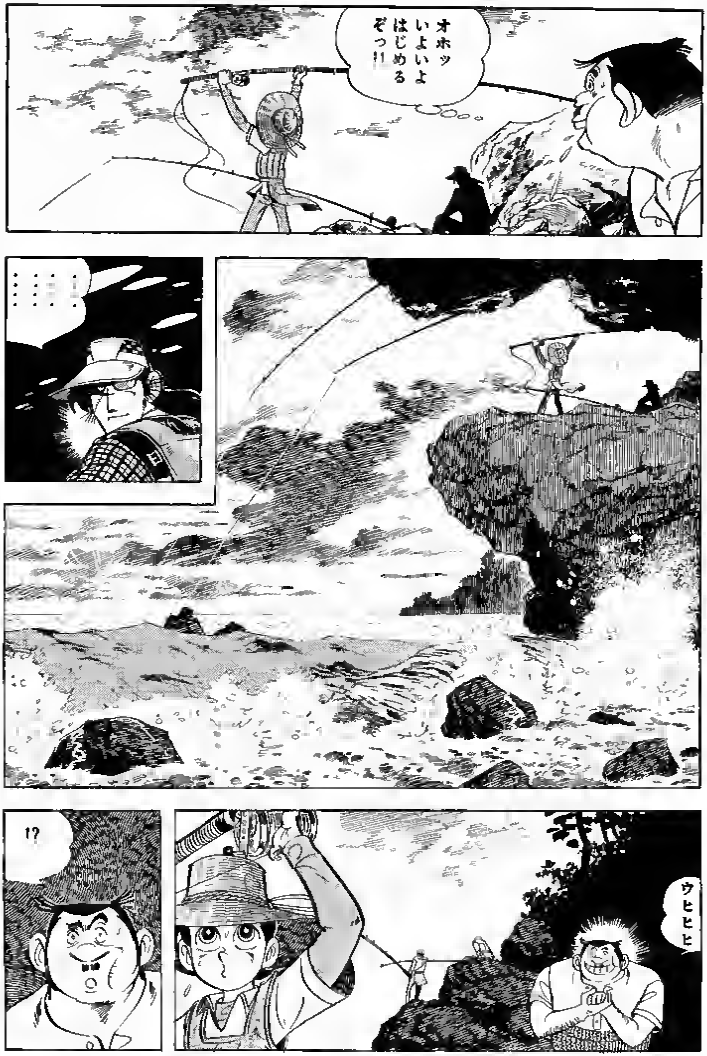

ウ～～～ン
イシダイって
すげぇんだ
なや
ああやって
ビトンを
うちこんで
竿をしばって
おかねえと
もっていかれちゃう
ってんだから…
さあ
三平くん
はやいとこ
第一投を
投じてみろ
魚紳さん
あわてることねえだ
おらに
とっちゃあ
はじめての
こったし
まあ…
ひとつ ひとつ
勉強のつもりで
やるだ
フフフ
それも
いいだろう
よい
しょっと
!!
なにを
ボヤッと
してるズラ
ささ
はやいとこ
エサを
つけて
さ
三平くん
!!


いいけえサザエをつけるときにゃあな
ここんとこの赤い身をきりおとして
まあこんなとこズラ
ク〜〜〜ツゴッツイしかけだなやハリスがワイヤーだなんて!!
感心するにゃあはやいズラ
大ものが食らいついたらそいつだってきられることもあるズラ…
まーさかア!!
まさかじゃねえズラ…
もっとも磯場の海中はデコボコがはげしいから
根ずれ(岩かどで糸がすれること)できれることがあるし
キンク(ワイヤーがねじれること)による場合もある…


フ～～～ン
そうかあ
海の底がそんたにするどくデコボコとしてるから
捨てオモリ式なんていうシカケが発明されたんだなや…
そうズラ
根がかりはオモリが岩と岩のあいだにはさまることがおおいんで
オモリをむすぶ糸をほそいナイロンにしてひっかかったときにゃあ糸をきってオモリだけをすてるのが
捨てオモリ式のしかけズラ…


そんなことよりはやいことぶちこんでみせてくれよ
おらあきょうはそいつをたのしみにきてるんだぜ!!
カーーッおやっさんにそんただ期待されるとなんだかやりずらいなや

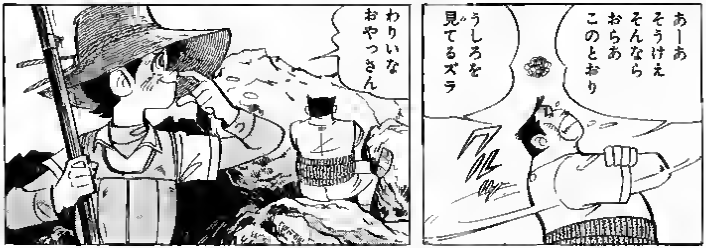

オウ 三平くん いよいよ はじめる気だな
へへへッ ボッボッとな…
まあ きみの いつもの調子で 気楽にやることだな
そりゃあ わかってるども…


オホッ
いよいよ
はじめる
ぞっ!!
!?
ウヒヒヒ

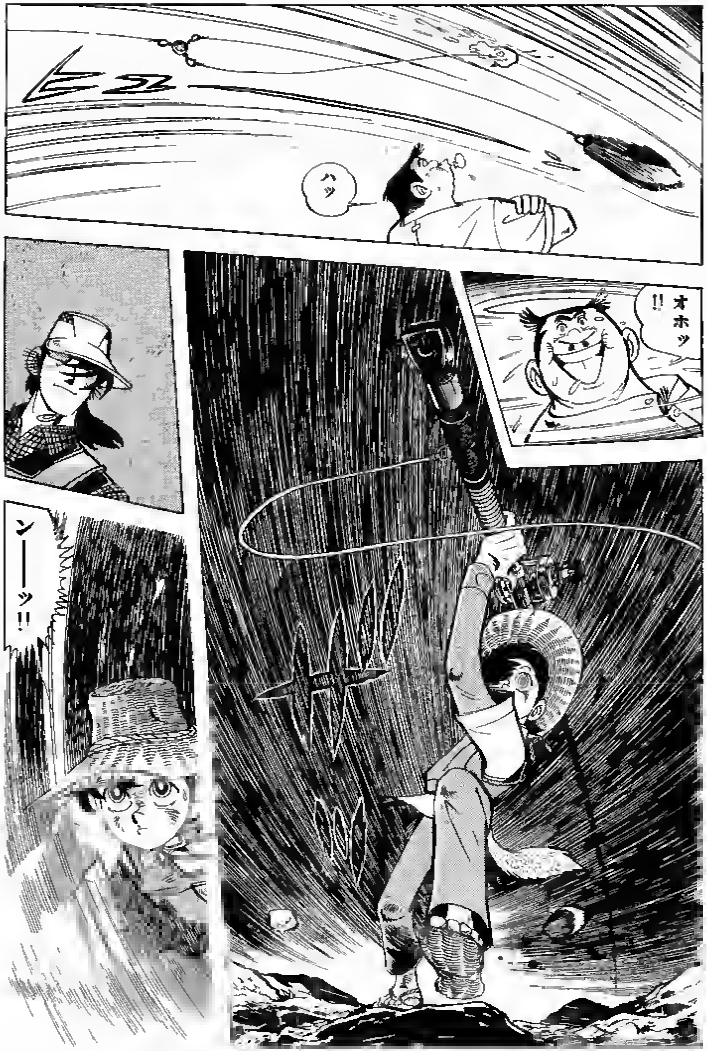

ありゃっ!!
どうした ズラ
いやあ 海が あんまし ひろいもんで
すっかり 緊張 しちまって…
なーに いってる ズラ
海が ひろいのは むかしから ズラ はよう せんかい
ンッ
そこだっ!!
カッコ イイ〜
イケ イケ!!
ナーンチャッテ


やーっぱし
緊張
するなや
ハレッ
はよう
せんかい
気をもたせ
やがって
ホーッ
くたびれる
ズラ
おやっさんが
気をもむ
こともあるまい
かえって
三平くんが
緊張する
じゃねえか


そう
そうなんすよ
魚納さん
どーも
見られて
るってのは
緊張する
もんすね
フフフ


あーあ
そうけえ
そんなら
おらあ
このとおり
うしろを
見てるズラ
わりいな
おやっさん


そんなら
わしゃあ
どうすれば
いいズラ
イヤイヤ
ハハハ
なにげない
しぐさを
することだよ
おやっさん
なるほど
なにげない
しぐさか
・・・
なにげない
しぐさ・・・
なにげなく
ドーモ
シックリ
シナイ
ナァ
なにげ
なく・・・
カーッ
やっぱし
気になる
なあ
うしろを
見てるって
のも


ヒュ
ハッ
オホッ!!
ン――ッ!!




ブッ
あ〜〜〜っ
ン!?
ありゃっ
ドシャン
ク〜〜〜ッ
足もとさ
ボシャン
けえ：
あっ!?
ユル
ドド
あーあ
ついに
やったか
バック
ラッシュを
ザラガっ
ありゃ
ありゃっ

実釣メモ

バックラッシュ

ライン(糸)の出よりもスプールの回転がはやい場合におこる現象で 釣り用語ではバーマとも よんでいる

もっと わかりやすく 説明すると

イヨくぅ、マチマシタ ハこサムク

両軸受け型リールを キャスティング(投げる)する場合 スプール(糸が巻いてあるしん棒)が 自由に回転して 糸が出るフリーの状態で おこなうわけですので・・・

投げたオモリの重さで 糸が ひきだされ オモリの とぶスピードで 糸が ほぐれ 出ていくことになるわけです・・・しかし

A キャスティングした地点

B 放物線をえがいて オモリが とんでいく頂点

C オモリが着水した地点

D 水底

上の図で かんがえてみよう

A～Bは いきおいよく オモリが とぶが

B～Cでは しだいに スピードが おちていき

C～Dは 水に しずむだけの はやさしかない

しかし スプールの ほうは はじめの惰性で 回転をつづける ために バックラッシュが おきるのだ

このバックラッシュを ふせぐためには 親指をあてて スプールの回転に ブレーキをかけながら スピードを 調節する

これを サミングと よんでいる

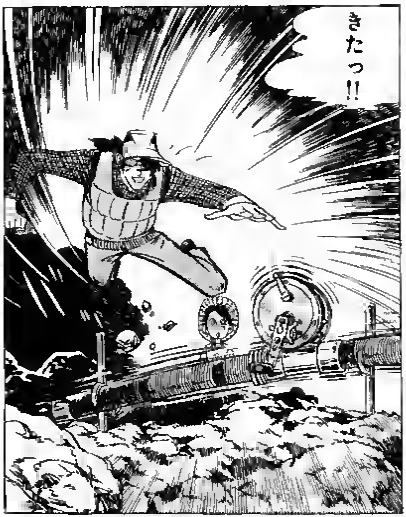
トホ～～ッ 砂浜で練習したときは

あんなに うめえこと やってたのに なあ・・・


フフフ
三平くんの
失敗
第一号か
…
練習と
実戦とは
ちがうという
ことだな


ケッヘヘヘ
すっかり
緊張し
ちゃって
サミングを
わすれて
ただ…!!
なにしろ
はじめての
海だもん
なあ


ウヒャーッ
こんだ
こんがら
がって!!
どう
ほどきゃあ
いいんだよオ

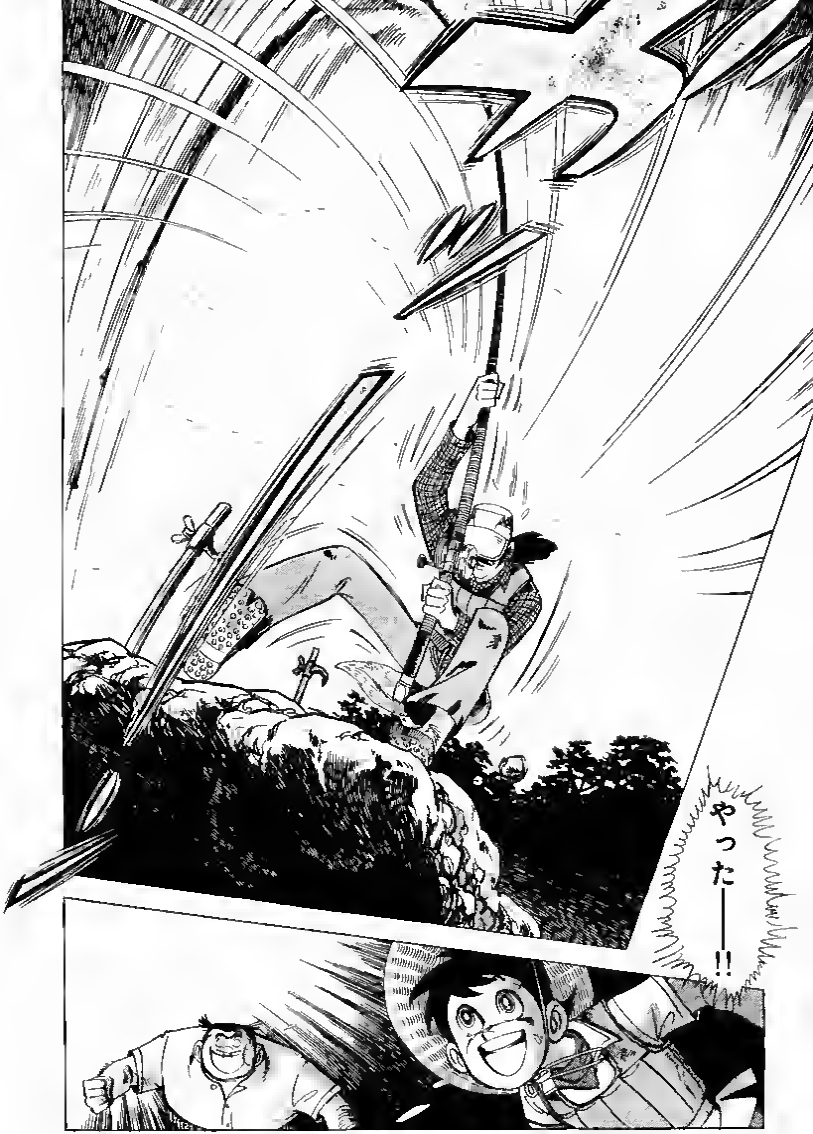

きたっ!!

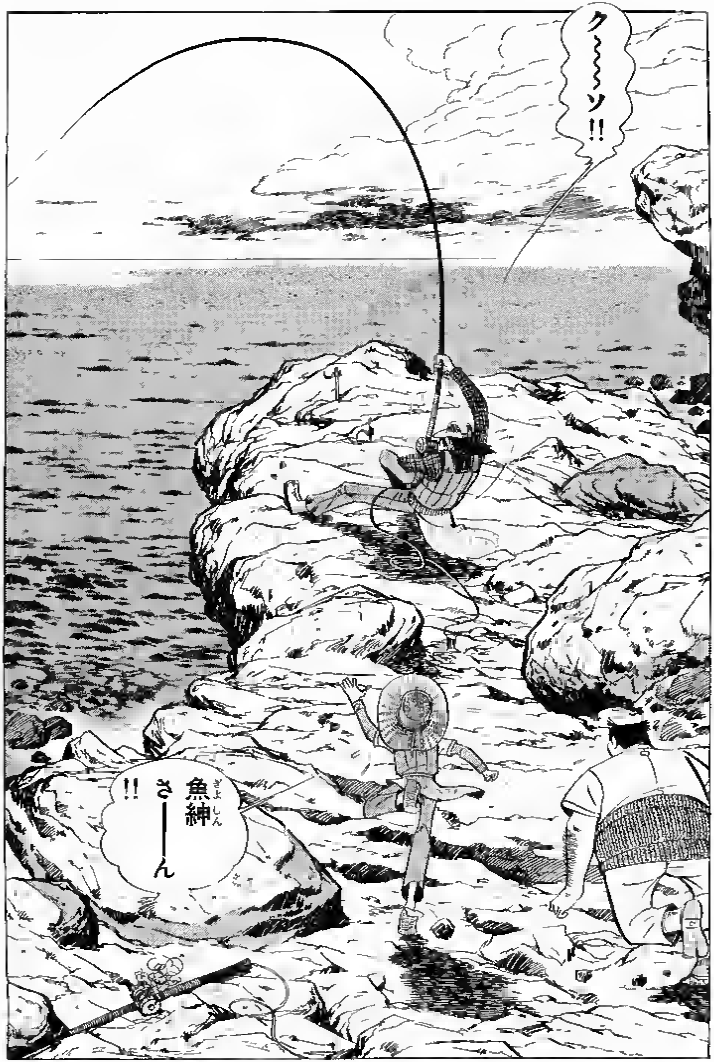

ン!?

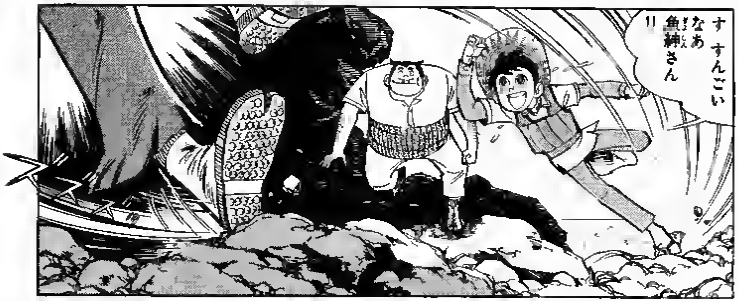


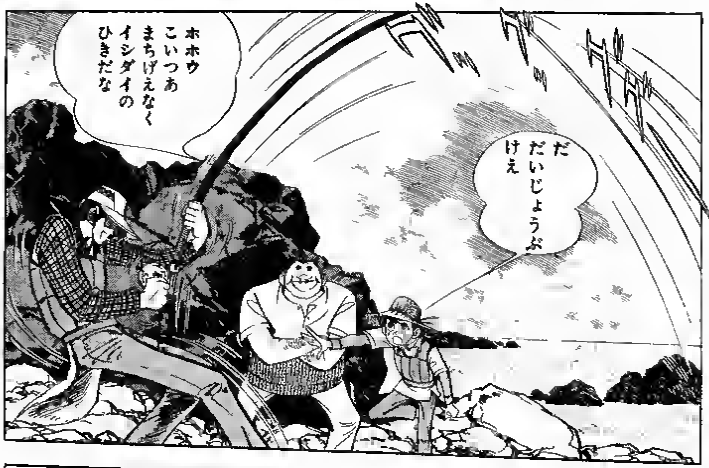

きたっ!!
!?
ああっ
ひいてるっ!!


イシダイけえ!!
だったら三段引きのはず
!!


やった――!!


ク～～～ソ!!
魚紳さ――ん!!


すんごいなあ魚神さん!!

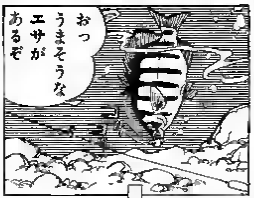

だだいじょうぶけえ
ホホウこいつあまちげえなくイシダイのひきだな

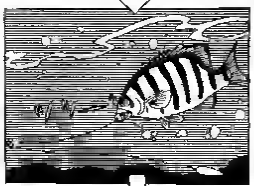

というとおやっさん!!さっきのアタリはやっぱし……

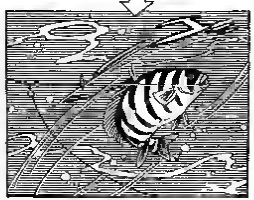

そうズラ
さっきのがイシダイ独特のアタリの三段引きちゅうやつズラ

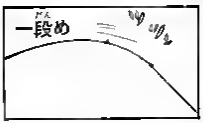
おやっさん釣りコーナー



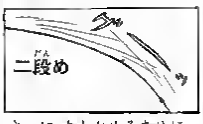








エサに疑問をもちながら口ばしでころがしたりちょっとつっかけてみたりする

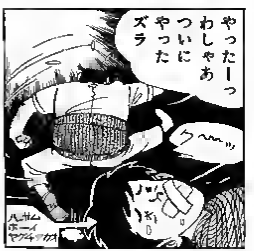


さらにたしかめるためにエサをくわえあげてすこしひいてから とまる



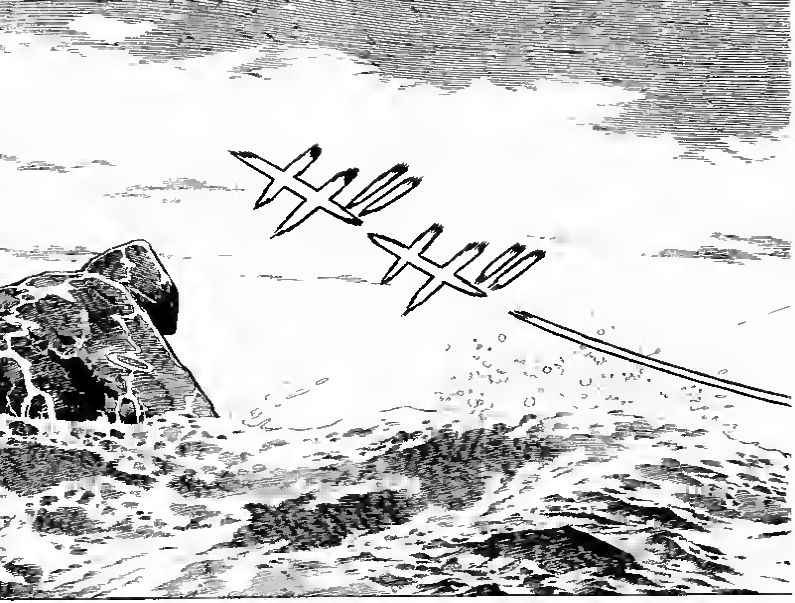
体を反転して方向をかえいっきにつっぱしるこの瞬間があわせのタイミングである

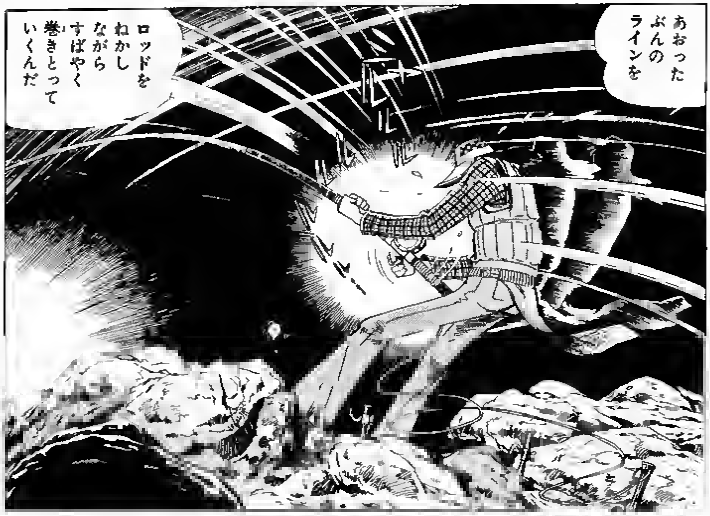





フエ――ッ
あいかわらず
いい
ファイト
してるぜっ
!!


なーに
いってるだ
魚紳
おめえの
ほうこそ
あいかわらず
いい腕してるズラ
三平くん
いいかい
イシダイと
いうやつは
ごらんの
とおりの
好ファイトで
だまっていれば
リールを巻く
こともできねえ
ボンピング
はこういうとき
やるんだ
ロッドを
思いっきり
あおって
おいて
ボンピング
……!?




あおったぶんのラインを
ロッドをねかしながらすばやく巻きとっていくんだ


この動作をなんどもくりかえしてひきよせるのさ
そりゃ〜〜っ!!
フェ〜ッこいつあきついや!!
ぎょ角神さんなんか手つだいましょうか
三平くん手だすけは無用ズラ
よほど危険なことがねえかぎりな…
それよりもはやいとこパーマしたライン(糸)をほどいて
イシダイ釣りをやるベエガハハハ…

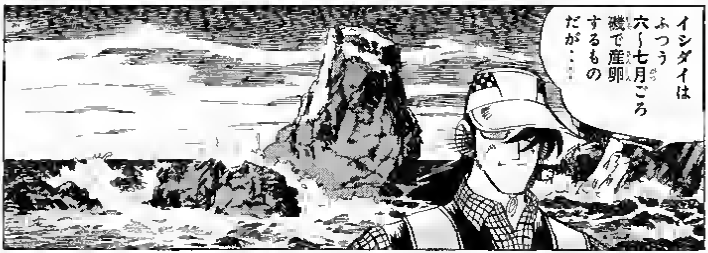

アハッ


金神!!
だいじょうぶかっ!!
下さおりてすくいとろうか!!
よけいな心配するな
このていどのものならゴボウ抜きさ!!
ゴボウ抜き
三平くんようく見てろっ!!
ン――ッ


ああっ!!
すげえ
てまえさうちよせる波頭の上さのっけてのゴボウ抜きけえ!!
フェーッ!!
うわ〜〜っ

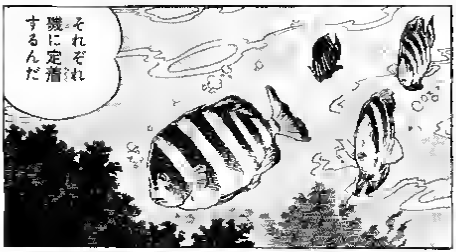

うわ〜〜っ
でーっけえ
なや〜〜っ
すげえ
なや
この重
なーるほど
こんだ すげえ
鯉だったら
やっぱし サザエ
なんか パチパチ
やっちまうべなあ
チーサイ
チーサイ
そんなもんで
おどろいてる
ようじゃあ
シマが 消えて
一人まえになった
やつを見たら
腰ぬかして
しまうズラ
まーた また
おやっさんの
話は いつも
でかすぎるん
だよ〜〜っ


いや 三平くん
おやっさんのいうとおりだよ……


イシダイはふつう六～七月ごろ磯で産卵するものだが……


孵化した稚魚は流れ藻にのって南の海へくだり


そこで二十～三十センチメートルに成長したイシダイはやがて黒潮にのってむれをなして北上し……


それぞれ磯に定着するんだ


そのころまではシマのはっきりした魚体をしているが
磯に定着して成長していくうちにしだいに保護色となってシマが消え体全体が黒すんでくるんだ…!
コポン
ヘエ〜〜〜ッ
でっかくなるとシマシマが消えちまうのけえ…


魚紳!!こいつあスカリ網にいれて海さぶちこんでおくべ
すまねえなおやっさん
なあにてえしたことねえズラ


それよか三平くん!!
はやいとこパーマをほどいて釣ってみろよ!!
ハッ


フェ――ッ

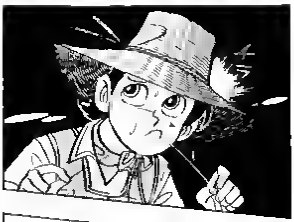

グズグズしてるともうすぐ日の出ズラ
ズ――ッ
トホホ――ッ


おらとしたことがマズったなや……


エエート
ここんとこがこうなって……ああなって……と
フフフフ……


ク～～～ッめんどうだなあ……


ミュウ




どうした
三平くん
まだ
ほどけない
のか…


クーーッ
あせっちゃう
なやーーー

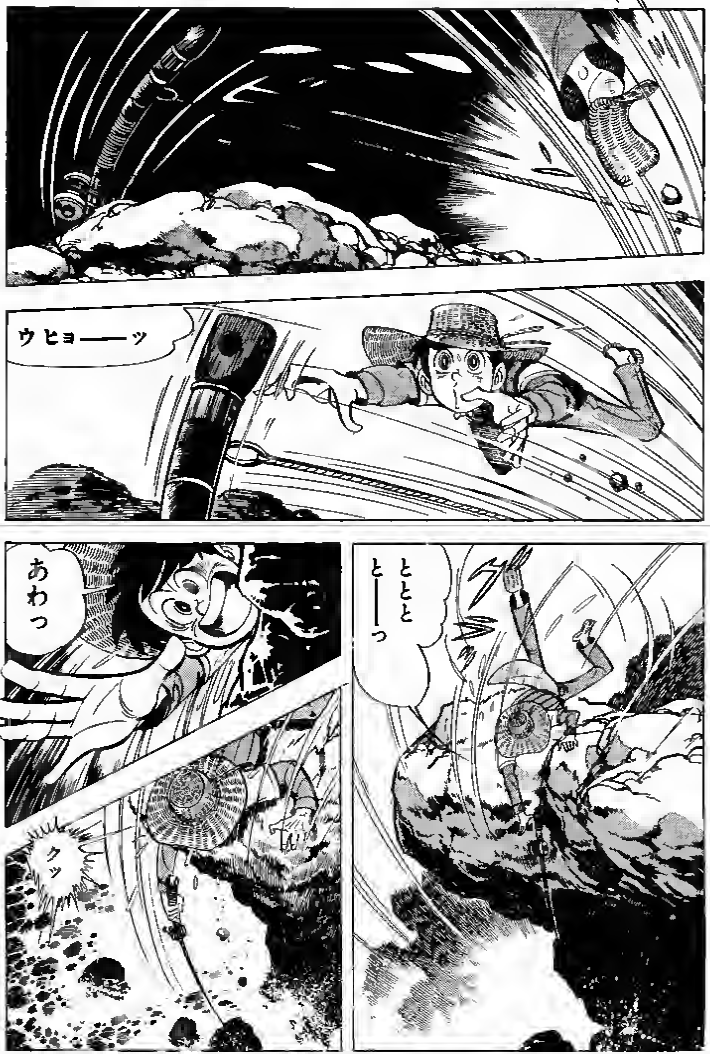

キーーッ
魚紳さーん
あんまし
あせらせねえで
くれよーーっ
もうすこし
なんだから
ハハハハ
そうか
そうか…


フェ――ッ
みじめだなや…
おらあ釣りをやってこんただみじめな目にあったのははじめてだあ…
もうチョイだぞっ!!


!?
魚紳さんひっぱらねえでくれよオもうチョイでほどけるから
どうしたんだ三平くんおれはなんにもしてないぜ


ええっ!?
だ だって……これ……
ン!?
ありゃっ な なんだこりゃあ
どうした だ!!
竿がかってにあるきだした〜〜〜っ
ぎょ魚紳さ——ん


ウッ
ポケッ
三平くん
はやく
ロッドを
つかめっ!!
なにか
かかってる
みたいだ
ぞっ!!
ええっ
そ そんな
バカな!?
ウッ!!


ウヒョ――ッ
とととと――っ
あわっ
クッ


三平くん!!
だ だいじょうぶかっ!!
あわわ〜〜〜っ
ウヒャ〜〜〜ッ
三平くん!!
ヒョッ!!


カ――ッ
魚紳さ――ん
いいってえ
なにが
かかってんだ
よオ――ッ


魚紳いってえなにがおきたズラ
おおおやっさんか
ごらんのとおりさ……
ハリャッ!!
フフフどうやらパーマをなおしているうちに
足もとにおとしたエサになにかが食らいついたらしい……
カ――ッ




ウヒョ〜〜〜!!
クエ――ッ
魚紳さ――ん
な なんちゅう
すげえヒキ
なんでえ――っ
やっぱし
海の魚は
て 手ごたえが
ちがうなや
〜〜〜っ
まーったく
運のいい
やっちゃ
なあ
はじめての海で
投げそこなった
竿に 魚が
かかるなんて
：
フフフ
三平くんって
そういう子
なんだよ


それにしても
バカにヒキが
つよすぎる
ズラ

あのヒキは
イシダイか
な……？
さて
……


ぎょ
魚紳さ――ん
のんきに
タバコなんか
くわえて
ねえで
どうすれば
いいか
おしえて
くれよ～～～っ


クーッ
ああっ
あ
あぶねえ
ひ
ひきこま
れるっ!!


ワワワ
うわ～～～っ
ガラガラ

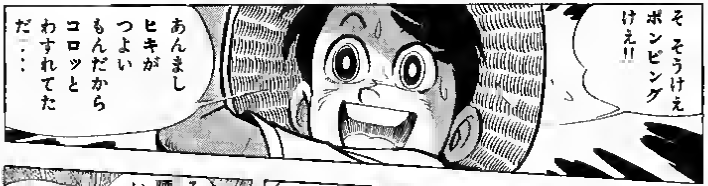

ウヒョ～～～ッ
グ
グ
グ
ズササ!!!
さ 竿(さお)を
たててるのが
ややっと
だ～～～っ
ど どうすりゃ
いいだ～～～っ!!


負紳!!
こりゃあ
どうやら
ちょっくら
手をかして
やらねば
なるめえ
このままだと
三平くんは
魚に海さ
ひきずり
こまれて
しまうズラ
!!
フフフ・・・
おやっさん
その心配は
あるまい
ロッド(竿)は
ちゃんと
ビトンにむすび
つけてるからな
し
しかし
・・・・
クッ
クソオ
カ――ッ
み見ちゃあ
おれん


ええっ

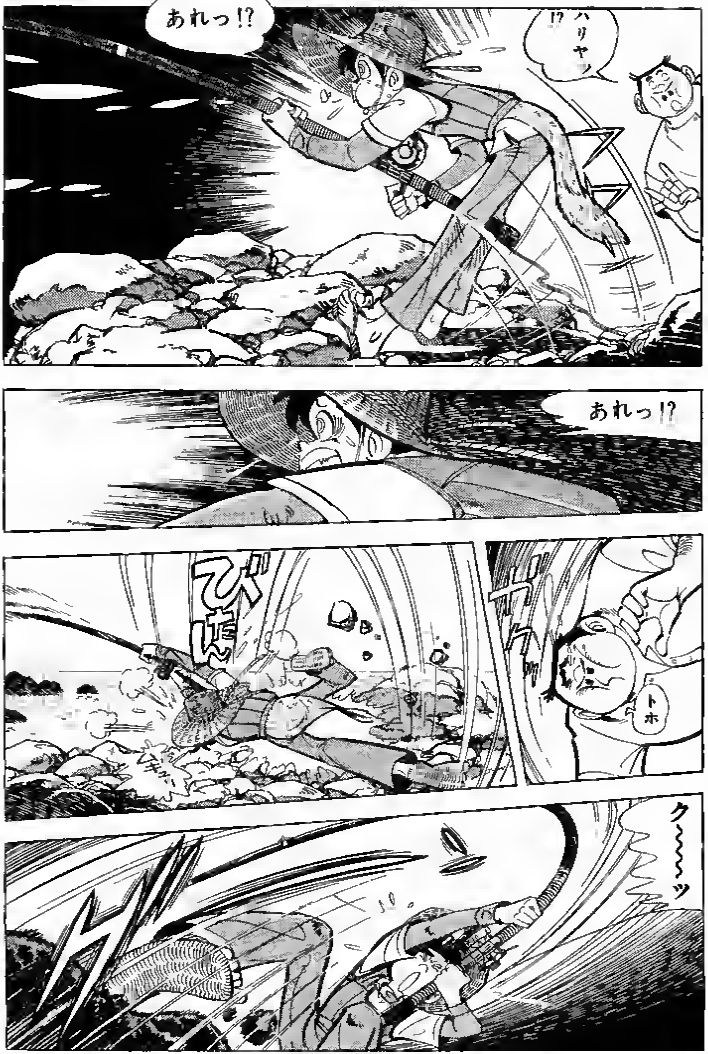

三平くん
ポンピングだっ!!
ポンピングを
わすれたの
かっ!!
そんなこと
いつまで
やってたって
魚は あがって
こないぜ!!

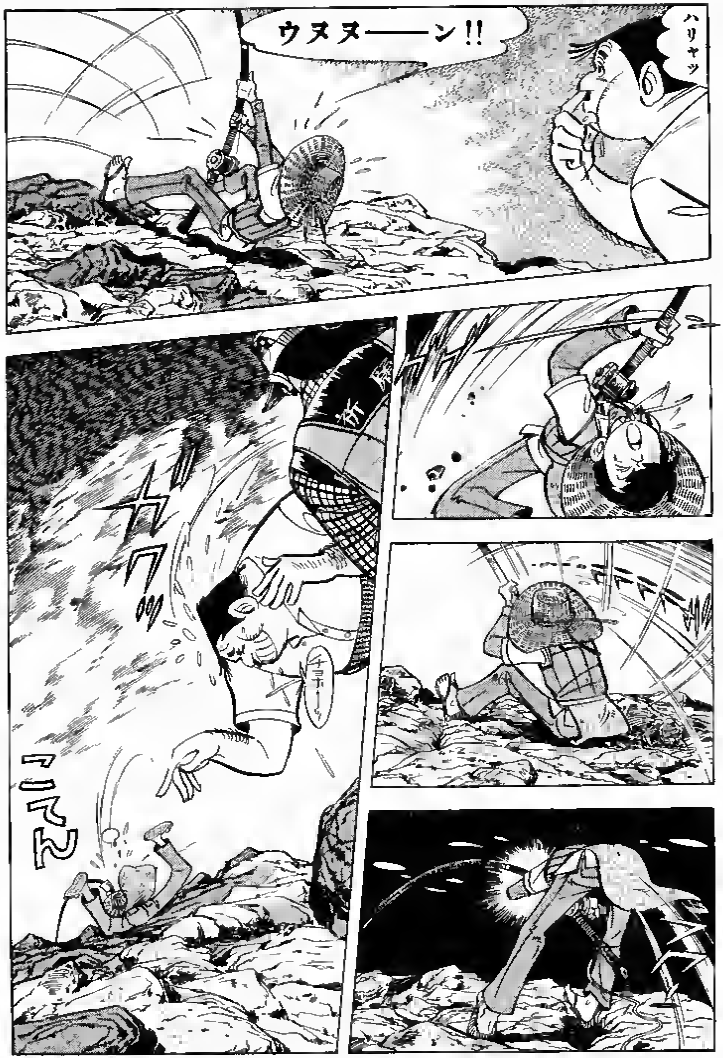

そ そうズラ
ポンピングで
根にもぐろうと
する魚を
はやいとこ
上層さ
ひきあげる
こったあ


そ そうけえ
ポンピング
けえ!!
あんまし
ヒキが
つよい
もんだから
コロッと
わすれてた
だ…

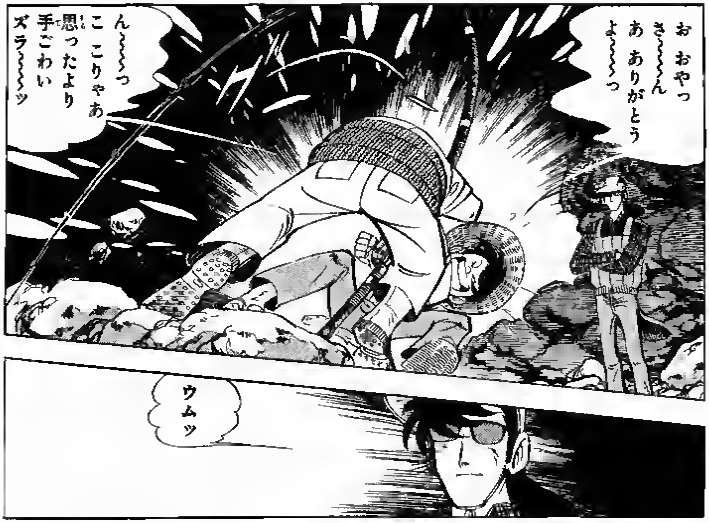

ようし
!!
そうだっ
腰をおろすのが
いちばんだっ!!
そうやって
うーんと
ふんばって
みろっ!!


ン〜〜〜ッ!!
よっしゃあ
そこだ——っ
うーんと
しぼれ——っ
ヴヴヴ
ギギギ〜〜〜
ハァハァ
ハァハァ


あれっ!?
!? ハリヤッ
あれっ!?
ビュ
トホ
ク～～～ッ


ウヌヌ――ン!!
ハリャッ
ヒョー
ドドド
ドドド
ドドド


三平くんは
あのとおり
まだ
子どもだから
体重が
かるくて
ひっぱられるだっ
魚紳
やっぱし
だめズラ
三平〜〜〜〜ん
ヌヌ——ン
わしゃあ
もう
これいじょう
三平くんの
危機を見て
られーん
おめえが
とめようが
なにしようが
わしゃあ
手だすけする
ズラ〜〜〜ッ
だ
だいじょうぶ
か——っ
ク〜〜〜ッ


おおやっさ～～～ん
あありがとうよ～～～っ
ん～～～っ
こりゃあ思ったより手ごわいズラ～～～ッ
ウムッ

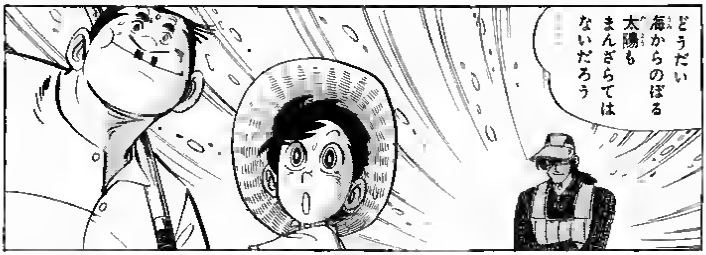

三平くん!!
ちょっと手をやすめて海のむこうを見てごらん!!

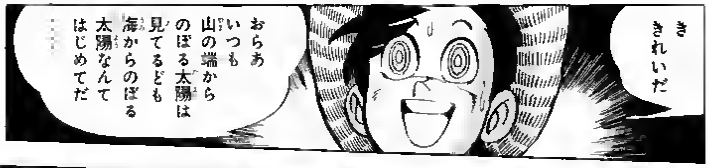

魚紳!!
この風雲急をつげるさなかに
なんちゅうのんきなことをいうズラ


ああ!!

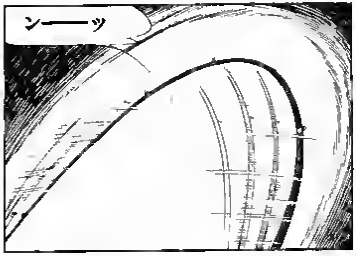

おおっ
日の出だっ!!


すげえ
水平線から
あんなに
でっけえ日が
のぼる・・・!!


どうだい
海からのぼる
太陽も
まんざらでは
ないだろう

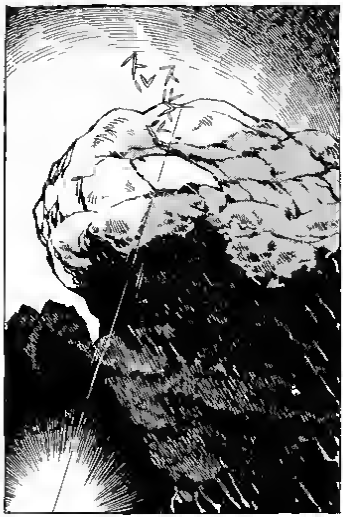

き
きれいだ
おらあ
いつも
山の端から
のぼる太陽は
見てるども
海からのぼる
太陽なんて
はじめてだ


す
すげえなあ
ターン
ターン
ターン
ター


ンーーッ


ハレッ


さあ!!
三平くん
とっくりと
日の出を
おがんだら
戦闘開始
ズラ!!
おうっ
!!
グゥーン



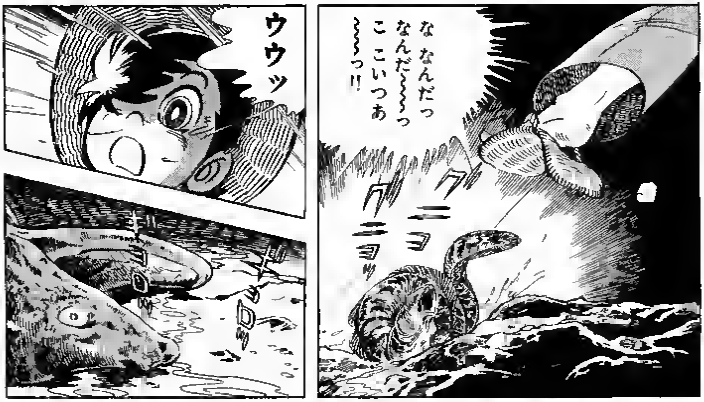

なんだ
こりゃあ
!?
急に
スルスルと
あがって
きやがった


なーんだ
そうだったの
けえ
フフフ
いまごろ
気づくなんて
おそすぎるぜ
おやっさん


三平くん
おめえ
どえらい魚を
釣りおったなあ!!
もう
おっつけ
あがってくるから
こうやって
ミチイトを
たぐってみろ
な
なにが
釣れてるんですか
ガハハハ
そいつあ
あげてのおたのしみじゃい
それひけ——っ
やれひけ——っ
もうちょいじゃ
それひけ——っ
フフフ
おやっさんのやつ
たのしんでやがるぜ


そりゃ――っ
もう一歩だ――っ
うわ～～っ!!
な
なんでえ
ここれ
は――っ


わ〜〜〜っ
あわっ
あわっ


な なんだっ
なんだ〜〜〜っ
こ こいつあ
〜〜〜っ!!
ウウッ

あわ


ギヒヒ


ブ〜〜〜ッ
ぎょ魚紳さ——ん
な なにが
おかしいん
だい〜〜〜っ
フフフ…
な なんだ
よオ…!!
あのニョロニョロ
したうすきみ
わりいやつは…!?

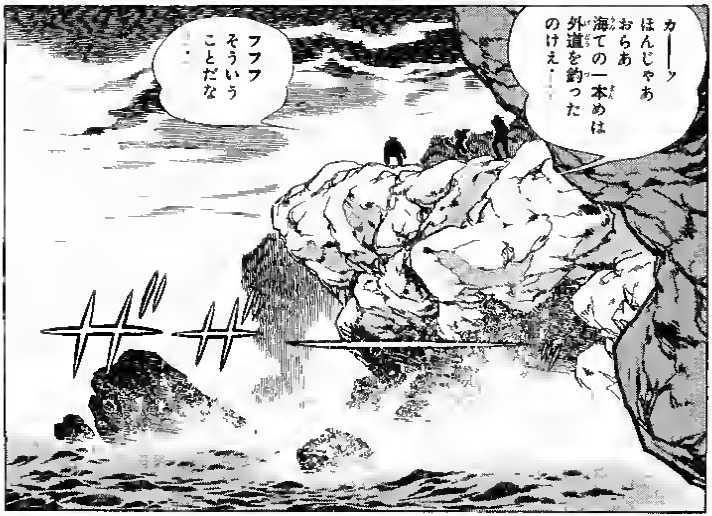

ガハハハハ
さすがの
三平くんも
こいつにゃあ
しりごみ
しおったか……
フェ――ッ
それにしても
でかいのう
ワイヤーに
ぎっしり
からみついて
とぐろを
まいて
やがる
とぐろ
!?
ぎょ
魚紳
さん!!
もしかして
ウミヘビと
ちがうけえ
ウミヘビとは
けっさくズラ
ナマダじゃよ
ナマダ……
ナマダ……!?





外道(釣り用語で対象魚以外の魚が釣れたときその魚を外道という)






見れ!!
この歯の
すげえこと
……


ホホウ
これは
でかいな
どう見たって
一・五
メートルは
ゆうにある
大ものズラ


ヒィ〜〜〜ッ
うすきみ
わりい
ツラ……
フフフ……


ぐねり強いから
ワイヤーが
すっかりキンク
(ねじれ)して
いる……
これじゃあ
ハリスは
もう
つかいものに
ならんな

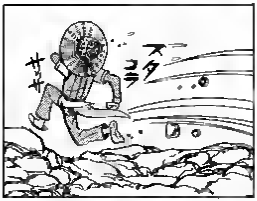

ほんじゃあ
このまま
ハリスをきって
外道塚おくり
ズラ

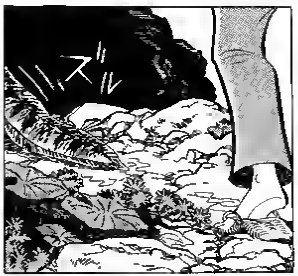

外道塚
!?
なんだ
そりゃあ
……?


フフフ
こういう外道を
釣りあげたとき
……
めったやたらとすてたりしないでひとつところにあつめて供養するところさ
まあいってみりゃあ外道の墓場ちゅうほうがいいズラ
外道の墓場……!?
どうでえ魚紳……
いちど三平くんを外道塚に案内せんといかんズラ
それもそうだな
今後たびたび外道を釣りあげてごやっかいになるところだしな
ガハハハハヒニクじゃあねえズラ
このナマダは三平くんの海釣り初挑戦の記念すべき外道しゃねえか
ていちょうに供養せねばならんズラ
ガハハハ……
ええっぎょ魚紳さん!!
そそれヒニク!?

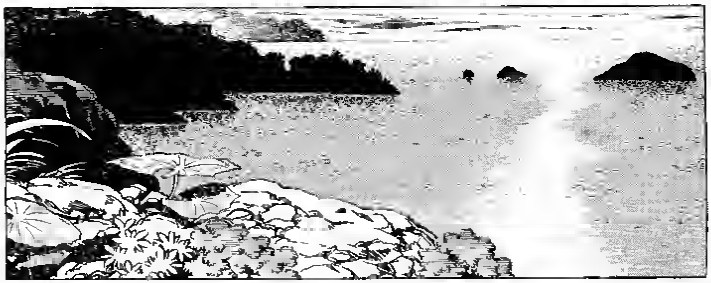

ほんじゃあ
魚紳さん


チョホ――ッ
さあ
いくぞっ
!!


ズクン
ヤヤ


ズル


釣るには
釣ったが
記念すべき
一発めが
大外道の
ナマダだ
なんて
……
ク～～～ッ
ズル
ズル




三平くん
あれが
外道塚ズラ




いつのころだれがはじめたもんかは知らねえが
外道を釣ったもんがこうやって岩をつみあげて供養してるんじゃ




ヘエ――ッ全国どこさいっても釣りをやる人には心のやさしい人がおおいんだなや
やっぱし


!?


うわ～～っ
ここが外道塚けえ……


おらあじいちゃんから……
釣りをする人はどんな魚でもまず 魚をたいせつにしろ……って
耳さ タコができるほどおしえられてきただが
知らねえ土地さきて おなじようなことをやってる人がいるってことを知って
うれしくなっちゃったあ
そうけえ
魚紳からきいたが
三平くんのおじいさんってのはそうとうの人物らしいな 魚紳なんかすっかり尊敬しとったズラ
えええっ!? 魚紳さんが
そうズラ
そうけえ……
じいちゃんはおらにとってもいいじいちゃんだ
どうしてるかなじいちゃんは……いまごろ……


そりゃ～～～っ
三平三平～くんの
海釣り初挑戦に
おける 外道の
第一弾ズラ～～～っ
うわ～～～っ
おやっさ――ん
ひやかさねえで
くれよ～～～っ


さあ三平くんたっぷりと供養をしてくれ
そこらから岩ツコロをひろってつみあげてナマダ様のごめいふくをいのるんじゃ


ハア


あーあだめズラ
そーんなちっこい岩じゃだめズラ


三平くんの釣った外道はごらんのとおりの大ナマダじゃから
岩ももっともっとでっかくなくては供養にゃならんズラガハハハハ…


イ～～～ッ


ガクッ


おなじ外道でも
これほどの
大ものを釣る
なんて
さすが
釣りキチ三平
くんズラ
しかし……
それにしても
でっけえ
ナマダだ
なあ……


おやっさ——ん
ま——た
ひやかすっ
!!
ヒュ
あ
!?


!?


ウヌヌ〜〜ッ
ま ま〜た
あらわれ
おったかア
!!
おやっさん
ど どうしただ
……


クソッタレ
ガキの
貝とろぼう
めっ!!
きょうという
きょうは
ただじゃあ
すまさねえぞっ
クソオ!!


おやっさ〜〜ん
ど
どこさ
いくだ〜〜っ
どうしたも
こうしたも
ねえっ!!
貝どろぼう
退治
じゃあっ!!


貝どろぼうだとオ!!
なんだとオ!!
そ そうズラ ここの海岸一帯のサザエアワビは
漁業法にもとずいてわしらの漁業組合が養殖しとるんじゃあ!!
漁業法だってよオ おもしれえこというじじいだぜ ヒヒヒヒ…


じ
じじいだとオ
な なんちゅう
ことをいう
ガキども
ズラ
いい
わけえもんが
養殖の貝を
密漁しおって
!!
こ こいつが
目に
はいらねえ
のけえっ
!!


いいけえ
てめえらはな
出るところへ
出りゃあ
法律によって
罰せられるん
じゃぞ
はやい
とこ
とった貝を
全部 海さ
けえしな


オウ!!
だまって
きいてりゃあ
ずいぶんと
元気のいい
じじいだぜ
どろぼうだから
法律で
罰せられる
だってえ!!


そんなこと
だれが きめたん
でえ…
海は みんなの
もんじゃねえか
ぎゃあぎゃあ
わめくんじゃ
ねえぜ
おれたちゃあ
ただ 新鮮なる
貝のきしみが
食いてえだけ
なんだ


よせ
バカなことを
するもんじゃ
ねえズラ
おめえ
たちは
法律を
おかして
いるんだ
ぞっ!!
フン
バカの
ひとつおぼえ
みてえに
法律 法律って
わめくんじゃ
ねえぜっ
おれたちにゃあ
法律なんて
通用しねえ
んだっ!!
ウウッ
おにいちゃんたち
乱暴は
よせっ!!
だ
だれだっ
!!
フフフ
それいじょう
乱暴を
はたらいたら
ただじゃあ
すまねえぜ



■不合理のおもしろさ

ある磯釣りマニアからきいた話だが、アメリカの釣り師に日本の磯釣りの話をしたところ、「なんてそんな不合理で、非能率な釣りをするんだ」といわれたという。いわれてみると、たしかに磯釣りは不合理、非能率なところがある。わざわざ危険な釣りにくい磯にあがり、高価なコマセを惜し気もなくまき、長い竿をふる。仕掛けをななめにうちこむわけだから、根がかりも多く、したがって多くの仕掛けを失うことにもなる。いや、たとえば捨てオモリなどといって、はじめから失うことを目的とした仕掛けさえある。

こんな釣りは、とくに合理的なアメリカ人には、ほとんど理解しがたいだろう。「船をうかべ、ま下に仕掛けをおろせば」ときっとそういうにちがいない。

だが、ボクは思う。釣りには合理性だけではわりきれない〝何か〟があるからおもしろいのである。計算とおりにいかないからこそ、たのしさも、奥ゆきもあって、とりつかれてしまうのだと思う。


な
なんだとオ
もういちど
いってみろっ
!!


ち 乱暴はやめてけれといってるだ～～～っ!!
おにいちゃんたち 三人がよってたかってひとりの人間をいじめるなんて男らしくねえぞ～～～っ!!


男らしくねえだとオ…!?
な なんでえあいつら…


きょ 魚紳――ん!! 三平く――ん!!


ウッ


おめえたちいいところきてくれた――っ
はやいとこおりてきてこのワルガキともをなんとかしてくれ～～～っ

おう!!
いまいく
ぞっ!!

オッ!!

ああ…
ムムチャな
あんな
たかい
ガケから
とびおりる
なんて

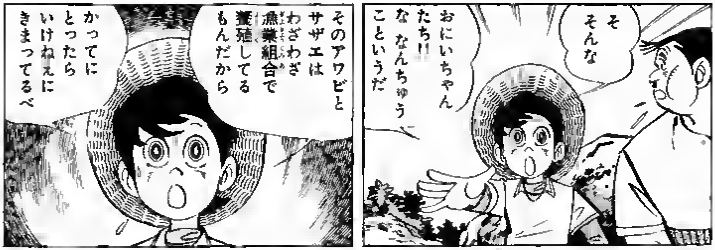
ホイッ!!

アハ


おやっさーーん
だいじょうぶけえーーっ
さ三平くーーん!!
なんだかやけに家族的になってきたぜ
それにしても身のかるいガキだな……
貝どろぼうってのはそいつらかおやっさん!!
ぎょ魚紳!!
ほ ほんとにいいとこさきてくれたズラ


なんだい
体こそ でかいが
よく 見りゃあ
高校生か
大学生ぐらいの
若ものじゃ
ないか
そ
そうズラ
どっか
いい家庭の
息子たち
らしいけんど
このあたりで
貝類をとる
ことは 法律に
よって 禁止
されてるから
ちゅうて
なーんぼ
注意しても
きかんズラ
それどころか
ぎゃくに
暴力を
ふるうしまつ
ウム …
フフフ
かってなことを
ぬかすんじゃ
ねえぜ
ジジイ!!
口を
ひらきゃあ
法律 法律って
バカのひとつおぼえ
みてえに
さえずりやがって
よオ…


そんな
おとなの社会の
法律だの規則
だのってやつあ
オレたちヤングの
知った
こっちゃあ
ねえさ
いってえ
どこと
どいつが
きめたんだい
そんな
法律を


そ
そんな
おにいちゃん
たち!!
な なんちゅう
ことをいうだ
そのアワビと
サザエは
わざわざ
漁業組合で
養殖してる
もんだから
かってに
とったら
いけねえに
きまってるべ


こぞう
しゃらくせえ
こと
ほざくんじゃ
ねえぜ
そんなこと
オレたちにゃ
関係ねえさ


オレたちは
ねむたけ
りゃあ
ねむるし
あつけりゃあ
およぐ…
腹が
へりゃあ
食う…
したがって
……


そこに
サザエや
アワビが
あって
そいつを
食いてえときは
とって食うし
食いたく
ねえときは
べつに どうって
こともしねえ


これが
オレたちの
法律さ
もんく
あっか!?


そ
そんな
バカな
それじゃあ
自分たちの
やってることが
わるいことだと
思ってねえで
ねえか!!


ギヒヒヒヒ
わかったか
空は
青いし
海も
青い
ごらんの
とおりの
健康だし
とうぜん
腹も
へるってことよ


クソオ
おらあ もう
あったまき
きたぜ!!
こんただ わけの
わからねえ
話って
あるけえ!!
さ
三平くん
よせ
こいつらには
まともなことは
通用せん


おおやっさ――ん
じゃましねえで
くれ～～～っ
おらあ
こんだ
自分かってな
やつらを見ると
ムナクソわるくなって
どうしようも
なくなるんだ～～～っ
やい
おにいちゃん!!
おにいちゃんは
ほんとうに
そう 思って
いるのけえ!!
自分さえ
よけりゃあ
ほかの人に
どんただ
めいわくを
かけてもいいと
思ってるの
けえっ!!
めいわく
…?
そうだっ
!!
おい・めい・わく
だってよオ
そんなことば
きいたこと
ある?
さあ
知らねえなあ
どこの国の
ことばだい


おにいちゃんたち
おらを
子どもだと
思って
バカにするで
ねえっ!!
いま
おにいちゃん
たちのやって
いることは
なっ!!
お百姓さんが
自分の畑で
丹精こめて
つくったスイカを
ぬすんで食べ
ようとしている
スイカ
どろぼうと
おんなじこと
なんだ
ぞ〜〜〜っ
フフフフ
とうとう
オレたちを
スイカどろぼうに
してしまったか
おんもしれえ
ガキだぜ
!?
だがな……
ガキに
説教される
ほど
おちぶれちゃあ
いねえぜっ!!


フフフ
三平くん
もうよせよ
どうやらまともなことの通用する相手じゃないらしいな
オッいよいよおいでなすったね


んんだども
魚紳さん
くやしいでねえか
世のなかにこんただ自分かってなことをいうやつらがいるなんて…


いやあこのてのれんじゅうってあんがいとおおいもんさ
日本一周釣行






たいそうえらそうな大口をたたくわりには自分ひとりではなにひとつできない……
なりばかりでかくなってもあいかわらずママのオンパイからはなれられずケツの青味もとれずに親のスネをかじってるアマチャンのタイアにね……
日本一周釣行

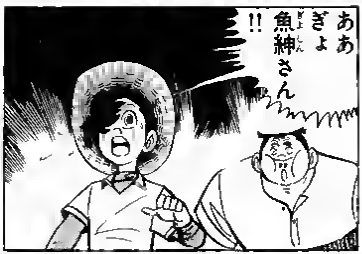

ようようようっ!!
だまってきいてりゃあずいぶんとつっぱったもののいいかたをするじゃんかよう!!
おおやっさん
ガハハ魚紳ならめったなことねえズラ
べつにつっぱってるわけじゃあないがきこえたのか…?
いまのおれのひとりごとが…
ひとりごとだとオ
このやろうなめやがって
オット そいつあよしたほうがいいおれは暴力はだいっきらいでな…
フェ~~~ッよくこれだけあつめたもんだな…


!?
なにしやがるんだ
見りゃあわかるだろっ貝を放流してるのさ
きみたちは食いたいから貝をとったという
おれは水からあげられて死にそうになってる貝を気のどくに思ったから水にかえしてやったんだ


このやろうなめやがって!!
ヒュ
おわわわわ〜〜〜っ
ヘルプ
おーおこんなところにサザエが一個おちてる
ヒ〜〜〜ッ
ウヌヌクソオ
やめろてめえらにどうのこうのできる相手じゃねえ


ひさしぶりに
骨っぽい男と
あえて
おれは
うれしいぜ
ちょうど
エネルギーが
たまりすぎて
爆発寸前
だったんだ
ひとおどり
するか
バカなまねは
よしたほうが
いいぜ
もう
これいじょう
きみたちの
おもりなんか
してるヒマは
ねえ
にげる気
かっ!!
なさけねえ
やつらだ
いつまでも
ケツの青味が
とれねえ
なんて…
ああっ!!
いうなっ
!!




ああ
ぎょ
魚紳さん
!!


さすが
あにきの
パンチは
プロボクサー
なみだな
一発で
ふっとび
やがったぜ


フフフ‥‥


!?
フフフ
やっぱり
こういうことに
なっちまう
のか…
こういうことに
ならねえと
おさまりが
つかねえの
かい…
フフフ
わかったぜ
ン!?
あ!?
ああっ!!
ぎょ
魚神さんって
サ サングラスを
とると…
み
右目が
…


どうやら
その青味のとれねえ
ケツをひっぱたいて
やらねえと
目がさめねえって
ことがな……




祈願
日本一周釣行


たまげたなや……
ぎょ神さんの素潜りが片目たったとは……


ウウッ
すげえ
ツラして
やがる
……
あにき
こりゃあ
相手が
わりいぜ
は
はやいとこ
ズズラかった
ほうが
よくは ねえか
……


オタオタ
するんじゃ
ねえやいっ
!!


オレは相手が
つよければ
つよいほど
もえてくるんだ


てめぇらの
ような
腰ぬけは
ひっこんで
とっくりと
見学でも
してろい!!
ケンカの
しかたを
おしえて
やるぜ!!

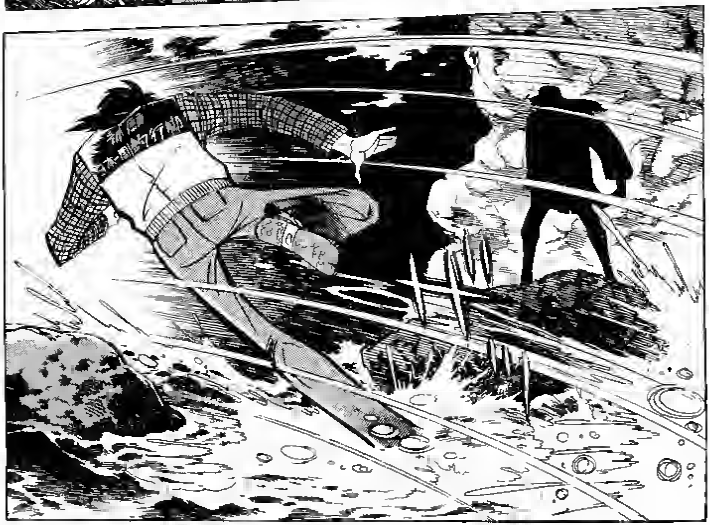

フフフ
はやくも
尻ごみかい
きみたち
アマチャンの
いきがり
なんて
しょせんは
虚勢にすぎない
ってことだな


フフフ
口をひらきゃあ
アマチャン
アマチャンと
よく あきもせず
さえずり
やがるぜ
アマチャンの
虚勢かどうか
もうすぐ
結論が出る
だろうよ
どっから
でも
きやが
れっ!!
そう
いきりたち
なさんなよ
・・・
きみたちの
まっ青なケツは
じっくり
時間をかけて
ひっぱたかれ
ねえと赤くならん
だろうからな・・・
ゴタゴタ
ぬかさ
ねえで
きやがれっ
!!

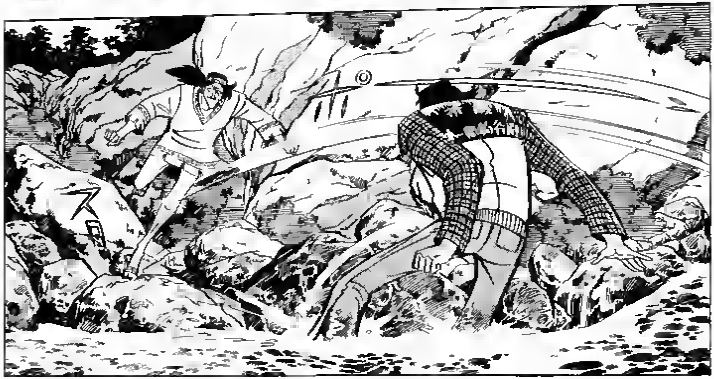

しんぺえ
ねえて
魚紳があんな
ガキどもに
負けるわけが
ねえズラ


おおお
おやっ
さ〜〜〜ん
いいよいよ
ケンカが
おっぱじまる
だ〜〜〜っ


まあ…
こちらも
じっくりと
腰をおちつけて
魚紳が
あいつらの
青いケツを
ひっぱたくところを
観戦するズラ
そ
そんなこと
いったって
…



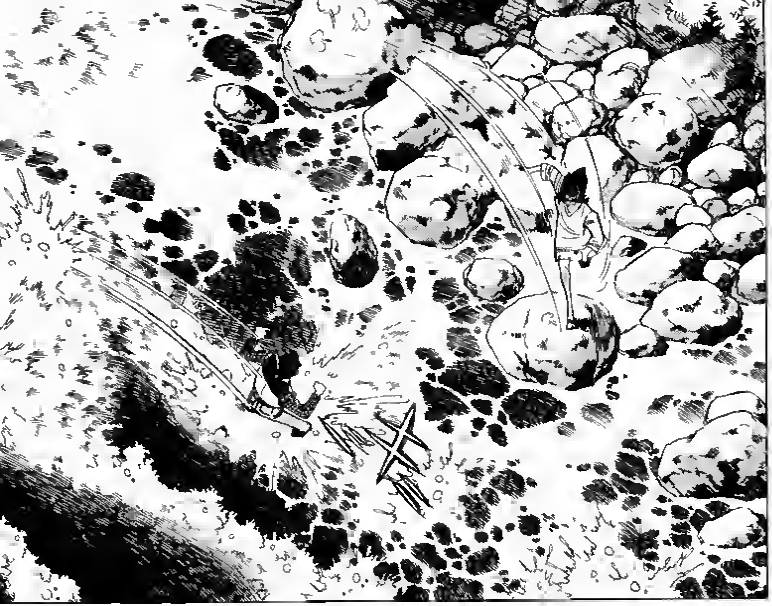


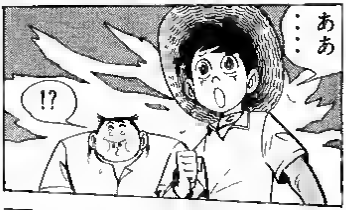



フフフフ
どうでえ
あがって
これまい


!?


フフフフ……



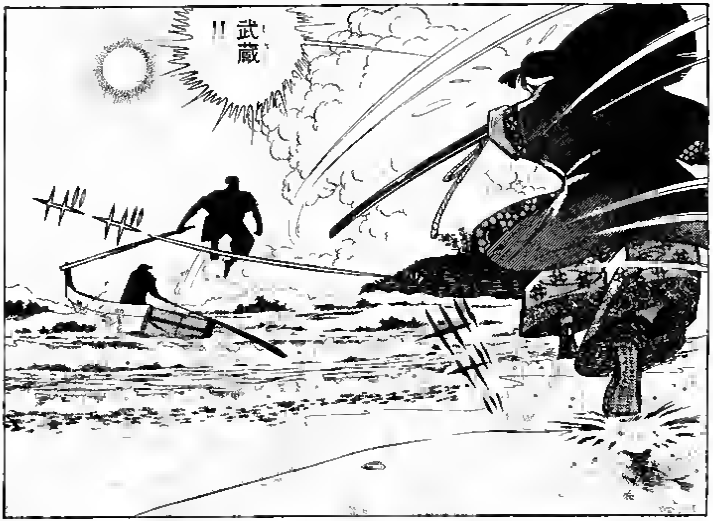

ああ……
!?

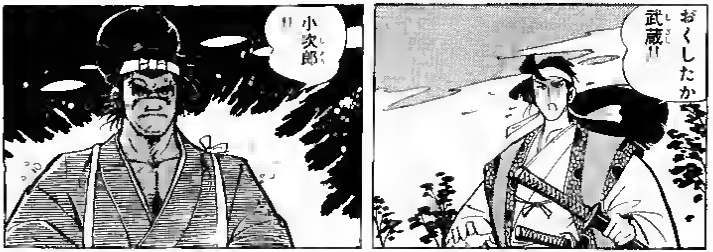

ああにきな なんてそんなイタチゴソコみたいなことやってるんだ
はやいとこKOしてズラかろうぜっ!!


ガタガタわめくんじゃねぇ
これがおれ流のケンカのしかたっていうやつよオ


ケンカってもんはな
ただ ぶんなぐり
あうばかりが
能じゃねえ
ココを
つかう
んだ
ココを
ええっ
!?
!?
やつの
ズボンを
見ろっ!!
ヨレヨレだが
布地のあつい
Gパンだ
そのGパンが
どんどん海水を
すいこんで
いる……
……という
ことは
どういう
こと
かな……?

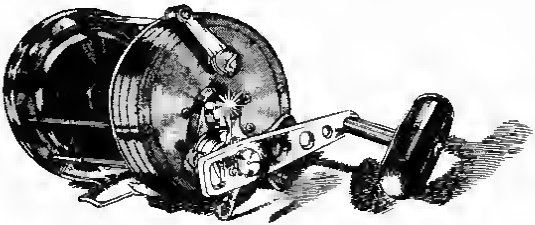

なるほどきすがあにきだ
あつい布地が水をすいこんだらますますゴチゴチにかたくなってうごきにくくなる…
フフフそうよ
てめえらも武蔵と小次郎の巌流島の決闘を知ってるだろう


武蔵!!


おくしたか武蔵!!
小次郎!!


小次郎は
海中にある武蔵を
浜に あげなかった
という
武蔵のハカマが
海水をすいこんで
おもくなり
動作が にぶくなる
ことを ねらって
じつに 頭脳的な
作戦と いわざるを
えまい!!
おれの
やってることは
まさに
それよオ
ウヌヌ
なんちゅう
ひきょうな
やつらだ
クソオ
三平くん


やいやい
やいっ
!!
そんだ
ひきょうな
ことって
あるけえ
ハジを知れ
ハジをっ!!




ひょいひょいと
あらわれて
こうるせえ
ガキだなっ
!!
おとなしく
ひっこんで
ろいっ!!
そうだよ
三平くん
ちょっとの
あいだだけ
はなれてて
くれ・・・
こいつらの
青いケツを
ひっぱたく
ほんのちょっとの
あいだだけで
いいから・・・
ムッ
どうせ この勝負
そっちが 小次郎で
こっちが 武蔵なら
どっちが
勝つかは
きまってる
からな!!


クソオ
そんなに
やすやすと
あげさせて
たまるかい
!!
ウッ
ヴ
あぁっ
!!

ああ……


ああ
ぎょ
魚紳さん
……!!
おおい
あ ありゃあ
ウ ウルトラCと
ちがうか!?
ポケーッ






おおい
こりゃあ
はやいとこ
ズラかった
ほうが
いいぜ
そ
そうしよう
……


三平くん
あれを
見ろ
……
あっ!!
フフフ
……
……
おい
どうした
……
なにを
ボンヤリと
つったって
いるんだ


フフフ
そうかい
ひっぱたかれやすいようにおしりをわざわざこっちにむけているのかい
それじゃあいくぜっ!!
それ～～～っ!!
魚紳さ――ん!!
おやっさん
おれはこれから町までサングラスをなおしにいってくるから
三平くんをよろしくたのむぞ



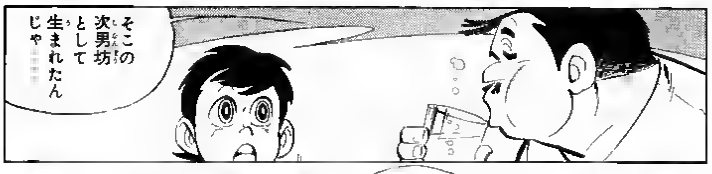

ええっ
な なんだってえ!?
ぎょ
魚紳さんが
片目になったのは…

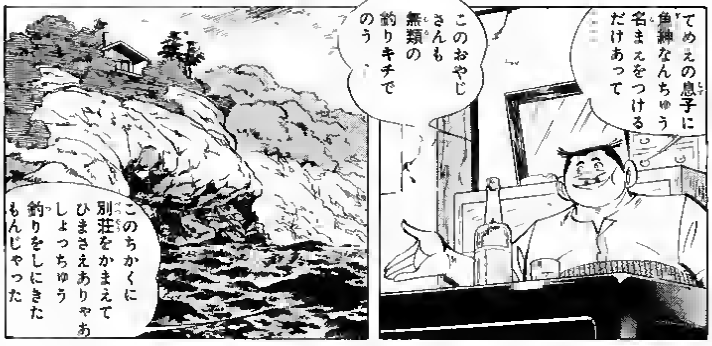

そ
そんなわけがあったのけえ!!


そうズラ
あれは
たしか…


クー
トクトク…
三平くん つめてえ サイダーでも のめや…
まあ…むかしから 人は見かけに よらぬもの…なんて いわれていて…
あの金持ちゅう 男の場合も あんな むさくるしい 風来坊に 見えるが…じつは
大金持ちの 御曹子ズラ
ええっ!!


魚紳のおやじってえのはひとりで四つも五つもの会社をもってる有名な鮎川財閥の頭主で
豪邸に住み車庫には いつも外車の三 四台はねむってるちゅうすんげえ大金持ち……


そこの次男坊として生まれたんじゃ……


てめえの息子に魚紳なんちゅう名まえをつけるだけあって……
このおやじさんも無類の釣りキチでのう……
このちかくに別荘をかまえてひまさえありゃあしょっちゅう釣りをしにきたもんじゃった

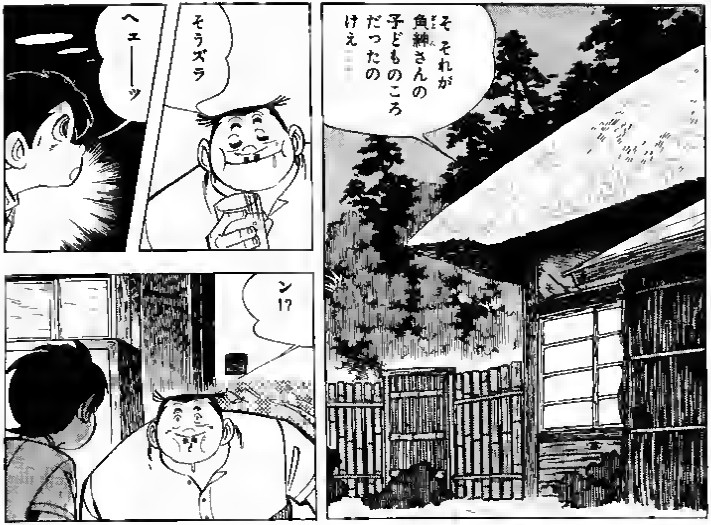

ところが
鮎川さんが
釣りにくるときに
きまって
チョコマカと
ついてくる子どもが
いたんだナア
ハハハハハ
パパ きょうは
パパになんか
ぜったいに
負けないぞ

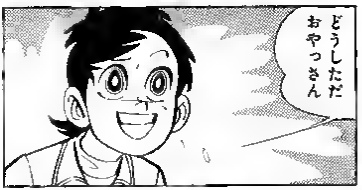

鮎川さん
ようこそ
おいで
くださいました
きょうは また
けっこうな
釣り日よりで
ケッヘヘ


ハハハハハ
また おせわに
なりますよ
おせわに
なりまーーす
おやっさーーん


こーんなちっこくってクリクリッとかわいくって
そりゃあもう元気だのなんのって…
たしか…六つか…七つぐれえだと思ったが…
この子がひとたび釣り竿をにぎるとおとなもまっ青!!
ハリヤフようまんなあの子…


船釣りでござれ
砂浜の投げ釣りでござれ
磯釣りでござれ……
ちっこいからだながらどうしてどうしてなみいるおとなのベテラン釣り師といえども……
この少年に勝つものはそうザラにはいなかったズラ……


そ それが
魚紳さんの
子どものころ
だったの
けえ
そうズラ
へェ――ッ
ン!?


どうしたん
おやっさん

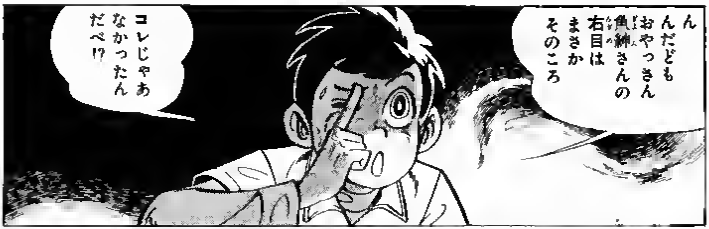


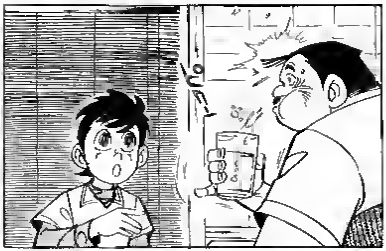

にてる
そっくり
!!

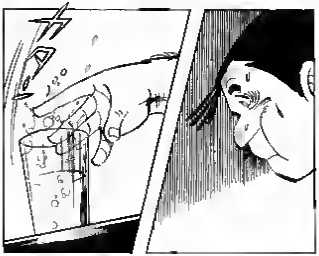

三平くんより
からだが
ひとまわりほど
ちいさかった
ことを
のぞけば
そのころの
魚紳は
むめえに
そっくりだっ
たんじゃよ!!
ええっ

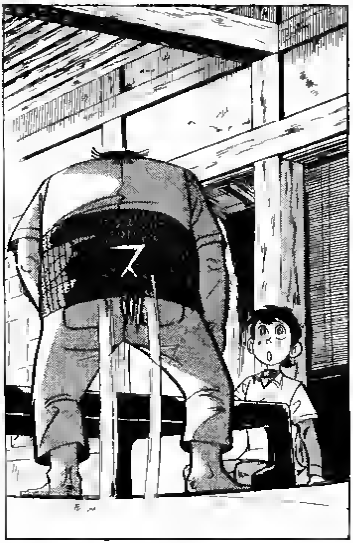

うわ〜〜っ
うそつけ
そっくりだ
なんて
ほんとけえ


うそじゃ
ねえズラ
ウリふたつとは
まさに
このことズラ
ヒヒヒ……
ヘェ〜〜〜ッ

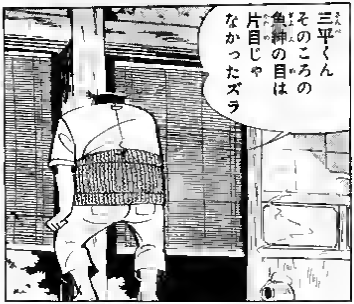

んだども
おやっさん
漁紳さんの
右目は
まさか
そのころ
コレじゃあ
なかったん
だべ!?



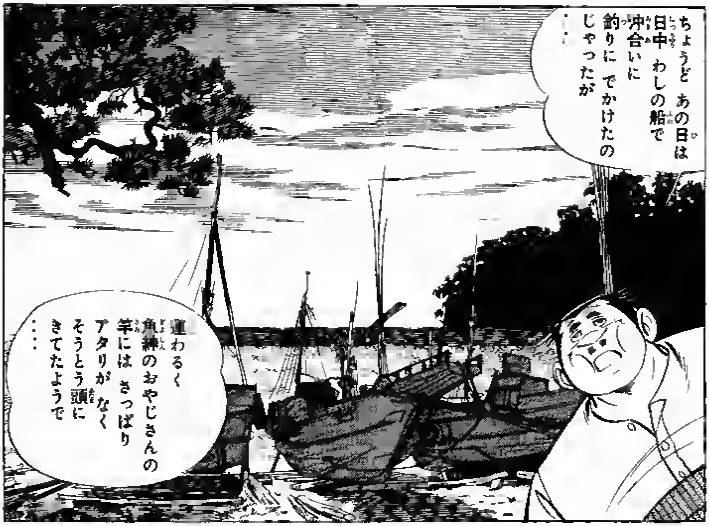





おやっさん
どうしただ


三平くん
そのころの
漁紳の目は
片目じゃ
なかったズラ

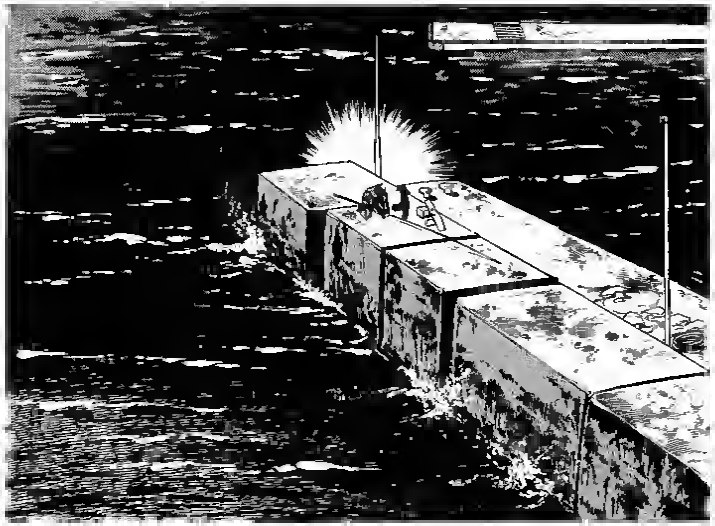

両方とも
パッチリとした
黒目がちの
てっけえ目を
いつも
かがやかせて
いたもんズラ
あの夜までは
な…
あの夜
!?
そうズラ
わすれようにも
わすれることが
できねえ夜
じゃった
……

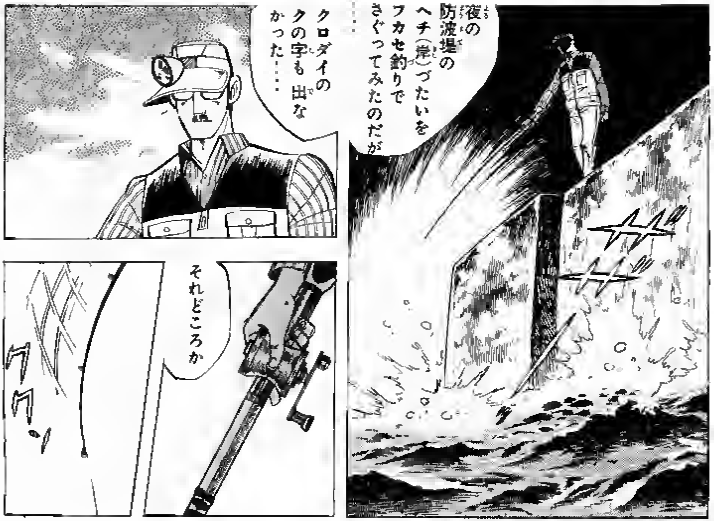

ちょうど あの日は
日中 わしの船で
沖合いに
釣りに でかけたの
じゃったが
・・・
連わるく
魚紳のおやじさんの
竿には さっぱり
アタリが なく
そうとう頭に
きてたようで
・・・

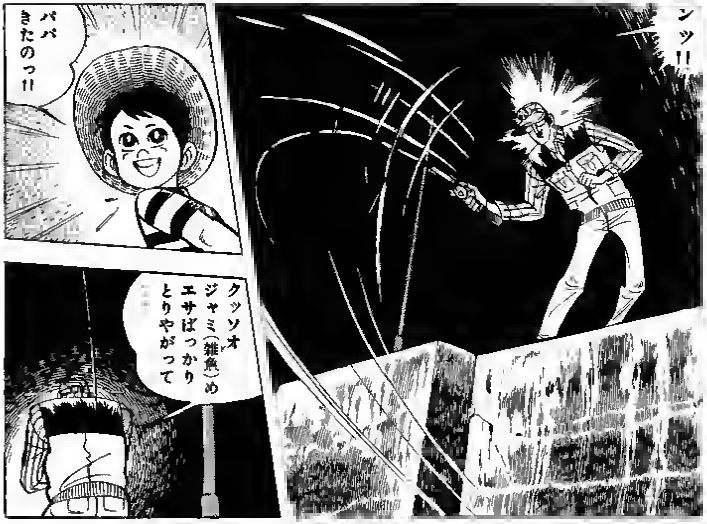

おやっさん
このままでは
気分が わるくて
かえれない
今夜は
ゲンなおしに
夜釣りで
クロダイを
ねらってみる


すみません
わしの案内が
わるくって
・・・
いや
いいんだよ
それよりも
エサの用意を
たのんだよ


その夜ちゅうのは
さむくもねえ
あつくもねえ
みょうに
モヤーッとした
夜だったズラ
・・・

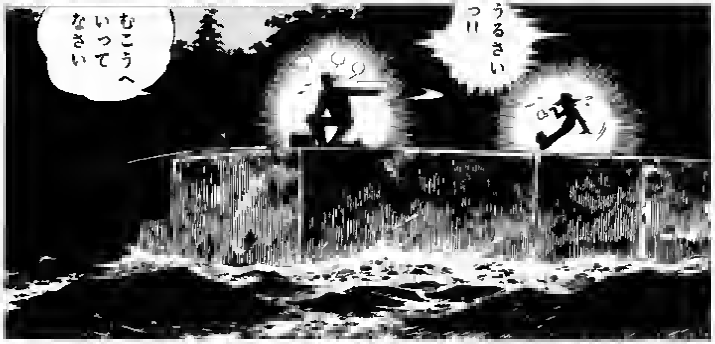



夜の防波堤のヘチ(岸)づたいをフカセ釣りでさぐってみたのだが……
クロダイのクの字も出なかった……
それどころか
ワン

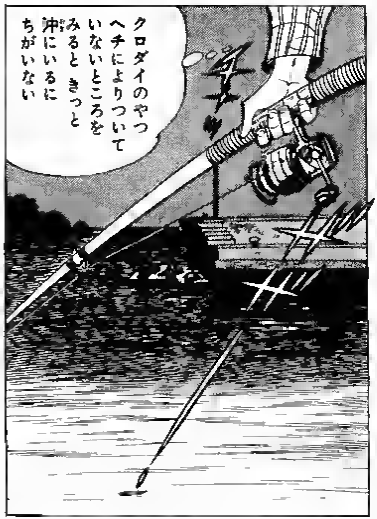

ンッ!!
パパ きたのっ!!
クッソオ ジャミ(雑魚)め エサばっかりとりやがって


パパ…… 今夜は もうかえろうよ
これだけねばっても一ぴきも釣れてこないんだもの 今夜は きっとクロダイのやつお留守じゃない…!?


うるさいなかえりたかったら自分ひとりでかえりなさい!!
パパはクロダイが釣れるまでは夜どおしだって釣るぞ!!
パパ


むこうへいってなさい
うるさいっ!!


パパ……


クロダイのやつヘチによりついていないところをみるときっと沖にいるにちがいない




ようしこうなったら投げ竿にこのデンキウキをつけて沖合いをせめてみるか


……
ンッ!!
クソッ!!



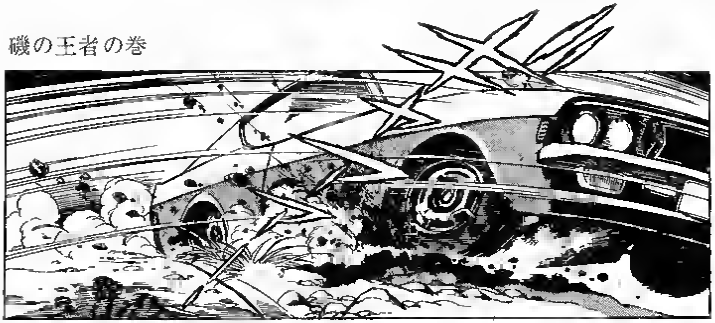

パパ〜〜ッ
パパ〜〜ッ!!
!?
ああ……
まっくらで
なんにも
見えない
よオ……
ぎょ
糸紳
ポロッ

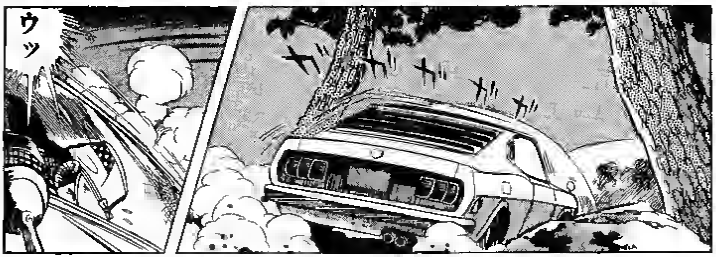

魚紳——ッ!!
ゆ ゆるしてっ
くれ〜〜〜っ
魚紳〜〜〜っ
!!
そ そんな……
魚紳のおやじは
それっきり
プツツリと
釣りから手を
ひいたが……
魚紳のほうは
ぎゃくに
ますます
釣りキチに
なって
いったんじゃ

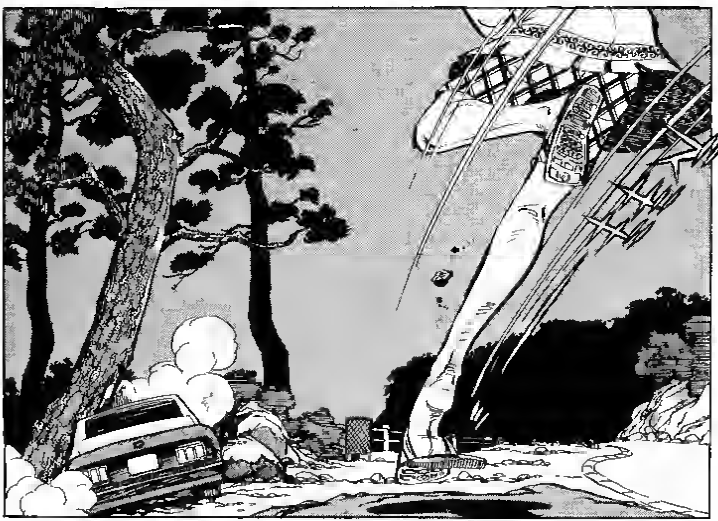

もう
すっかり
夜になっちまったか…
三平くんも
おやっさんも
まち
くたびれて
いるだろうなあ…


せっかくたのしい釣りをしてたのにとんでもねえれんじゅうがわりこみやがって…
気分がそがれちゃったぜ…
フ～～～ッ
だがお天気ぐあいも上々だし…
あしたもいい釣りができるだろう…


それにしても三平くんのやつ……
はじめて挑戦する海の釣りにだいぶまごつくだろうと思ったが
どうしてどうして……
外道ながら大ウツボを釣りあげるなんて……
やはり釣りは本質的に海も川もかわりはしないものだなあ……
ウッ




ウッ




フフフ
うめえこと
いったぜ
……


でもあにき
いまのショックでまさかくたばっちまったんじゃねえだろうな……


バカなあれほどの運動神経のもちぬしだめったなことでくたばりゃあしねえ
しかし
しかし……


フフ……
やっぱりきみたちだったのか……

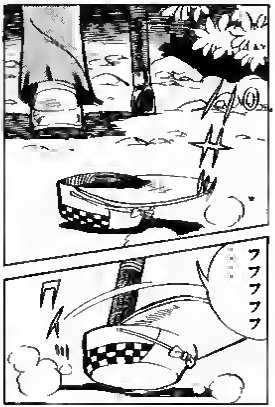

ウッ
ホラ出たっ!!
出たはねえだろうおばけじゃあるまいし…
それにしてもひでえことをするれんじゅうだぜ
どうしてくれるんだい…
もうとっくに家にかえってママのオッパイでもしゃぶってることだと思ってたが
まちぶせしてるところをみると…どうやらケツのたたきかたがたりなかったらしいな…


ふざけんじゃねえっ!!
ひるまはよくもハジをかかしてくれたな
たっぷりお礼をさしてもらうぜ
ホホウ木刀か…
そんなぶっそうなもんでおれをたたきのめそうってのかい…
そうさ気のどくだが骨の二三本はおれることをかくごしてもらおうか
それがおれたちにタテついたおとしまえだと思えばやすいもんだぜ
フフフまだわかっちゃいねえようだな…
かわいそうなアマチャンたちよ…

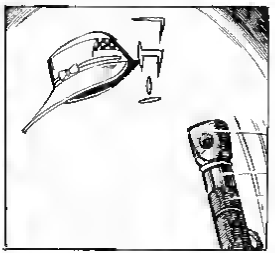

なめるんじゃねえっ!!
フフフ……


リャオーッ
トウッ
フフフ
ムダなことは
よせっ!!
あぁっ
!!
あ
あにきっ
!!




どうやら
多少は
木刀の
つかいかたを
心得ている
ようだな
……
フフフフ
……


それだったら
おれも
ひさしぶりに
ゲームを
たのしんで
みるか……



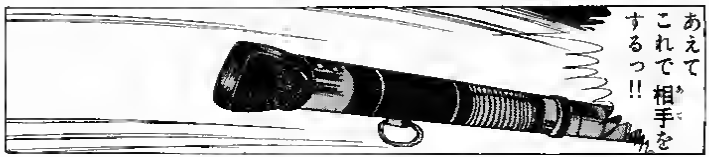

あ
あにき!!
いいよいよ
本気で
やってくる
らしいぜっ
ガタガタ
うろたえ
るんじゃねえ
たんなる
コケおどし
だ…!


フフフ
たんなる
コケおどし
かな…?


こいつは きょう
町の釣り具店に
たちよったとき
買ってきた
磯竿だ
仕舞寸法が
(たたんだときの長さ)
手ごろなので
しっくりなじんで
なかなか いい竿だ


だが これは
あくまでも
魚を釣る目的の
もので…
けっして 人を
たたくもんじゃ
ねえ
しかし
おれは
…


ウウッ


あえて
これで 相手を
するっ!!


いくぜっ!!
なんだこのかまえはっ
ウウッ!!


フェンシング……!?


おおおおそれそれ
そのフェンシングとかぬかす西洋の剣道にかけちゃあオリンピック選手クラスズラ……


ええっホホントけえ……
体操のウルトラCばっかしじゃなくフェンシングまでも……


そうズラ
紳ちゅう男は片目じゃがスポーツにかけちゃあ万能選手ズラ
それに


うわ～～っ紳さんってすんごいなや……
おらあますます尊敬しちゃうなや……


大学で法律を勉強してりっぱな弁護士の資格をもっているんじゃぞ


べ弁護士……


んだども
そんただ
りっぱな家が
あり
ちゃーんと
おとうさんや
おかあさんが
いるちゅうのに
なんで
魚紳さんは
家にかえり
たがらねえべ
もしかして
片目に
されたことて
おとうさんの
こと
うらんでるんじゃ
ねえべか…？
フフフ
三平くん
魚紳の場合
まったく
そのぎゃくズラ
ちっとも
うらんで
なんかいねえさ


いつも
そばにいれば
おとうさんは
魚紳の目を
見るたびに
かえって責任を
かんじて
くるしむ
だろうし
おかあさんとて
おなじように
なげきかなしむ
だろう…
そう思って
魚紳は
はやくから
両親のもとを
はなれたんじゃ
そ
そんな
おとうさんや
おかあさんに
あいたくは
ねえだろうか
…？
魚紳という
やつは そういう
人にたいする
やさしい心づかいを
するやつズラ
もう
家をはなれて
六 七年は
かえってねえ
ようだ…

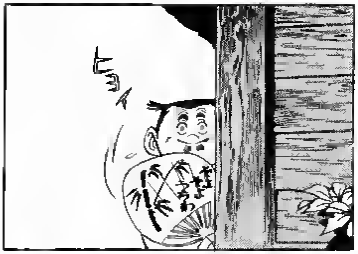

そりゃあ
あいたいに
きまってる
さ……
口にこそ
出して
いうことは
ねえが……
みょうに
しずかに
なったかと
思うと
……
ボンヤリと
海を見つめて
いることが
なんとも
あったズラ
ああいう
ときにゃあ
きっと
両親のことを
思いだしてたに
ちげえねえ
ぐすっ
魚紳ちゅう
男は
そういう
男ズラ
わしにゃ
よく
わかる
あいつの
気持ちが
……
つまらねえ
意地を
はりおって
……
……
……
魚紳さん
……
それにしても
おそいな
あいつ……

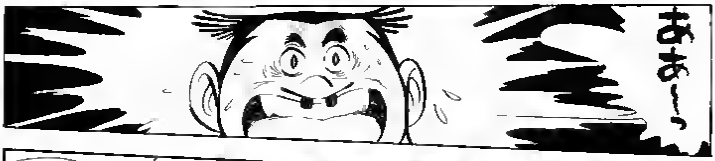

てや〜〜〜っ?
44
ンッ!!
さあこいっ!!


魚紳さんだっ!!
魚紳さんがかえってきただっ!!
かえってきたかおそかったなあ…
魚紳さーんおかえんなさーい
ぼうや息子は……
息子の魚紳はどこにいるのです
ごめんなさい
人ちがいでした…


む 息子の ぎょ 魚紳……!?
そ そうよ ぼうや……
ぼうやは いま たしか 魚紳と いいましたね……
その 魚紳というのは わたしたちの 息子なの
ええっ!?
ちゅ ちゅうことは お おめえ たちは……
そう… そうなのよ ぼうや
あわわ…… こ… こりゃあ てえへん だ〜〜〜あ


てえへんだ
てえへんだ〜〜っ
おやっさ〜〜〜ん
ああっ
ぼ ぼうや
!!
息子の魚紳は
どこにいるん
ですか!?
魚紳は……
おやっさ〜〜ん!!
とうしたズラ
三平くん
そんなに
あわくって


なんだとオ……
まさかあ!?
そんなバカな
ヒョイ

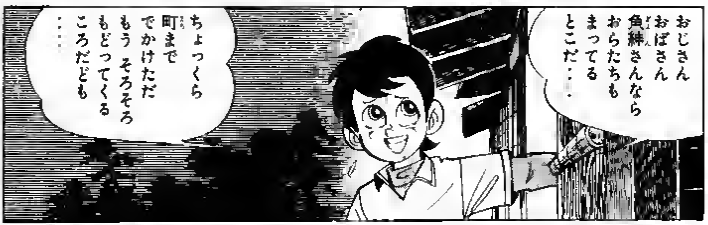

あぁ~っ

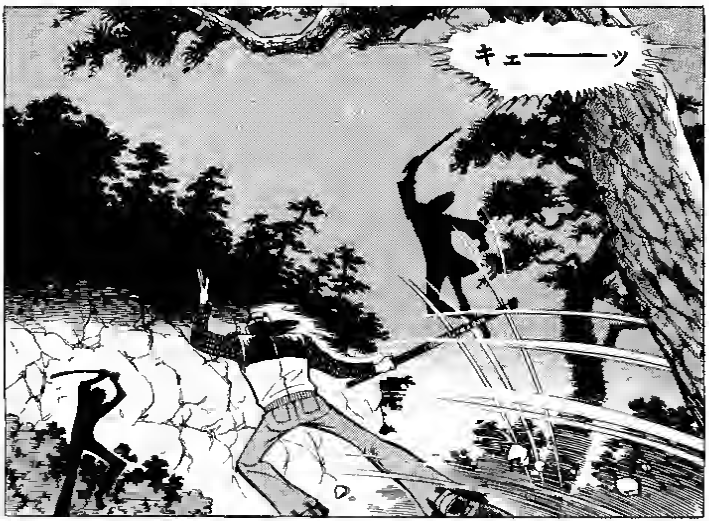

おやっさん
ずいぶん
ひさしぶり
だね
息子がまた
ごやっかいに
なってると
きいたもので

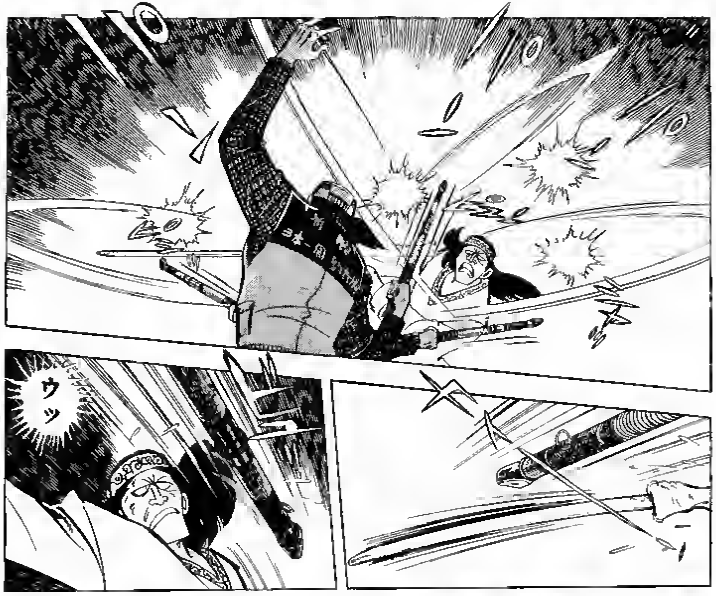

あぁぁ
鮎川さん
……
……


どうして
それが
わかった
ズラ……

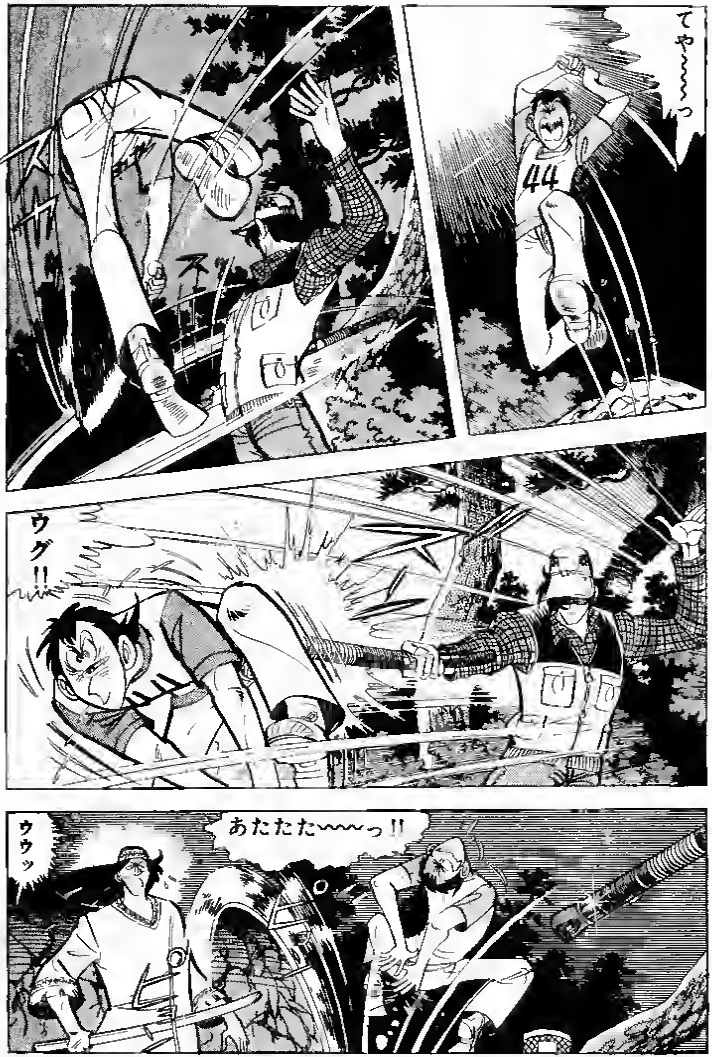

わけは あとで
お話します
それよりも
息子に
あわせて
ください
魚紳は どこに
いるのです

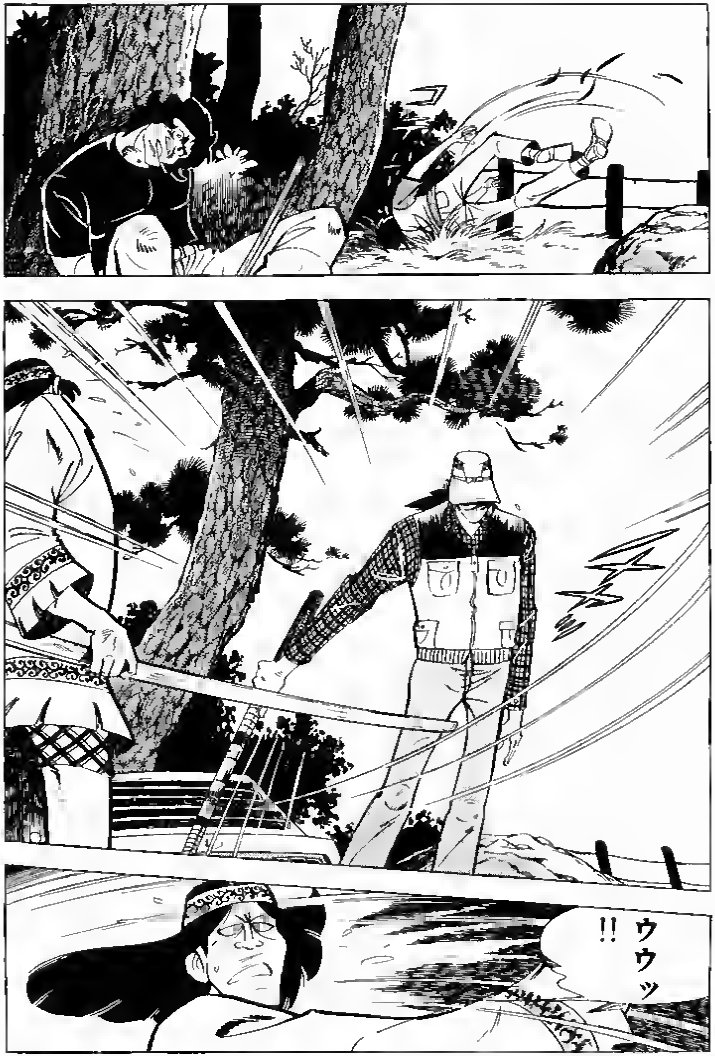

おじさん
おばさん
魚紳さんなら
おらたちも
まってる
とこだ…
ちょっくら
町まで
でかけただ
もう そろそろ
もどってくる
ころだども
…


キュ――ッ


ウッ


フフフ……
ウウッ


てやぁぁぁっ
44
ウグ!!
あたたたぁぁっ!!
ウウッ


ウウッ!!

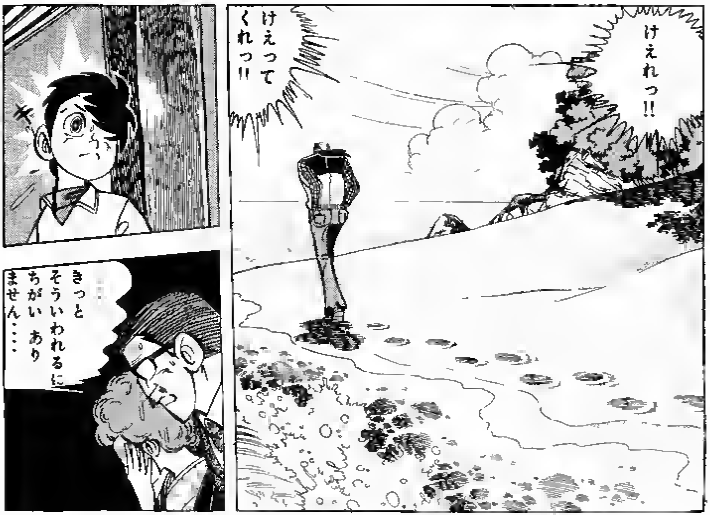

わたしにとっても
紳士にとっても
この浜辺は
いろんな意味で
思い出の浜辺
です……


ですから
紳士は
いつか
かならず
この浜に
たちよる
だろうと思って
なん人かの
釣り人に
たのんで
おいたのです
紳士らしい
男を見かけたら
すぐに
連絡する
ように……と
ヘイ
ごもっともで


それが……
きょうの夕方
網元の家に
どうも
それらしい男が
とまって
いるとの
知らせが
ありまして


夜分まことに失礼とはぞんじましたが
ながいあいだ親子がわかれわかれにくらしていますともう一分でもはやく顔が見たくて…
フフフ親バカとでもうしましょうかねえ…
いまさらどの面さげても顔むけなどできない大罪をおかしてしまった親のはずなんですが…
いまあったらきっと息子は
金紳!!すまなかったこのとおりだ…
おまえのためならばなんでもするっだだからゆるしてくれっ!!


フン いい気なもんだぜ てめぇの道楽のため 息子をこんなツラにしておいて
いまさらなにをいうんだ!!
なに!?
金!?
ふざけんじゃねえぜ おやじ
金なんかいくらつんだってこの目はかえりゃあしねえぜ
この目のおかげでうしなった おれの青春なんか金なんかで買えやしねえぜっ


けえれっ!!
けえってくれっ!!
キー
きっとそういわれるにちがいありません・・・


でもわたしたちはやっぱりあの子にあいたいんです
いまさらどんなつぐないをしようともうしなった日々はかえってこないことは重々知ってはいるんですけど…


わかりますわかります…おとうさんやおかあさんのその気持ち…
どんなにかつらい日々をおすごしになったことでしょう…


ちがうっ!!
魚紳さんはそんな人じゃねえだっ!!


さっきからきいてると罪だの つぐないだのと わめいてるようだけど そりゃあおとうさんやおかあさんの胸のなかで かってにかんがえてるだけだべ
魚紳さんはそんただことかんがえる人間じゃねえっ!!
そんただ事地きたねえ人間じゃねえっ!!


突け――――っ!!
なぜ
突いて
こねえん
だ～～～っ

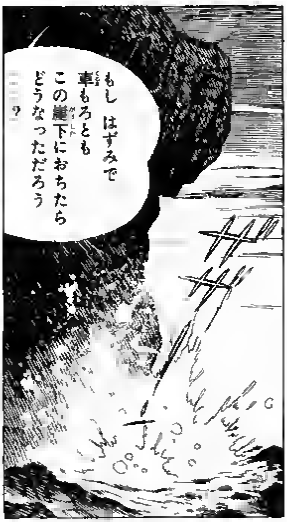

こんなに
腕の差が ありながら
なぜ おれだけを
ヘビのナマ殺し
みたいに
さらすんだ～～～っ
いっそのこと
ひと思いに
ズンと やられたほうが
スカッと するぜ～～～っ
フフフ
やっと 弱音を
はいたな


なぜ 突かないか
おしえて
やろうか
かんがえる
時間を
あたえている
のさ




いまさら
なにを
かんがえろと
いうんだ
ごく
かんたんな
ことさ
ちょいと
ヒントを
あたえよう
漁業組合の人たちが
丹精こめて養殖して
いる貝類を
とってはいけないと
いうことは知って
いたんだね
そんなこと
知らねえほど
バカじゃねえ
つもりだぜ
だがな
そいつあ
おとなたちが
自分につごうが
よいように
つくったきまり
じゃねえか
なんども
いうように
おれたちは
そんなきまりに
しばられたく
ねえんだ
おれたちにゃあ
おれたちの
さだめた
法律って
もんが あらあ
フム そのかんがえはまえとかわっていないな
では
走行中の車に
石を投げつけたら
どんなことに
なるか
かんがえて
投げたのか


たまたま
フロントガラスに
穴があいただけて
すんだから
いいような
ものの…
この
崖の下は
海だぜ
!!


もし はずみで
車もろとも
この崖下におちたら
どうなっただろう
……?


そ そんなこと
おれたちの
知ったこっちゃ
ねえ!!
ハハ――ン
おめえさん
車の修理代が
ほしいんだな
だったら
はじめっから
そういやあ
いいじゃないか


こう見えても
おれのおやじは
大会社の
社長だ
おれが
ためのめば
そんな車の
二 三台は
買える金を
いつでも ポンと
出してくれるぜ


金で
よかったら
いつでも
とりにこい


それがきみたちの正体なんだよオ——!!
おれはそこんとこをかんがえてほしかったんだよオ
親のスネをかじってるぶんざいでなにが自分たちの法律だい
親の金であそんでるぶんざいであまったれるんじゃねえっ!!
そんなれんじゅうを見るたびにムシズがはしってくるんだよオ


ぼうや
ぎょ紳さんってけっしておとうさんをうらむような人じゃねえ…
いい人なんだよオ…
おらあ最高に尊敬しちゃっているんだよオ…!!
!?
ルルルル---
きたっ!!


すげえ外車だ……
だれかきてるのかな……？




ああ……



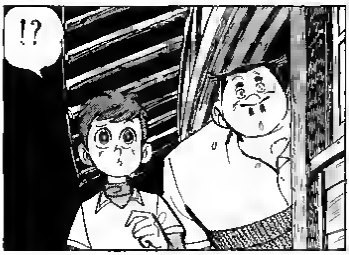




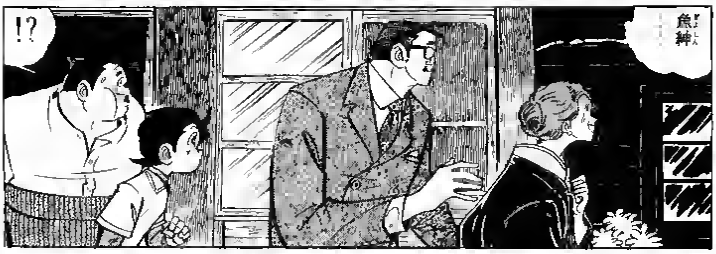


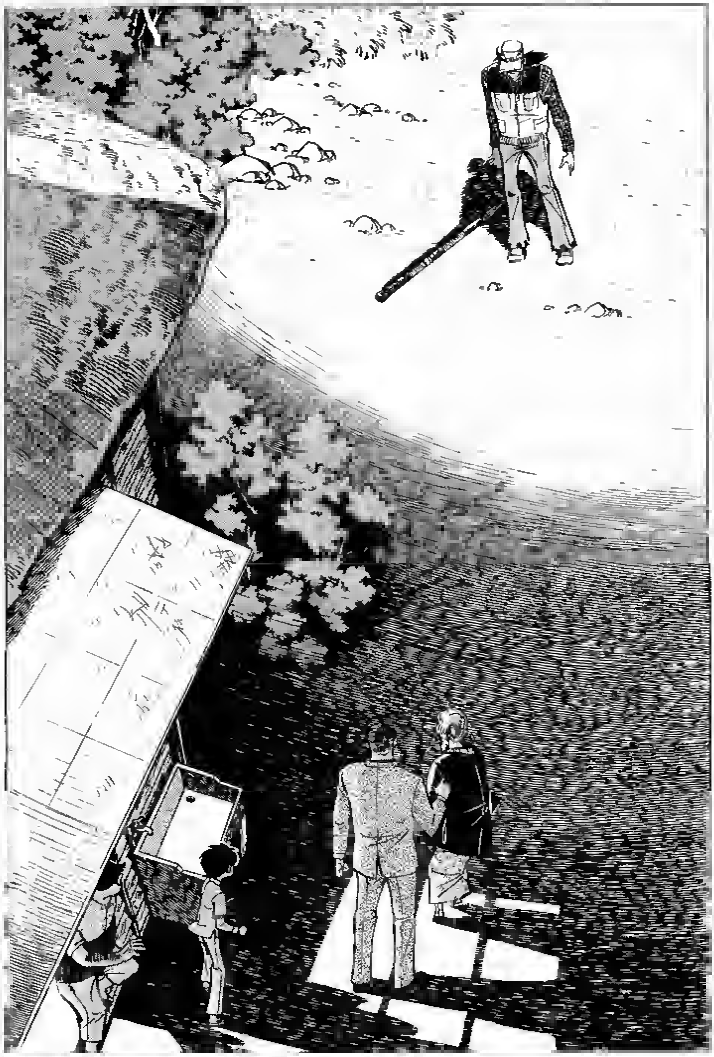

魚紳!




!?

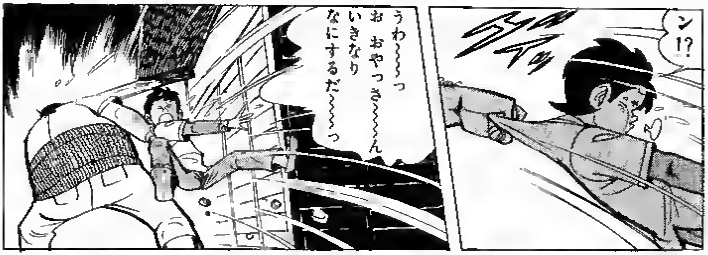



!?
魚紳!



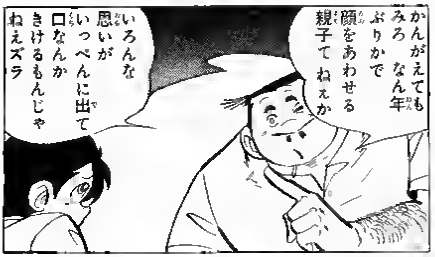

おおめえたち
なーに
やってるだ
村はずれの
お地蔵さん
じゃあ
あるめえし
ボサーックと
つったって
ねえで
なんか
いったら
どうでえ!!

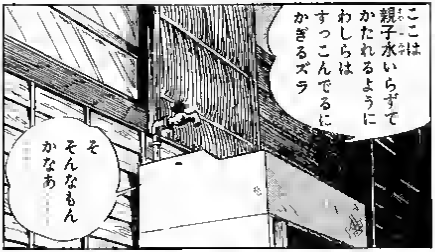

なんでだまーっているだ
魚紳さ～～～ん
魚紳さんってそんただ人だったのけえ
わざわざおとうさんとおかあさんがこうしてたずねてきているんだぞ～～～っ


ン!?
うわ～～～っ
お おやっさ～～～ん
いきなりなにするだ～～～っ



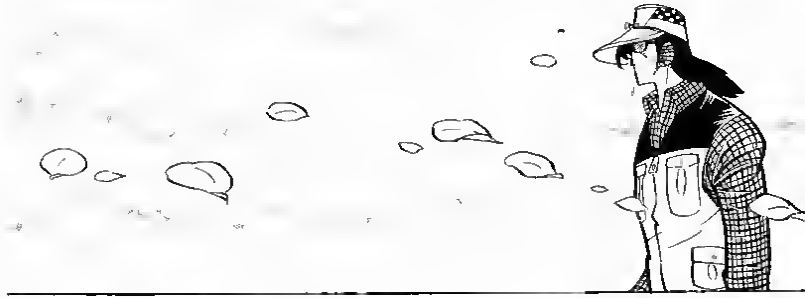

バッカだなあ三平くん
こういうときにゃあなあわしら第三者はみような口出しはせぬものズラ

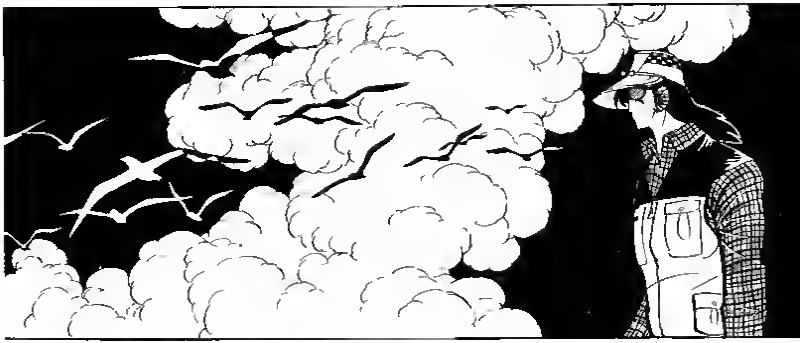

かんがえてもみろなん年ぶりかで顔をあわせる親子てねぇか
いろんな思いがいっぺんに出て口なんかきけるもんじゃねえズラ


ここは親子水いらずでかたれるようにわしらはすっこんでるにかぎるズラ
そそんなもんかなあ……









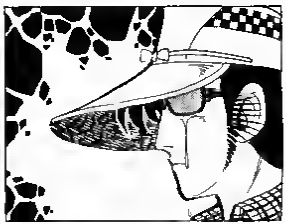





おとうさん
おかあさん……
ながいこと
ご心配を
……かけ
ました……
新
幹線
日本一周
行










どうしたおまえ!!


魚紳!!




おかあさんっ!!


おかあさ——ん!!
だいじょうぶですかおかあさん……
日本一周釣行
魚紳……
ウウッ
おかあさんっ!!
魚紳!!
日本一周釣行

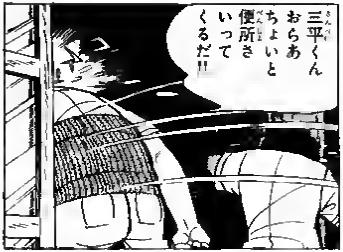

魚紳さん
ウウッ




元気そうでなによりだったね魚紳…

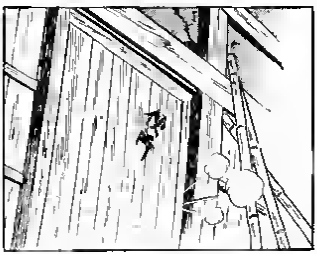

おとうさん


ずいぶんとしらががふえたねおとうさんもおかあさんも…


ウウッ
よかったな
魚紳さん…
三平くん
おらあ
ちょいと
便所さ
いって
くるだ!!


おやっさん!!
便所さ
泣きに
いくんだべ


バカッ
便所は
泣くところじゃ
ねえズラ
ションベンじゃ
ションベン!!




おやっさん…


魚紳…
おめえってやつあ…
おめえって
やつあ…
しあわせな
やっちゃなあ
こんなにいい
両親をもって
ウウ〜〜ッ










フフフ
おらって
あんがい
涙もろい
なや…
すっかり
もらい泣き
しちゃった
…
やっぱし
おとうさんや
おかあさんが
いるってのは
いいなあ
んだども
今夜は
しこたま
感激しちゃった
なあ…
おらの
かあちゃんは
おらが 生まれると
すぐ 死んじゃった
ちゅうし…
とうちゃんは
生きてる
らしいども
…
いってえ
どこさ
いるんだべ
…
うわ～～っ
きれいな
貝がら!!
こーんな
きれいな
貝がらが
どっから
なれて
きたんだべ…


そうだっ!!
こんなやつを
いっぱい あつめて
じいちゃんや
ユリッペに
おくってやろう!!
よろこぶぞオ
きっと…
そうかい
そうだったのか……
おじいちゃんと
ふたりぐらし
してるなんて
ふしぎに
思ったが
おかあさんとは
死にわかれで…
おとうさんは
生きてるが
ゆくえ知れず
とは…
人には それぞれ
うわべだけでは
まったく わからない
ふくざつな 事情が
あるものだなあ
それにしても
三平くんは
あかるい
いい少年だ
両親が
いないなんて
信じられない
あかるくて
すばらしい
少年だ…


三平く――ん!!
ここに いたのか――っ
魚紳さん!!
さあはやくかえってひとねむりしよう
あしたこそきっと磯の王者イシダイを釣りあげるからな
えっ
うひょ～～～っかくごしやがれ～～～っ磯の王者イシダイ――ッ!!
フフフあの調子だとはたしてねむれるかな……




カ――ッ
あいかわらず
あざやかな
もんだなや
魚紳さん
……!!









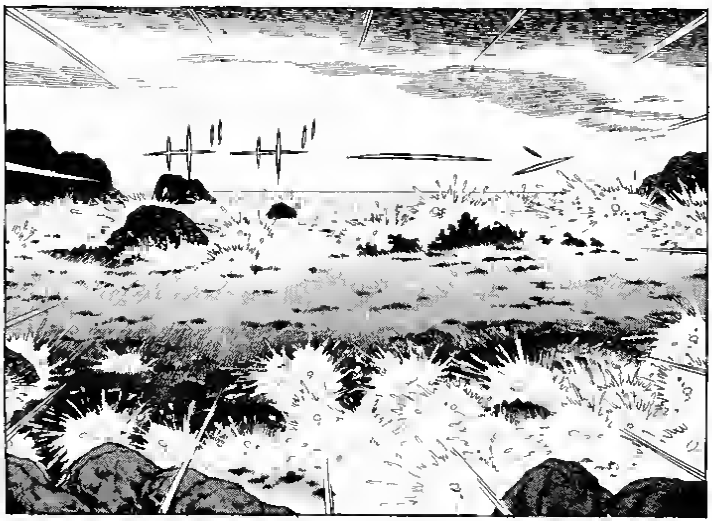
潮の流れが 海底からつきだした岩礁(根)に ぶつかる側を潮表といい 反対に その裏側のたるみになるところを 潮裏とよぶ 魚は ほとんどの場合 潮流が ブッツケになる潮表に このんであつまる その理由は 酸素をわくふくんだ水がくることと それによって 魚たちのエサとなるプランクトン類が おおくなるからだろう したがって 磯釣りの鉄則は 潮表をポイントにして釣るということになる しかし 磯場における潮の流れは 月の引力による潮の満ち干の影響をつよくうけ 約6時間で 上げ下げの方向がぎゃくになる その場合 いままで潮表だったポイントが 潮裏になってしまうわけだから たえず 潮流に注意して ポイントをつかまなければならない



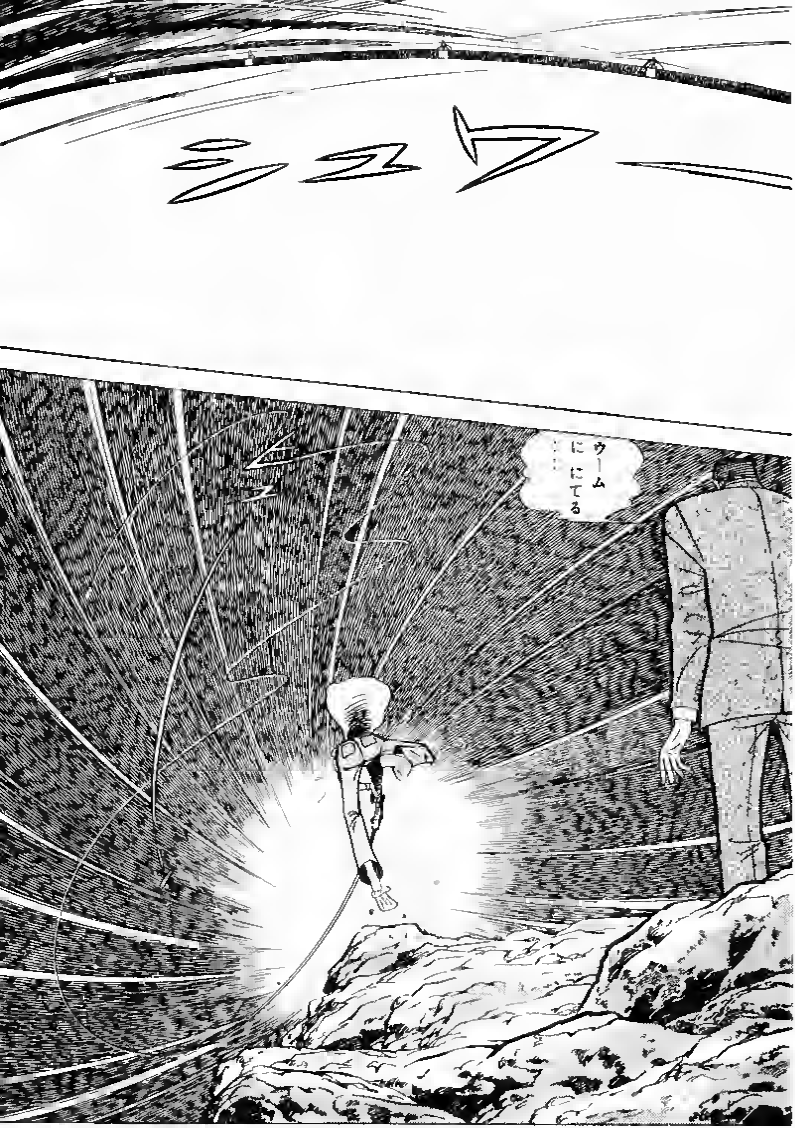
なお 無潮時や干潮時におこる潮どまり(流れがとまってなぐこと)には きゅうに魚の食いがとまったりする例からも 魚の魚は 潮通しのよい場所でエサをあさる習性が あることがわかる




ンッ!!
ブッツケで潮通しのよい……!!
潮表を!!




釣るべしっ!!
あ……
なっ!!
そっくりでしょう 鮎川さん!!
なっ!!
あなた
あ


シュワー
ウームにてる……


なかなか
いい
ポイントに
おとしたな
三平くん
ヒュルルルル
ヘヘヘッ
ポチャン
にてる!!


あのちいさな体をいっぱいにつかってイシダイ用の剛竿をふる姿なんか
あのころの魚紳とウリふたつだ……
魚紳さ――んきょうこそはバソチリとイシダイを釣っちゃうからな――っ
フフフナマダを釣るのだけはよしてくれよな……
カ――ッナマダだけはかんべんしてくれよ～～～っ!!

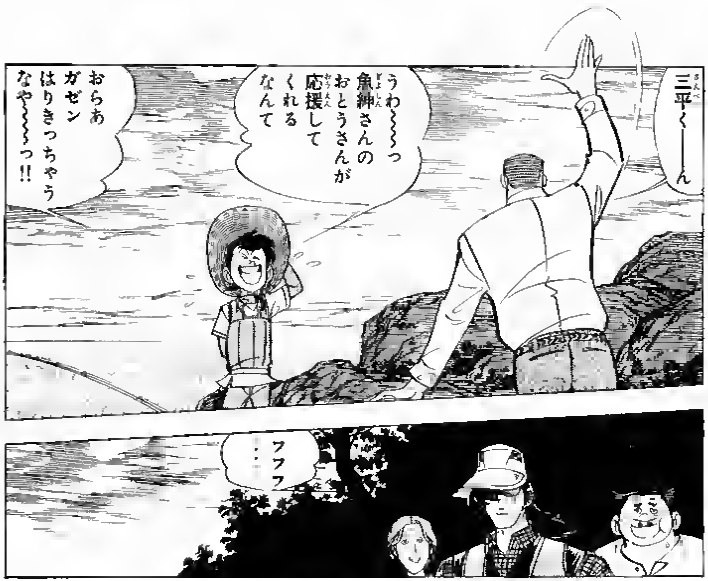

ゴーガー
ささ おとうさん おかあさん つめてえ ジュースなんか のみながら じっくり 見物するべ
わるいが さきに いただくぜ
おおめえ
へーイ 三平くーーん ここらで いっちょう 景気づけを しようぜ


ウヒョ〜〜〜ッ
オースありがてえなあ!!
いくぞっ!!
そうれっ!!
あんがとうよオ!!
フフフ


フ～～～ッ
おとうさん
どうですか
ひさしぶりの
海は・・・
ウ～～～ン
いいねえ
すっかり
むかしを
思いだして
しまったよ
どうです
ひさしぶりに
竿をもって
みませんか
予備の竿が
ありますから
いやあ
鮎川さん
そいつあ
おもしれえ
や・・・
むかしの
すご腕は
まだ
おとろえては
いめぇ
おやんなせえ
おやんなせえ

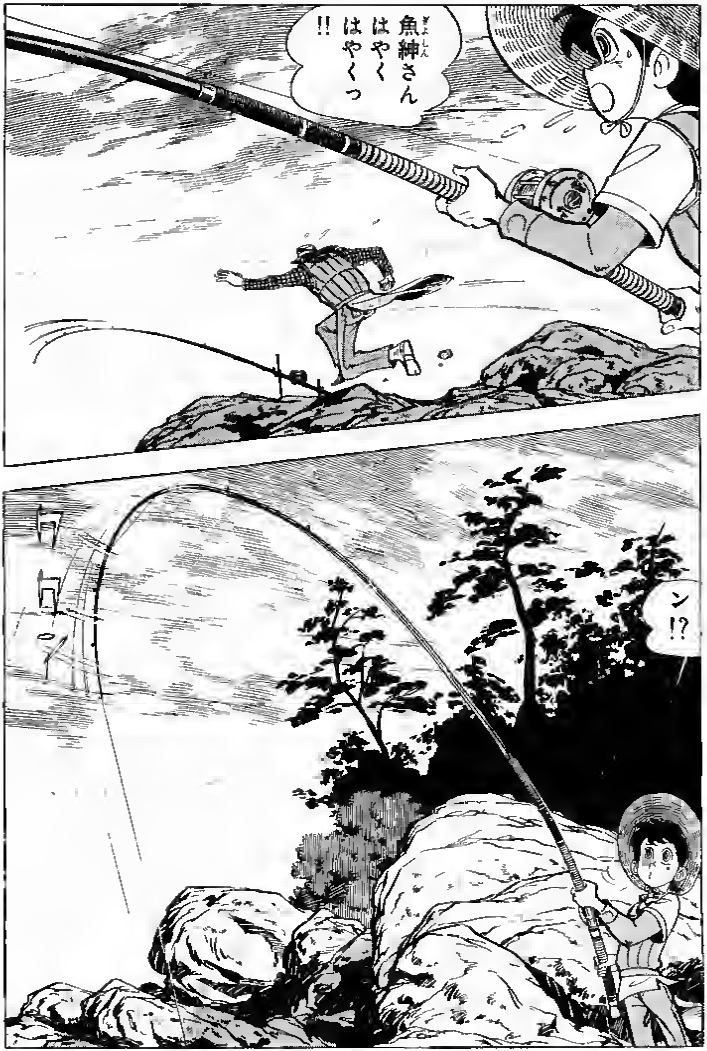

ウ～～～ン
こいつあ
おもしれえ
…
ひさしぶりに
鮎川さん親子が
ならんで
釣りをするとこが
見られるとは
思っても
いなかったズラ
ねえ
あなた
気分ばらしに
おやりに
なったら
…


紳士
ありがとう
…
せっかくだが
わたしは
釣りを
やめると
決心したんだ
そのかわり
おまえの
ライバルの
三平くんの
応援を
しよう


三平くーーーん
うわ〜〜〜っ
魚紳さんの
おとうさんが
応援して
くれる
なんて
おらあ
ガゼン
はりきっちゃう
なや〜〜〜っ!!
フフフ…


よろしく
おねがい
しまーす
いやあ
こちらこそ
ところで
三平
くんは
まだ
イシダイを
釣ったこと
なかったん
だっけな
ハア
だったら
置き竿では
なくて
手にもった
ほうが
いいな


おもい磯竿を手にもつのはちょっとしんどいけど
なるほど
魚紳!!
初心者はまず イシダイのアタリというものを じかに 手で かんじとって おぼえこんで しまうことが たいせつなんだ
あっ!?
ムッ
魚紳さんの竿にアタリがっ!!


魚紳さん
はやく
はやくっ
!!
ン
!?

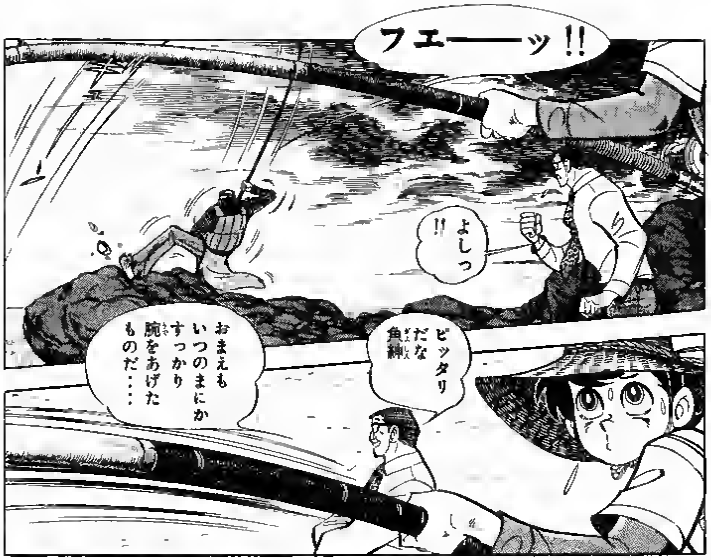


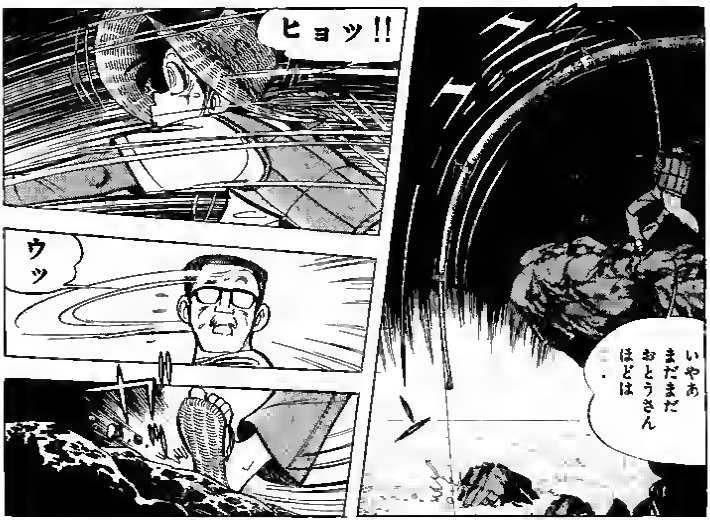

!?


おかあさん
どうやら
仙神の竿に
きたようです




!!
!
そこだっ 魚紳(ぎょしん)!!
いけっ!!
オホッ


フエ――ッ!!
よしっ!!
ピッタリだな 鮎(あゆ)の 魚紳(ぎょしん)
おまえも いつのまにか すっかり 腕をあげた ものだ…


ヒョッ!!
ウッ
いやぁ まだまだ おとうさん ほどは…


そりゃ きた――っ
オヨヨッ!?
ダブルだっ!!


オ――ッ
三平くん――ん
そっちも
か――っ!!
プヒャ――ッ
ぶったまげた
な――っ!!
さ
三平くんに
までとは
ダブルだ
ダブル!!
ふたりとも
ほとんど
同時だっ!!
ハハラ


あったり
めえだべ
魚紳さ――ん
おらだって
その気になりゃあ
ざっとこんな
もんさ――っ
ガハ――ッ!!


また
ナマダじゃ
ねえべな
三平くん
!!


カ――ッ
おやっさーん
へんなこと
いわねえで
くれよ――っ
!!
ナマダだ
なんて
えんぎでも
ねえ――っ
!!


いや
このヒキ
ぐあいは
百パーセント
イシダイだ

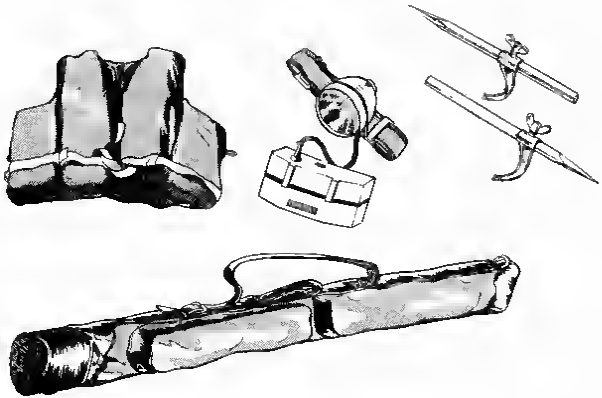

ちょ
ちょっと
棟元
そんなに
はりきって
なにをする
気かね
カク

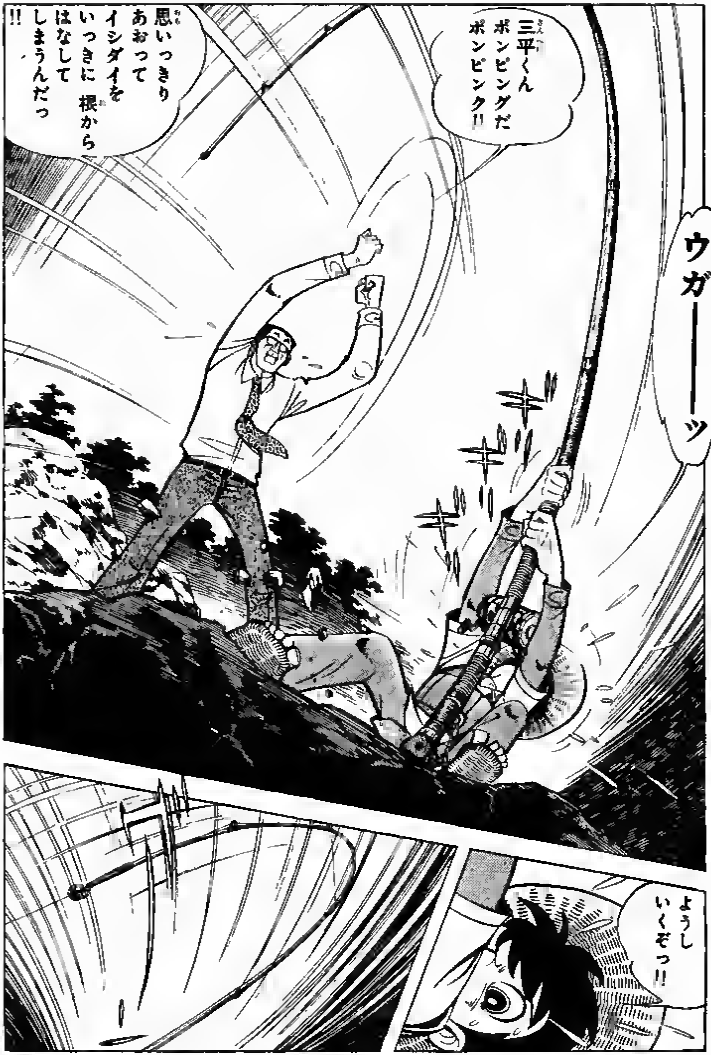

そうげえ
そんだば
ガゼン
いっそ
がしく
なってくる
ぞオ!!


なにするって鮎川さんきまってるでねえか
三平くんにうめえこと釣らせるためにコーチを……
あらあらあら～～～っ
ガシッ
きあじゃまだからむこうへいってせいぜいわたしの家内の相手でもしててくれ
バカなことをいっちゃあいかんよ
三平くんのコーチはこのわたしだ
きあ三平くん!!
しまっていくぞしまって!!
よーしよしその調子だおちついておちついて……
ン――ッ!!

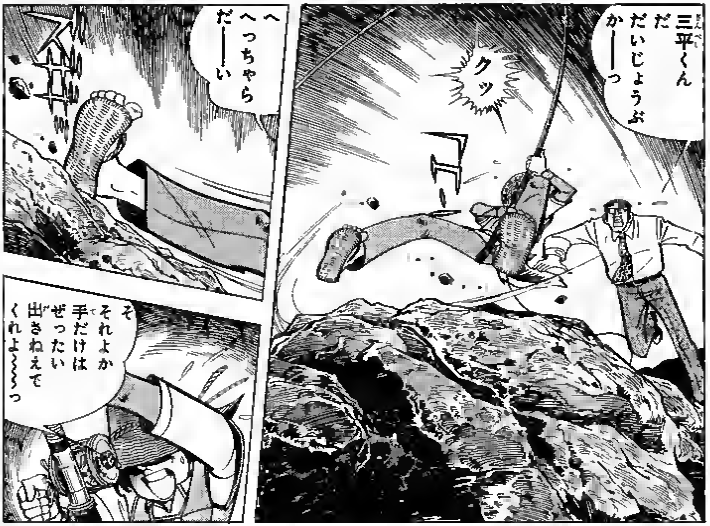

んまあおとうさんったらすっかり調子にのって
ホホホホホ……
なーんだかドサクサにまぎれて三平くんをとられちまったみてえズラ
ヒョーヌケスルゥ
フフフおやっさんすまねえがおやじのわがままをゆるしてくれ
なん年ぶりかで磯の香をあじわっているんだ
それもそうだな鮎川紳
しかしほんとにすきなんだなあ……鮎川さんは……
そうなんですそのすきな釣りをおやじからとりあげてしまったのは
このおれかもしれないんです……


魚紳
そ そりゃあ なんぼなんでも かんがえすぎ ズラ
フフフ




ウガ――ッ
三平くん
ポンピングだ
ポンピング!!
思いっきり
あおって
イシダイを
いっきに 根から
はなして
しまうんだっ
!!
ようし
いくぞっ!!


そこだっ
いけっ!!
無
とととっ!!
こりゃあいかん
ぴたっ
!!
ありゃっ


三平くん
だいじょうぶ
か――っ
クッ
へっちゃら
だ――い
そ
それよか
手だけは
ぜったい
出さねえで
くれよ～～～っ


ここいつは
だれの力も
かりねえで
お おらが
……
おら
ひとりで
あげて
みせるう
～～～っ
!!
ウム
見あげた
根性だ
!!
しかし
残念なことに
体重が
たりない
……


ガハハ…
むこうさん
だいぶ
苦戦しとる
ようだな

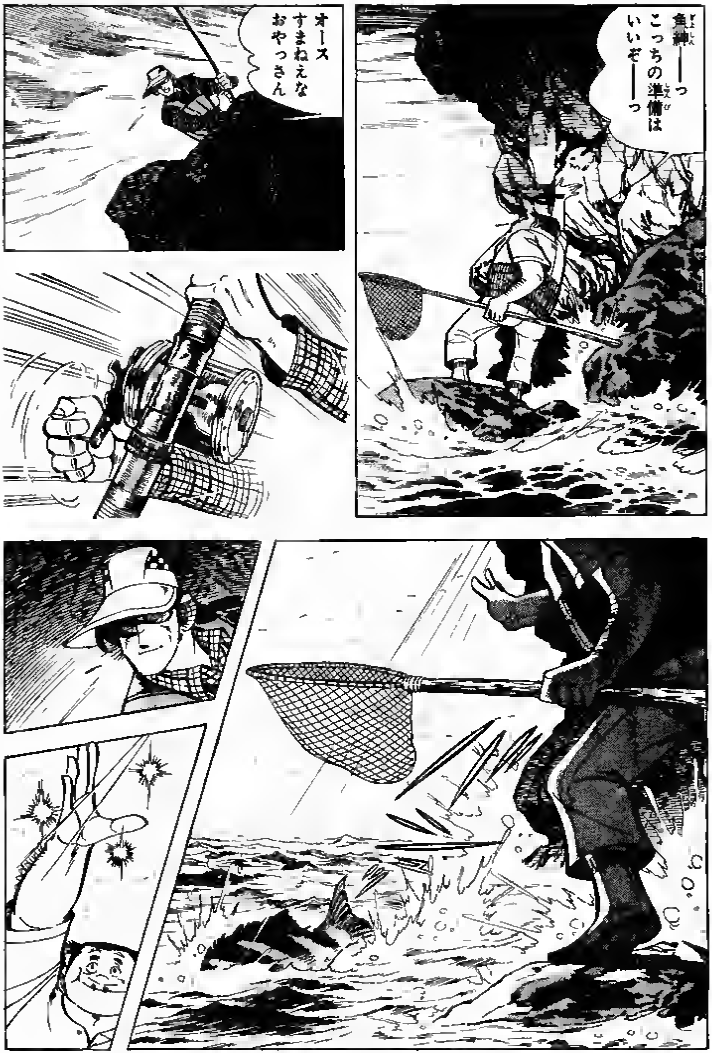

オホッ
あいかわらず
いい腕を
してるな


フフフ
おやっさん
そろそろ
こっちの
ほうが
よって
くるぜ


なかなか
いい型で
ねえか




ここは おらに
まかして
けっ
すまねえな
おやっさん


魚紳――っ
こっちの準備は
いいぞ――っ
オース
すまねえな
おやっさん


トトト……


ガハ――ッ
三平くーーん
そっちは
どうだ――い

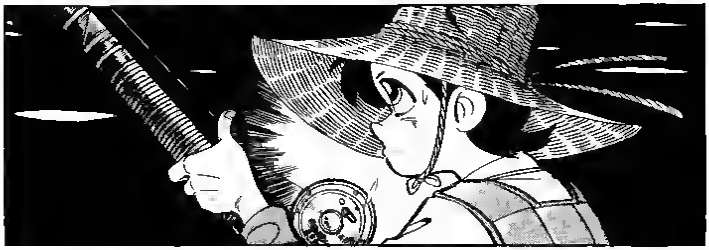

!?
グ!
ク!
ン!?
バレて
しまった
のかな


おしても
ひいても
びくとも
しないんだ


根に
もぐられて
しまったな


そいつあ
やっかいな
ことに
なったズラ








いったん
根にもぐっち
まった
イシダイは
そうかんたんに
出てきは
しねえズラ

ウーム
わたしが
ついてながら
こんなことに
なって
もうしわけない


いや
三平くんには
かえって
いい
勉強さ


あなたがた
そんなところで
なにを
コソコソ
やっているん
ですか
三平ちゃんが
いっしょう
けんめいに
釣っていると
いうのに…


いえね…
コソコソ
やってる
わけじゃ
ないんだよ
おかあさん
せっかく
かけた
イシダイに
根に
もぐられて
しまったのさ


根…!?
海の底に
木でも
はえているん
ですか


ケッヘヘ
おかあさん
って
なんにも
わかっちゃ
いないなあ
これだよ
網元…
釣りの
わからん
人とは
話が
しにくいね


おくさん……木の根もたしかにはっているけんど……
海釣りでいう根とは岩礁のことズラ
つまり……そのう……三平くんの竿にきたイシダイは
三平くんに釣られまいとひっしに抵抗したあげく
根……つまり岩のあいだにもぐりこんでしまったわけズラ
ンマア!!
それでいくらひいてもあがってこないわけね……
そうなんだよおかあさん……上層や中層をおよぐ魚とちがってイシダイなど根をすみかにしている魚はハリにかかるとすぐ岩のあいだにもぐりこもうとするんだよ
ンマアそんなのはじめてきいたわ魚紳……
ロボッ

鮎川さんは
おくさんに
釣りの教育は
なさらなかっ
たんですか

バカな
ことを
いうんじゃ
ないよ

女房に
釣りなんて
わかるもんか

でもねえ…
いくら
じょうすに
岩のあいだに
かくれたと
しても…

うまく
ひっぱれば
スルッと出て
くるんじゃ
なくって

お魚は
人間のように
手や足で岩に
つかまれる
わけじゃ
ないし

あら どうしたの
おとうさん
岩かどにでも
つまずいたの

いいかい 岩の下へ
はいったものを
むりに ひきだそうと
すれば…

岩かどで
ラインが
すれたり
ワイヤーが
キンク
したりして
たちまち パーに
なるんだよ

もう
しゃべるの
やめてくれよ

いい年して
おまえの
かんがえる
ことは
幼稚すぎるん
だよなあ


あらそんなことないでしょう
岩の下にこうもぐったお魚なら……
はいった方向へひけばイトもすれないてひきだせるんじゃなくって
カ――ツおまえはもうあっちへいってなさい
バカバカしくて話にならん!!


ハハハハハ
なーんだ
そうけえ
その手があったのけえ!!
魚紳さんのおかあさん!!
そのアイディアいただきだよっ!!
ええっ!?

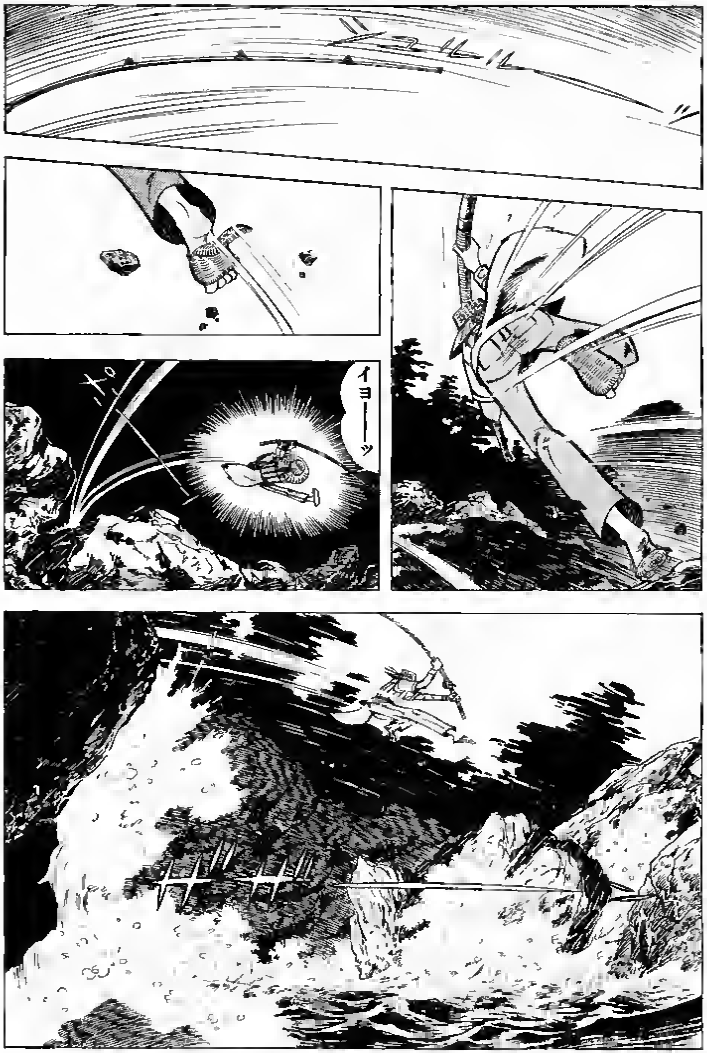

ほんしゃあいってくるぞオ――ッ!!
三平くん
きみはなにする気かね
おとうさんおやっさんだまって見てるんだ
三平くんってああいう子なんです……
ウヒョ～～ッ


われわれおとなは
釣りにかぎらず
固定観念にとらわれやすく
すぐものごとをきめつけてかかるくせがある
その結果
窮地に立てばあきらめてうちやぶる努力をしない
しかし
三平くんにはそれがない

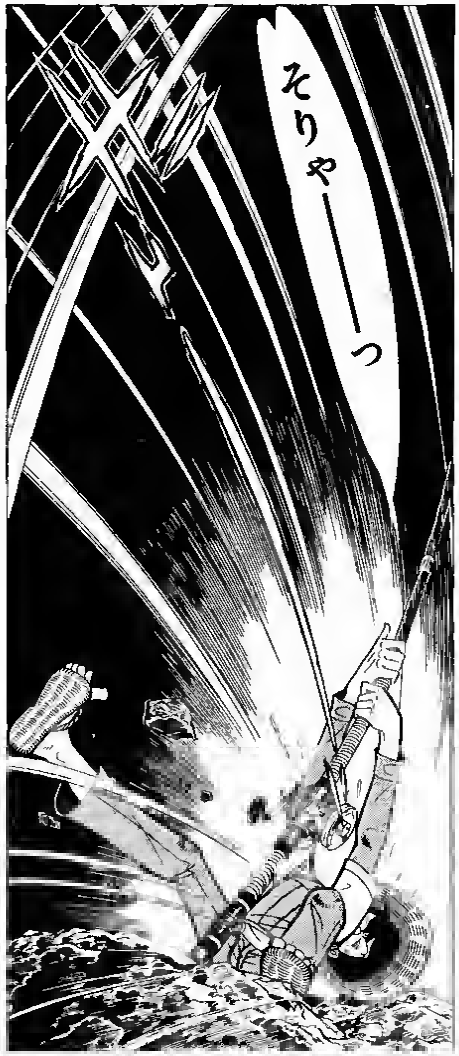

自分がいいと思ったことはすぐ実行にうつしてしまう
釣りにはズブのしろうとのおかあさんの意見でもなるほど…と思えばあのとおりだ
ンマア
しかしいってえ三平くんはどうするつもりズラ…
まだわからないのかおやっさん


三平くんはこの地磯づたいにむこうへわたって根にもぐったイシダイをぬきだそうとしているんだ
しかし 海底の根は複雑だ…
そんな想像どおりの根にもぐっているとは かぎらない


おとうさん
それが
おとなの
かんがえです
いまの
三平くんには
そんなこと
どうだって
いいことなんです
ただ ひたすら
ありうる
可能性に
挑戦して
いるんです
おれは
それで
いいと
思うし
すばらしい
ことだと
思う
……

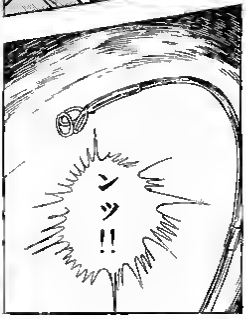

イヨーッ

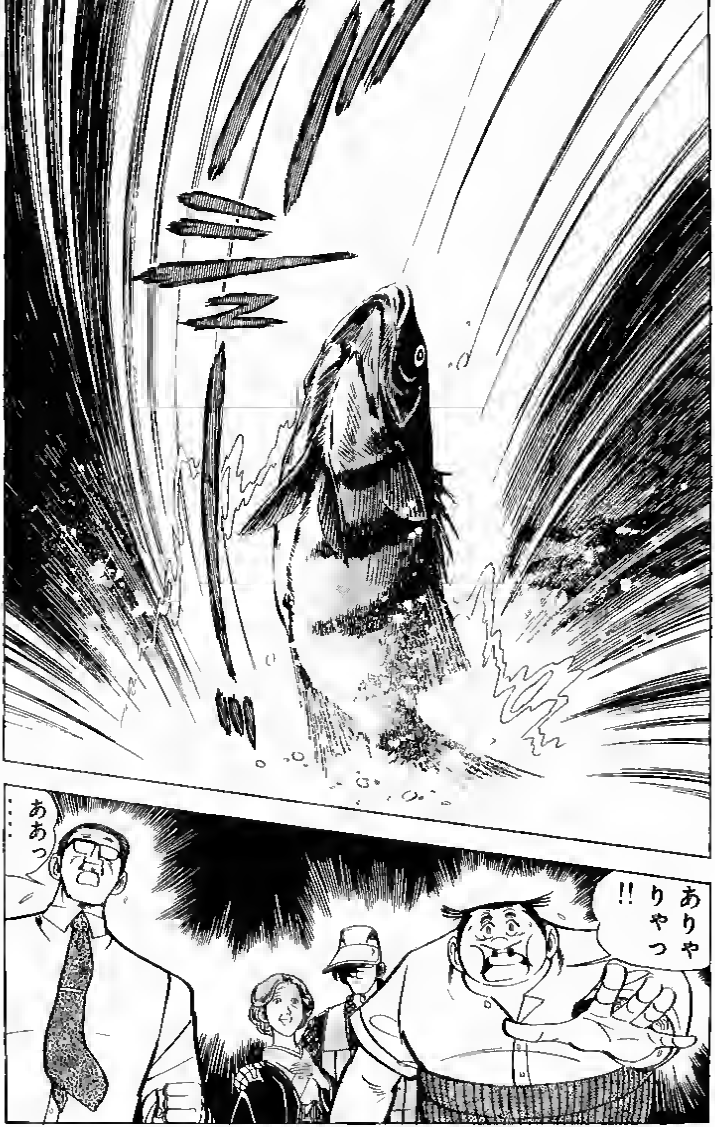

へへッ
ほんじゃあやるぞ——っ


そりゃ――っ






ンッ!!


ありゃりゃっ!!
あぁっ……



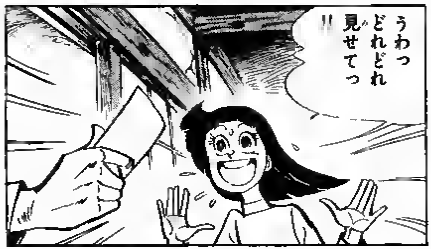



うわ〜〜っ
きれいな
貝がら
!!


ここれ
三ちゃんが
おらさ
おくって
よこしたの
けえ
きまっ
てるべ


ンーッ
三ちゃんったら
どこさ いっても
おらんことを
わすれねえ
なんて
しこたま
うれしく
なっちゃう
なや
ウフーン
コヅ!


ホホウ
写真も
おくって
きてる


うわっ
どれどれ
見せてっ
!!


わっ!!
わっ!!
わ〜〜〜っ!!
こ これ ほんとに 三ちゃんが 釣ったのけえ!!
磯の王者 イシダイ 六・四キロか
あいつぁ はじめての 海だちゅうに あいかわらず やっとるようじゃな ・・・フフフ

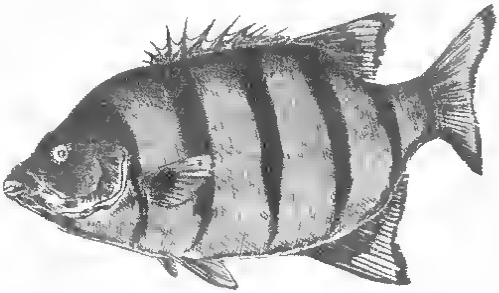



うわ～～～っ
これ海の写真
三ちゃん
こんだとこ
いってるのけえ
……
いいなあ
おらも
三ちゃんの
あとを追って
いこうかしら
……





磯の王者の巻　おわり



あとがき

矢口高雄

ファンの方からもときどきいわれることだが、「釣りキチ三平」には海を舞台にしたドラマがきわめて少ない。理由はかんたんである。ボク自身の海釣り体験がきわめて少ないからである。そんな体験不足をカムフラージュするため、ボクは――「海は広すぎて、征服感をみたしてくれない。」――などと平気で答えたりする。たしかに海は広い。はてしなく広いから、もっとむこうにいいポイントがありそうな気になってしまう。だから、おそらく、完全に攻めきったという満足感にひたる人間は、遠洋漁業の漁師さんにもいないだろう。いや、ぎゃくにいえば、そうした茫洋たる不満足感が、海釣りのかぎりない魅力なのかもしれない。



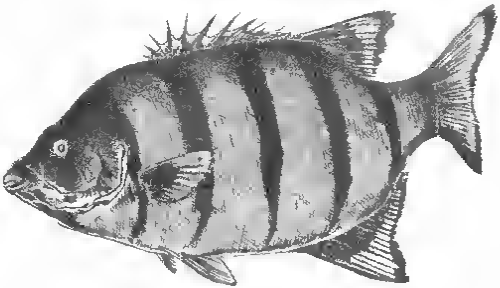
ボクが初めて〝海〟をみたのは、小学校五年生のときだった。なにしろ海から遠い山奥の子だったし、村にはおとなでさえ海をみたことのない人がかなりいたほどで、その前夜はドキドキして眠れなかった。六年生の修学旅行だった。員数がたりないとかで、五年生の数人が特別参加したと記憶している。

列車でゴトゴトと二時間あまりゆられた秋田市の新屋浜が、その〝海〟であった。松林をくぐりぬけ、砂丘を一歩ふみしめたとき、それは眼前いっぱいにせまってきた。しばしことばもなかった。絵本や写真ではみたことはあったが、そんな予備知識などは、一瞬のうちにどこかへふきとんでいた。四方に山ばかりみてくらしてきたボクにとっては、それはあまりに茫洋としていた。広すぎて、雄大すぎて、タジタジに圧倒された。

圧倒されまいと、ボクは必死にふんばった。肩をいからせ、胸をはり、大きくそれにむかって深呼吸をしたあと、心につぶやいた。

「このむこうにアメリカがある。いつかアメリカにいってやる！」

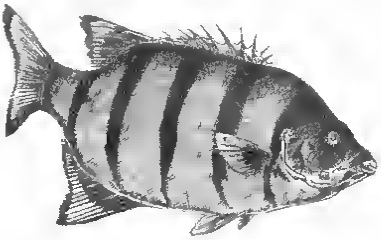
このときのことを思いだすたびに、ボクは苦笑する。苦笑のわけは、じつは、この新屋浜は日本海だったのである。日本海だから、そのむこうはソビエトであるはずなのに、ボクは必死に「アメリカ、



アメリカ……」と、りきんでいたのである。そのあとは、当然のことながら、海水のしょっぱさをたしかめるために、波うちぎわにはしったことはいうまでもない。

本章「磯の王者」では、鮎川魚紳の過去のエピソードにふれているが、じつは、これとよくにた事故がじっさいにあった。二十年ほどまえのことだが、そのころボクは、毎年秋には〝落ち鮎のコロガシ釣り〟に熱中していた。落ち鮎とは産卵のため川を下る鮎のことだが、中流から下流域の、川底が小砂利状のポイントに産卵床をつくり、そこにおびただしい数のオス・メスが入りみだれて産卵活動をこおなう。そんなポイントに、掛けバリを七～八本つけた仕掛けをブチこんでひっかける。これがコロガシ釣りである。数千匹もの鮎がおりかさなっているわけだから、一ふりに三、四匹もかかることはめずらしいことではない。いいポイントにあたれば、束釣り（百匹）などザラである。ところが、この釣りは夜釣りである。昼も、曇天の日は多少釣れるが、鮎の本格的産卵が夜だからである。

事故は、となりのO町の河原でおこった。月の晩だったという。その水域は例年鮎のよくつくポイントで、その夜も十数人の釣り人がさかんに剛竿をふるっていたという。竿は四間半の竹竿。ミチイ



ト五号、ハリス五号、掛けバリ矢嶋型十一号。ポイントの上手一メートルほどに仕掛けをうちこみ、オモリが川底の石にコツコツあたるように引く。グンと激しい手ごたえ。竿を立て、キャップランプをつける。キャップランプは、魚を取りこんだらすばやく消す。あかりで鮎が散るからである。

一人の男の剛竿が気合いをこめてふりおろされると同時だったという。背後の河原に「ギャッ」という男の悲鳴が夜のしじまを裂いた。悲鳴の男は顔面を血だらけにしてうずくまったという。左目を釣られたのである。

この事故を、ボクは翌日きいた。口づての話だから真偽のほどはさだかでないが、まぶたに裂傷をおい、眼球がぬきとられたという。以来、ボクは落ち鮎のコロガシ釣りから手を引いた。

あなたは、この本を読んで、どんな感想をおもちになりましたか。

編集部では、この本についての読者のみなさまのご意見をおまちしています。

このつぎには、どんな作家のどんな漫画を読みたいと、お考えですか。「KCスペシャル」にしてほしいと思う作品がありましたら、「読後の感想」とあわせて、左記あてに、どしどしお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号一一二―八〇〇一〉
「講談社コミックス」編集部
KCスペシャル係

KCスペシャル―165

釣りキチ三平―第九集

一九八五年十二月六日第一刷発行
一九九八年一月十日第二十四刷発行
定価はカバーに表示してあります。

著者 矢口高雄
発行者 五十嵐隆夫
発行所 株式会社講談社
東京都文京区音羽二―一二―二一
郵便番号一一二―八〇〇一
電話 編集部(〇三)五三九五―四五九九
販売部(〇三)五三九五―二六〇八
印刷所 廣済堂印刷株式会社
製本所 誠和製本株式会社

©矢口高雄 一九八五年

落丁本・乱丁本は、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。
電話(〇三)五三九五―二六〇三
なお、この本についてのお問い合わせは、週刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。

本書の無断複写(コピー)は著作権法上での例外を除き禁じられています。

ISBN4-06-101165-0 (マ) Printed in Japan

KCSP
165

釣りキチ三平

第9集

イシダイ釣り編

矢口高雄

講談社



9784061011656

雑誌45423-65

ISBN4-06-101165-0

C9979 ¥621E (3)

1929979006211

定価652円 本体621円 講談社

KCスペシャル

釣りキチ三平

1 アユ釣り編
2 フナ釣り編
3 イワナ釣り編
4 コイ釣り編
5 おもしろ釣り編
6 ヤマメ釣り編
7 謎の魚釣り編 I
8 謎の魚釣り編 II
9 イシダイ釣り編
10 コイ釣り編 II
11 ニジマス釣り編
12 ライギョ釣り編
13 イトウ釣り編 I
14 イトウ釣り編 II
15 イトウ釣り編 III
16 おもしろ釣り編 II
17 ムツゴロウ釣り編 I
18 ムツゴロウ釣り編 I
19 秘伝アユ漁編 I
20 秘伝アユ漁編 II
21 渓流釣り編
22 アカメ釣り編
23・24 フライフィッシング編 I・II
25 怪魚釣り編
26・27・28 サーモン・ダービー編 I・II・III
29・30 マス釣り編 I・II
31・32・33 ブルーマーリン編 I・II・III
34・35 キャスティング編 I・II
36 ヘラブナ釣り編
37 アユ釣り編 II

大好評発売中!